

EtherNet/IP

取扱説明書 第 2 版

ACON
PCON
SCON-CA

お使いになる前に

この度は、当社の製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。

この取扱説明書は本製品の取扱い方法や構造、保守等について解説しており、安全にお使い頂く為に必要な情報を記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読み頂き、十分理解した上で安全にお使い頂きますよう、お願い致します。

製品に同梱の CD/DVD には、当社製品の取扱説明書が収録されています。

製品のご使用につきましては、該当する取扱説明書の必要部分をプリントアウトするか、またはパソコンで表示してご利用ください。

お読みになった後も取扱説明書は、本製品を取り扱われる方が、必要な時にすぐ読むことができるように保管してください。

【重要】

- この取扱説明書は本製品専用に書かれたオリジナルの説明書です。
- この取扱説明書に記載されている以外の運用はできません。記載されている以外の運用をした結果につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- この取扱説明書に記載されている事柄は、製品の改良にともない予告なく変更させて頂く場合があります。
- この取扱説明書の内容について、ご不審やお気付きの点などがありましたら、「アイエイアイお客様センターエイト」もしくは最寄りの当社営業所までお問合せください。
- この取扱説明書の全部または一部を無断で使用・複製する事はできません。
- 本文中における会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- EtherNet/IP は、ODVA のライセンスに基づいて使用される商標です。

目 次

安全ガイド	1
取扱い上の注意	8
1. 概要	9
1.1 EtherNet/IP 仕様	10
2. ACON、PCON	11
2.1 動作モードと機能	11
2.2 型式	14
2.3 EtherNet/IP インタフェース	14
2.3 EtherNet/IP インタフェース	15
2.3.1 各部の名称	15
2.3.2 モニタ用 LED の表示	16
2.4 配線例	17
2.4.1 配線(例)	17
2.4.2 コネクタピン配列	17
2.5 設定	18
2.5.1 動作モードの選択	18
2.5.2 通信速度の設定	18
2.5.3 IP アドレスの設定	18
2.5.4 サブネットマスクの設定	19
2.5.5 デフォルトゲートウェイの設定	19
2.6 マスタ局との交信	20
2.6.1 各動作モードと PLC 入出力エリアの対応	20
2.6.2 リモート I/O モード (占有バイト数 : 2)	22
2.6.3 ポジション／簡易直値モード (占有バイト数 : 8)	28
2.6.4 ハーフ直値モード (占有バイト数 : 16)	33
2.6.5 フル直値モード (占有バイト数 : 32)	40
2.6.6 リモート I/O モード 2 (占有バイト数 : 12)	49
2.6.7 入出力信号の制御と機能	53
2.7 入出力信号のタイミング	69
2.8 運転	70
2.9 EtherNet/IP 関連パラメータ	78
2.10 トラブルシューティング	83
3. SCON-CA	84
3.1 動作モードと機能	84
3.2 型式	88
3.3 EtherNet/IP インタフェース	89
3.3.1 各部の名称	89
3.3.2 モニタ用 LED の表示	90
3.4 配線	91
3.4.1 配線(例)	91
3.4.2 コネクタピン配列	91
3.5 設定	92
3.5.1 動作モードの選択	92
3.5.2 通信速度の設定	92
3.5.3 局番の設定	93
3.5.4 サブネットマスクの設定	93
3.5.5 デフォルトゲートウェイの設定	93

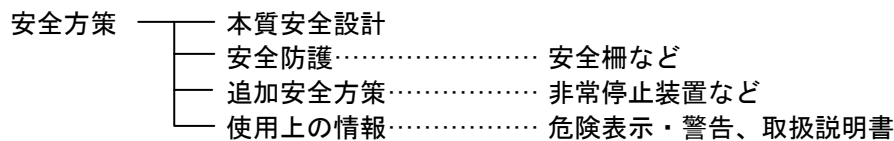
3.6	マスタ局との交信	94
3.6.1	各動作モードと PLC 入出力エリアの対応	94
3.6.2	リモート I/O モード(占有バイト数 : 2)	98
3.6.3	ポジション／簡易直値モード(占有バイト数 : 8)	103
3.6.4	ハーフ直値モード(占有バイト数 : 16)	108
3.6.5	フル直値モード(占有バイト数 : 32)	115
3.6.6	リモート I/O モード 2(占有バイト数 : 12)	126
3.6.7	ポジション／簡易直値モード 2(占有バイト数 : 8)	130
3.6.8	ハーフ直値モード 2(占有バイト数 : 16)	135
3.6.9	リモート I/O モード 3(占有バイト数 : 12)	142
3.6.10	ハーフ直値モード 3(占有バイト数 : 16)	146
3.6.11	入出力信号の制御と機能	153
3.7	入出力信号のタイミング	171
3.8	運転	172
3.9	Ethernet/IP 関連パラメータ	180
3.10	トラブルシューティング	187
4.	付録	188
4.1	オムロン社製マスタとの接続設定例	188
4.1.1	接続例	188
4.1.2	コントローラ設定	188
4.1.3	PLC 設定(1) [CX-Programmer]	189
4.1.4	PLC 設定(2) [Network Configurator]	191
4.1.5	PLC での I/O データの確認	201
4.2	キーエンス社製マスタとの接続設定例	202
4.2.1	接続例	202
4.2.2	コントローラ設定	202
4.2.3	PLC 設定	203
4.2.4	PLC で I/O データの確認	208
	変更履歴	209

安全ガイド

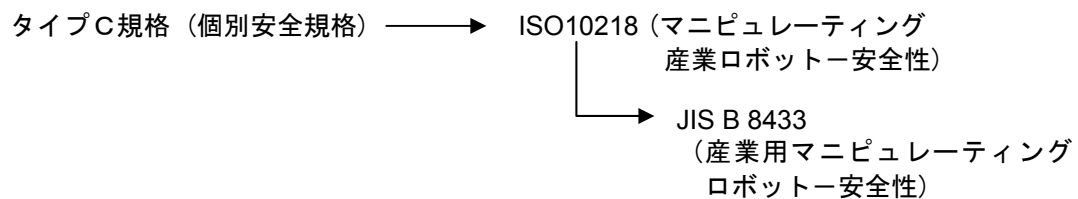
安全ガイドは、製品を正しくお使い頂き、危険や財産の損害を未然に防止するために書かれたものです。製品のお取扱い前に必ずお読みください。

産業用ロボットに関する法令および規格

機械装置の安全方策としては、国際工業規格 ISO/DIS12100「機械類の安全性」において、一般論として次の4つを規定しています。



これに基づいて国際規格 ISO/IEC で階層別に各種規格が構築されています。
産業用ロボットの安全規格は以下のとおりです。



また産業用ロボットの安全に関する国内法は、次のように定められています。

労働安全衛生法 第59条
危険または有害な業務に従事する労働者に対する特別教育の実施が義務付けられています。

労働安全衛生規則
第36条 …… 特別教育を必要とする業務

—	第31号（教示等） ……	産業用ロボット（該当除外あり）の教示作業等について
—	第32号（検査等） ……	産業用ロボット（該当除外あり）の検査、修理、調整作業等について

第150条 …… 産業用ロボットの使用者の取るべき措置

労働安全衛生規則の産業用ロボットに対する要求事項

作業エリア	作業状態	駆動源のしゃ断	措 置	規 定
可動範囲外	自動運転中	しない	運転開始の合図	104 条
			柵、囲いの設置等	150 条の 4
可動範囲内	教示等の作業時	する (運転停止含む)	作業中である旨の表示等	150 条の 3
		しない	作業規定の作成	150 条の 3
			直ちに運転を停止できる措置	150 条の 3
			作業中である旨の表示等	150 条の 3
			特別教育の実施	36 条 31 号
			作業開始前の点検等	151 条
	検査等の作業時	する	運転を停止して行う	150 条の 5
		しない (やむをえず運転中 に行う場合)	作業中である旨の表示等	150 条の 5
			作業規定の作成	150 条の 5
			直ちに運転停止できる措置	150 条の 5
			作業中である旨の表示等	150 条の 5
			特別教育の実施 (清掃・給油作業を除く)	36 条 32 号

当社の産業用ロボット該当機種

労働省告知第 51 号および労働省労働基準局長通達（基発第 340 号）により、以下の内容に該当するものは、産業用ロボットから除外されます。

- (1) 単軸ロボットでモータワット数が 80W 以下の製品
- (2) 多軸組合せロボットで X・Y・Z 軸が 300mm 以内、かつ回転部が存在する場合はその先端を含めた最大可動範囲が 300mm 立方以内の場合
- (3) 多関節ロボットで可動半径および Z 軸が 300mm 以内の製品

当社カタログ掲載製品のうち産業用ロボットの該当機種は以下のとおりです。

1. 単軸ロボシリンダ
RCS2/RCS2CR-SS8□でストローク 300mm を超えるもの
2. 単軸ロボット
次の機種でストローク 300mm を超え、かつモータ容量 80W を超えるもの
ISA/ISB/ISPA/ISPB, SSPA, ISDA/ISDB/ISPDA/ISPDB, SSPDA, ISWA/ISPWA, IF, FS, NS
3. リニアサーボアクチュエータ
ストローク 300mm を超える全機種
4. 直交ロボット
1～3 項の機種のいずれかを 1 軸でも使用するもの
5. IX スカラロボット
アーム長 300mm を超える全機種
(IX-NNN1205/1505/1805/2515、NNW2515、NNC1205/1505/1805/2515 を除く全機種)

当社製品の安全に関する注意事項

ロボットのご使用にあたり、各作業内容における共通注意事項を示します。





No.	作業内容	注意事項
1	機種選定	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品は、高度な安全性を必要とする用途には企画、設計されていませんので、人命を保証できません。従って、次のような用途には使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ①人命および身体の維持、管理などに関わる医療機器 ②人の移動や搬送を目的とする機構、機械装置 (車両・鉄道施設・航空施設など) ③機械装置の重要保安部品(安全装置など) ●次のような環境では使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ①可燃性ガス、発火物、引火物、爆発物などが存在する場所 ②放射能に被爆する恐れがある場所 ③周囲温度や相対湿度が仕様の範囲を超える場所 ④直射日光や大きな熱源からの輻射熱が加わる場所 ⑤温度変化が急激で結露するような場所 ⑥腐食性ガス(硫酸、塩酸など)がある場所 ⑦塵埃、塩分、鉄粉が多い場所 ⑧本体に直接振動や衝撃が伝わる場所 ●製品は仕様範囲外で使用しないでください。著しい寿命低下を招き、製品故障や設備停止の原因となります。
2	運搬	<ul style="list-style-type: none"> ●二人以上で作業を行う場合は、主と従の関係を明確にし、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行ってください。 ●運搬時はぶついたり落下したりせぬよう充分な配慮をしてください。 ●運搬は適切な運搬手段を用いて行ってください。 ●梱包の上には乗らないでください。 ●梱包が変形するような重い物は載せないでください。 ●能力が1t以上のクレーンを使用する場合は、クレーン操作、玉掛けの有資格者が作業を行ってください。 ●クレーンなどを使用する場合は、クレーンなどの定格荷重を超える荷物は絶対に吊らないでください。 ●荷物にふさわしい吊具を使用してください。吊具の切断荷重などに安全を見込んでください。また、吊具に損傷がないか確認してください。 ●吊った荷物に人は乗らないでください。 ●荷物を吊ったまま放置しないでください。 ●吊った荷物の下に入らないでください。
3	保管・保存	<ul style="list-style-type: none"> ●保管・保存環境は設置環境に準じますが、特に結露の発生がないように配慮してください。
4	据付け・立ち上げ	<p>(1) ロボット本体・コントローラ等の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品(ワークを含む)は、必ず確実な保持、固定を行ってください。製品の転倒、落下、異常動作等によって破損およびけがをする恐れがあります。 ●製品の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。転倒事故、物の落下によるけがや製品破損、製品の機能喪失・性能低下・寿命低下などの原因となります。 ●次のような場所で使用する場合は、遮蔽対策を十分行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ①電氣的なノイズが発生する場所 ②強い電界や磁界が生じる場所 ③電源線や動力線が近傍を通る場所 ④水、油、薬品の飛沫がかかる場所

No.	作業内容	注意事項
4	据付け・立ち上げ	<p>(2) ケーブル配線</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクチュエータ～コントローラ間のケーブルやティーチングツールなどのケーブルは当社の純正部品を使用してください。 ●ケーブルに傷をつけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、巻きつけたり、挟み込んだり、重いものを載せたりしないでください。漏電や導通不良による火災、感電、異常動作の原因になります。 ●製品の配線は、電源をオフして誤配線がないように行ってください。 ●直流電源(+24V)を配線する時は、+/-の極性に注意してください。接続を誤ると火災、製品故障、異常動作の恐れがあります。 ●ケーブルコネクタの接続は、抜け・ゆるみのないように確実に行ってください。火災、感電、製品の異常動作の原因になります。 ●製品のケーブルの長さを延長または短縮するために、ケーブルの切断再接続は行わないでください。火災、製品の異常動作の原因になります。 <p>(3) 接地</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コントローラは必ずD種(旧第3種)接地工事をしてください。接地は、感電防止、静電気帯電の防止、耐ノイズ性能の向上および不要な電磁放射の抑制には必ず行わなければなりません。 <p>(4) 安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●二人以上で作業を行う場合は、主と従の関係を明確にし、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行ってください。 ●製品の動作中または動作できる状態の時は、ロボットの可動範囲に立ち入ることができないような安全対策(安全防護柵など)を施してください。動作中のロボットに接触すると死亡または重傷を負うことがあります。 ●運転中の非常事態に対し、直ちに停止することができるよう非常停止回路を必ず設けてください。 ●電源投入だけで起動しないよう安全対策を施してください。製品が急に起動し、けがや製品破損の原因になる恐れがあります。 ●非常停止解除や停電後の復旧だけで起動しないよう、安全対策を施してください。人身事故、装置の破損などの原因となります。 ●据付・調整などの作業を行う場合は、「作業中、電源投入禁止」などの表示をしてください。不意の電源投入により感電やけがの恐れがあります。 ●停電時や非常停止時にワークなどが落下しないような対策を施してください。 ●必要に応じて保護手袋、保護めがね、安全靴を着用して安全を確保してください。 ●製品の開口部に指や物を入れないでください。けが、感電、製品破損、火災などの原因になります。 ●垂直に設置しているアクチュエータのブレーキを解除する時は、自重で落下して手を挟んだり、ワークなどを損傷しないようにしてください。
5	教示	<ul style="list-style-type: none"> ●二人以上で作業を行う場合は、主と従の関係を明確にし、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行ってください。 ●教示作業はできる限り安全防護柵外から行ってください。やむをえず安全防護柵内で作業する時は、「作業規定」を作成して作業への徹底を図ってください。 ●安全防護柵内で作業する時は、作業者は手元非常停止スイッチを携帯し、異常発生時にはいつでも動作停止できるようにしてください。 ●安全防護柵内で作業する時は、作業者以外に監視人をおいて、異常発生時にはいつでも動作停止できるようにしてください。また第三者が不用意にスイッチ類を操作することのないよう監視してください。 ●見やすい位置に「作業中」である旨の表示をしてください。 ●垂直に設置しているアクチュエータのブレーキを解除する時は、自重で落下して手を挟んだり、ワークなどを損傷しないようにしてください。 <p>※安全防護柵・・・安全防護柵がない場合は、可動範囲を示します。</p>

No.	作業内容	注意事項
6	確認運転	<ul style="list-style-type: none"> ●二人以上で作業を行う場合は、主と従の関係を明確にし、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行ってください。 ●教示およびプログラミング後は、1ステップずつ確認運転をしてから自動運転に移ってください。 ●安全防護柵内で確認運転をする時は、教示作業と同様にあらかじめ決められた作業手順で作業を行ってください。 ●プログラム動作確認は、必ずセーフティ速度で行ってください。プログラムミスなどによる予期せぬ動作で事故をまねく恐れがあります。 ●通電中に端子台や各種設定スイッチに触れないでください。感電や異常動作の恐れがあります。
7	自動運転	<ul style="list-style-type: none"> ●自動運転を開始する前には、安全防護柵内に人がいないことを確認してください。 ●自動運転を開始する前には、関連周辺機器がすべて自動運転に入ることのできる状態にあり、異常表示がないことを確認してください。 ●自動運転の開始操作は、必ず安全防護柵外から行うようにしてください。 ●製品に異常な発熱、発煙、異臭、異音が生じた場合は、直ちに停止して電源スイッチをオフしてください。火災や製品破損の恐れがあります。 ●停電した時は電源スイッチをオフしてください。停電復旧時に製品が突然動作し、けがや製品破損の原因になることがあります。
8	保守・点検	<ul style="list-style-type: none"> ●二人以上で作業を行う場合は、主と従の関係を明確にし、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行ってください。 ●作業はできる限り安全防護柵外から行ってください。やむをえず安全防護柵内で作業する時は、「作業規定」を作成して作業者への徹底を図ってください。 ●安全防護柵内で作業を行う場合は、原則として電源スイッチをオフしてください。 ●安全防護柵内で作業する時は、作業者は手元非常停止スイッチを携帯し、異常発生時にはいつでも動作停止できるようにしてください。 ●安全防護柵内で作業する時は、作業者以外に監視人をおいて、異常発生時にはいつでも動作停止できるようにしてください。また第三者が不用意にスイッチ類を操作することのないよう監視してください。 ●見やすい位置に「作業中」である旨の表示をしてください。 ●ガイド用およびボールネジ用グリースは、各機種の取扱説明書により適切なグリースを使用してください。 ●絶縁耐圧試験は行わないでください。製品の破損の原因になることがあります。 ●垂直に設置しているアクチュエータのブレーキを解除する時は、自重で落下して手を挟んだり、ワークなどを損傷しないようにしてください。 <p>※安全防護柵・・・安全防護柵がない場合は、可動範囲を示します。</p>
9	改造・分解	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様の独自の判断に基づく改造、分解組立て、指定外の保守部品の使用は行わないでください。
10	廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ●製品が使用不能、または不要になって廃棄する場合は、産業廃棄物として適切な廃棄処理をしてください。 ●製品の廃棄時は、火中に投じないでください。製品が破裂したり、有毒ガスが発生する恐れがあります。

注意表示について

各機種の取扱説明書には、安全事項を以下のように「危険」「警告」「注意」「お願い」にランク分けして表示しています。

レベル	危害・損害の程度	シンボル
危険	取扱いを誤ると、死亡または重傷に至る危険が差し迫って生じると想定される場合	 危険
警告	取扱いを誤ると、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合	 警告
注意	取扱いを誤ると、傷害または物的損害の可能性が想定される場合	 注意
お願い	傷害の可能性はないが、本製品を適切に使用するために守っていただきたい内容	 お願い

取扱い上の注意

1. 通信速度は、自動ネゴシエーション設定で使用することを推奨します。

EtherNet/IP ユニットのリンク設定は、接続するスイッチングハブの通信モード設定と合致させるようにしてください。合致していない場合、不安定なリンク状態となり、正常な通信ができません。

ACON、PCON のパラメータで、自動ネゴシエーションに設定することを推奨します。スイッチングハブの通信モード別の設定表を以下に示します。

EtherNet/IP ユニット スイッチングハブ		自動ネゴシ エーション	10M 固定		100M 固定	
			全二重	半二重	全二重	半二重
自動ネゴシエーション		◎(推奨)	×	○	×	○
10M 固定	全二重	×	○	×	×	×
	半二重	○	×	○	×	×
100M 固定	全二重	×	×	×	○	×
	半二重	○	×	×	×	○

(◎：接続可(推奨)、○：接続可、×：接続不可)

2. スwitchングハブを使用してください。

ネットワークの構成には、スイッチングハブを使用し、リピータハブは使用しないでください。リピータハブを使用した場合、タグデータリンクが不安定な動作となる場合があります。詳細は、マスタユニット取扱説明書を参照ください。

1. 概要

オープンフィールドネットワークである EtherNet/IP は、国際標準 IEC61158 シリーズで標準化されたグローバルオープンネットワークです。

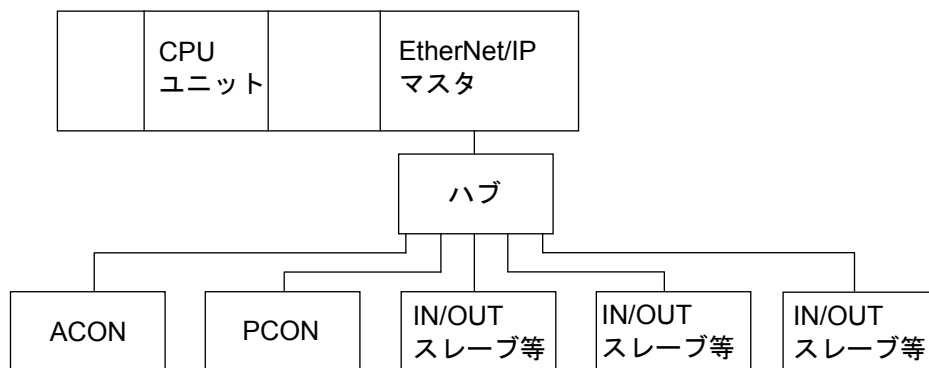
ACON、PCON の各コントローラ（以降各コントローラと記載）は、この EtherNet/IP に接続することによって省配線によるシステム構築が可能です。

（注 1）EtherNet/IP の詳細な説明はマスタユニットの搭載されるプログラマブルコントローラ（以下 PLC）の取扱説明書をご参照ください。

本取扱説明書は、各コントローラの取扱説明書と併せてご利用ください。
また、本取扱説明書で可能と表現されている以外の使い方はできません。

・システム構成例

マスタ (PLC)



1.1 EtherNet/IP 仕様

項 目	仕 様
通信規格	IEC61158 (IEEE802.3)
通信速度	10BASE-T/100BASE-T (オートネゴシエーション設定を推奨)
通信ケーブル長	EtherNet/IP 仕様による (ハブと各ノード間の距離：100m 以内 ^{注1})
コネクション数	マスタユニットによる
設定可能ノードアドレス	0.0.0.0～255.255.255.255
通信ケーブル	カテゴリ 5 以上 (アルミテープと編組の二重しゃ蔽シールドケーブル推奨)
接続コネクタ	RJ45 コネクタ 1 個

(注 1)：詳細は、ODVA の敷設マニュアル等を参照してください。

2. ACON、PCON

2.1 動作モードと機能

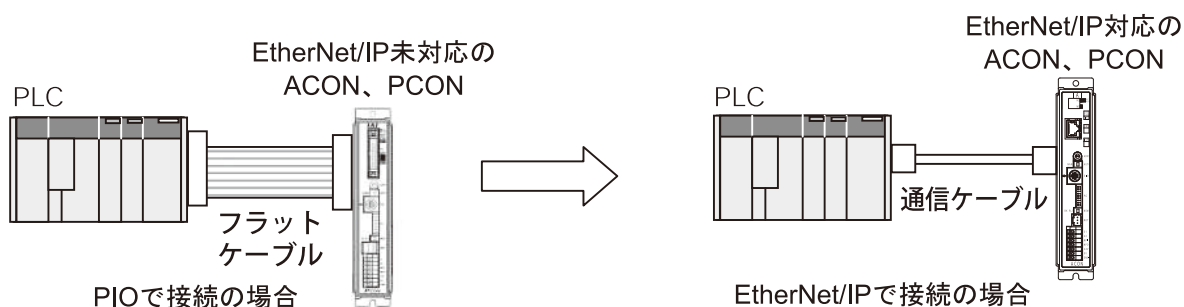
EtherNet/IP 対応の ACON および PCON は次の 5 つの動作モードから選択して運転することができます。

動作モードと主要機能

主要機能	リモート I/O モード	ポジション／ 簡易直値モード	ハーフ直値 モード	フル直値 モード	リモート I/O モード 2
占有バイト数	2	8	16	32	12
位置データ指定運転	×	○(※1)	○	○	×
速度・加速度 直接指定	×	×	○	○	×
押付け動作	○	○	○	○	○
現在位置読取り	×	○	○	○	○
現在速度読取り	×	×	○	○	×
ポジション No. 指定運転	○	○	×	×	○
完了ポジション No. 読取り	○	○	×	×	○
最大ポジション テーブル数	512	768	使用しない	使用しない	512

(※1) 位置データ以外のポジションデータはポジション No. を指定して運転を行います。

- ① リモート I/O モード：PIO (24V 入出力) による運転を EtherNet/IP 通信によって行う方式です。
占有バイト数：2 バイト

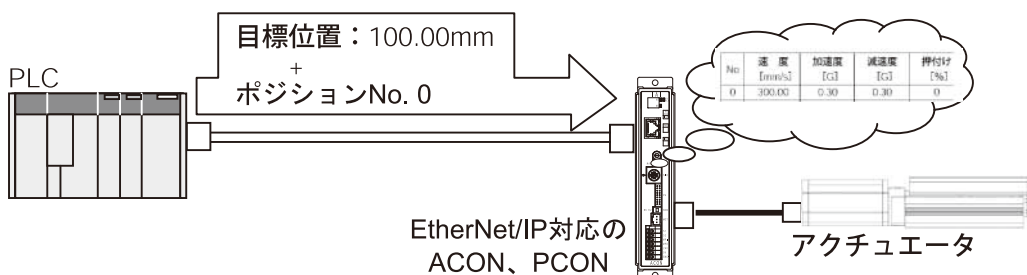


②ポジション／簡易直値モード：ポジション No. を指定して運転する方式です。

制御信号の切換えで目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータに登録した値を使用するか選択できます。

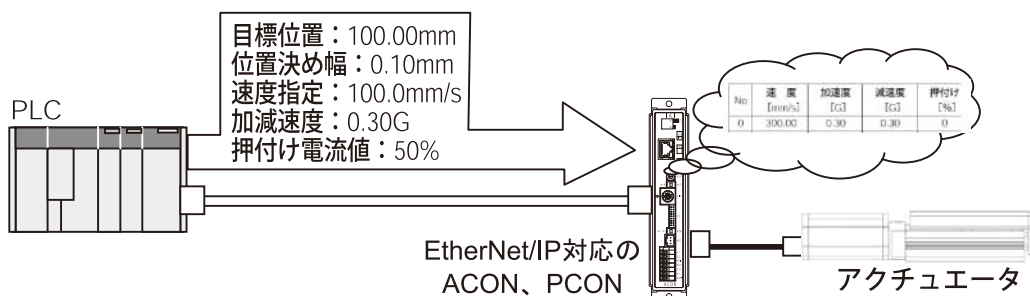
速度、加減速度、位置決め幅等はあらかじめ登録したポジションデータの値を使用します。設定可能なポジションデータの数最大 768 点です。

占有バイト数：8 バイト



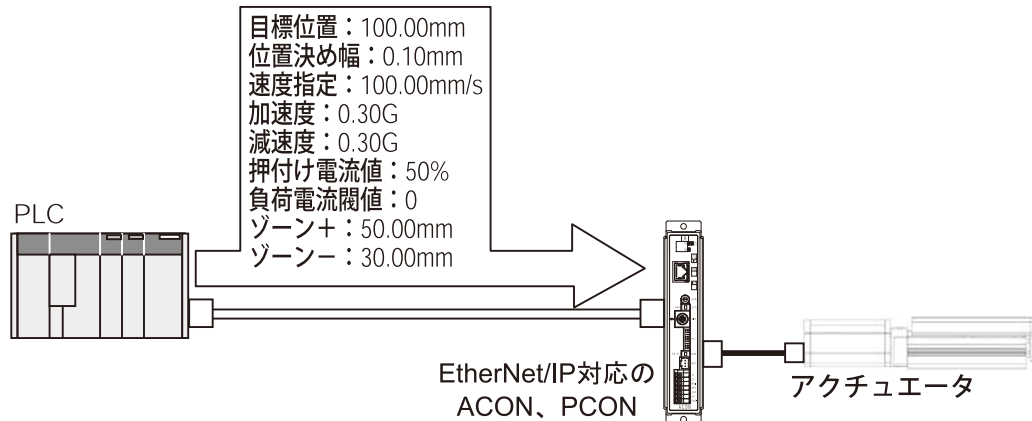
③ハーフ直値モード：目標位置以外に速度、加減速度、押付け電流値を直接数値で指定する運転方式です。

占有バイト数：16 バイト



- ④フル直値モード：位置制御に関する全ての値(目標位置、速度、加減速度等)を直接数値で指定する運転方式です。

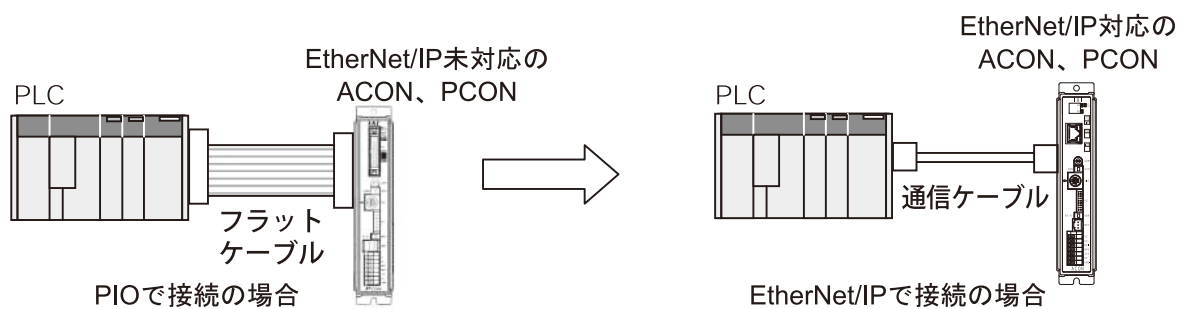
占有バイト数：32 バイト



- ⑤リモート I/O モード 2：PIO (24V 入出力)による運転を EtherNet/IP によって行う方式です。

①の機能に現在位置と指令電流値読取り機能を追加したものです。

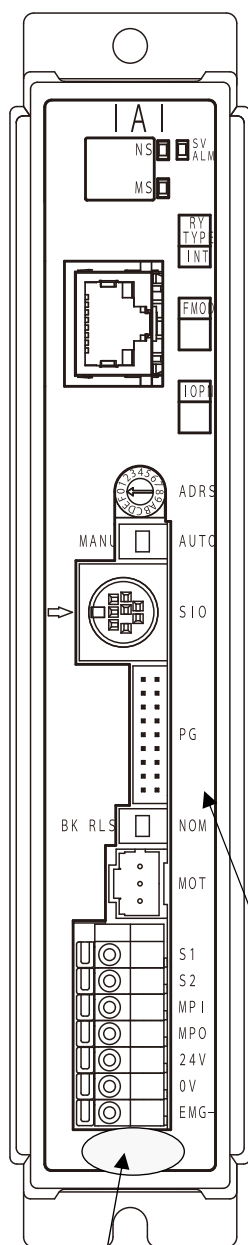
占有バイト数：12 バイト



2.2 型式

EtherNet/IP 対応の ACON および PCON の型式は各々以下のように表されています。

- ACON-C/CG-□-EP-□
- PCON-C/CG-□-EP-□



シリーズ名の印字

- ACON
- PCON

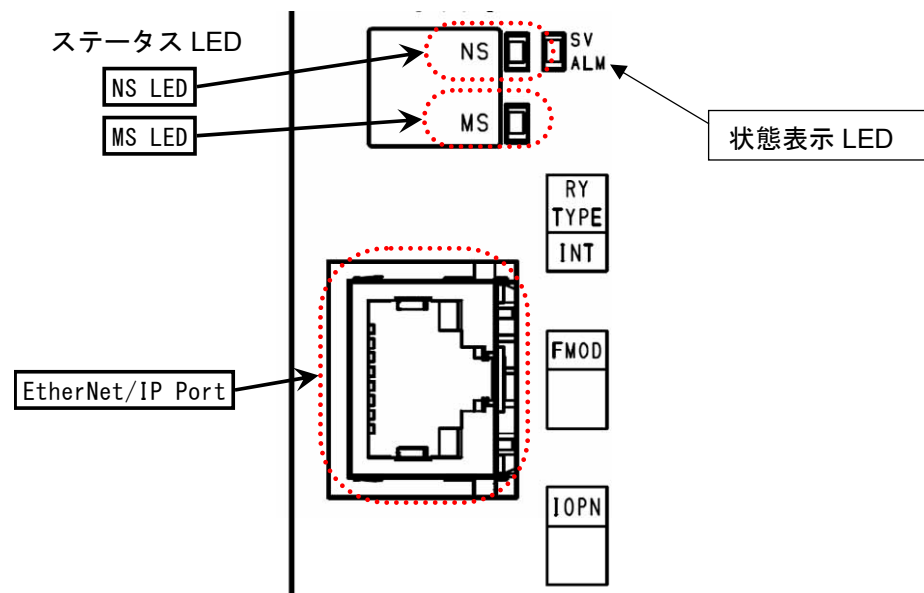
前面パネルの色

- ACON : ダークブルー
- PCON : ダークグリーン

2.3 EtherNet/IP インタフェース

2.3.1 各部の名称

EtherNet/IP に関連する各部の名称を示します。



2.3.2 モニタ用 LED の表示

コントローラ前面に設けられた MS、NS の 2 つの LED によってスレーブ (各コントローラ) の状態やネットワークの状態を知ることができます。

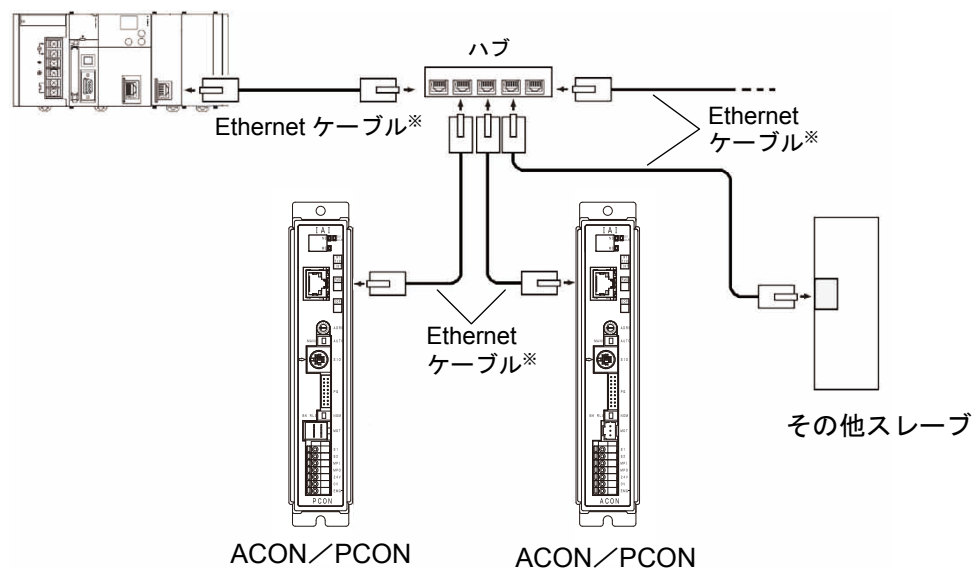
以下の表の内容を示します。

名称	表示色	説明	
NS	消灯	電源OFF、または、IPアドレス未設定	
	緑(点灯)	コネクションが確立し、正常に通信中です。	
	緑(点滅)	オンライン状態になっているが、コネクションが確立していません。通信停止中(ネットワークは正常)です。マスタユニットの状態を確認してください。	
	赤(点灯)	通信異常です。IPアドレス重複などのエラー検出により通信できません。	IPアドレスの設定、通信ラインの配線状態、ハブの電源、ノイズ対策などを確認してください。
	赤(点滅)	通信異常です。(通信タイムアウトを検出しました)	
MS	消灯	電源OFF	
	緑(点灯)	正常動作中です。 スキャナ(マスタ)のコントロール下にある状態	
	緑(点滅)	スキャナ(マスタ)とのコネクションが確立していません。 構成情報の設定を確認してください。 スキャナ(マスタ)がアイドル状態になっていないか確認してください。	
	赤(点灯)	ハードウェア異常です。 ボード交換が必要です。当社までお問い合わせください。	
	赤(点滅)	コンフィグレーション異常、設定不正などの軽微な異常です。 再設定などで回復可能です。	

2.4 配線例

2.4.1 配線(例)

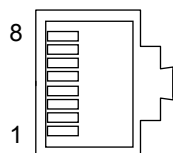
PLC (EtherNet/IP マスタユニット)



※Ethernet ケーブル： カテゴリ 5e 以上のストレートケーブル 100m 以内
(アルミテープと編組の二重しゃ蔽シールドケーブル推奨)

(注) 終端処理の必要はありません。

2.4.2 コネクタピン配列



RJ45 8 ピン
モジュラコネクタ
(コントローラ側)

ピン番号	信号名称	信号略称
1	送信データ+	TD+
2	送信データ-	TD-
3	受信データ+	RD+
4	未使用	
5	未使用	
6	受信データ-	RD-
7	未使用	
8	未使用	
コネクタ フード	保安用接地	FG

2.5 設定

ティーチングツールを使用して、コントローラのパラメータに設定します。
コントローラの前面のモード切替 SW を MANU 側にして設定してください。
EtherNet/IP 対応のティーチングツールのバージョンは以下の通りです。

- ・ RC パソコン対応ソフト : V8.02.00.00～
- ・ CON-T/TG : V1.10～
- ・ CON-PT/PD/PG : V1.20～
- ・ RCM-E/P : V2.20(予定)～

2.5.1 動作モードの選択

パラメータ No.84 “FMODE : フィールドバス動作モード” を設定してください。
[2.9 EtherNet/IP 関連パラメータ参照]

設定値	動作モード	占有バイト数
0(出荷時設定)	リモート I/O モード	2
1	ポジション／簡易直値モード	8
2	ハーフ直値モード	16
3	フル直値モード	32
4	リモート I/O モード 2	12

(注) これ以外の値を入力すると入力値過大エラーとなります。

2.5.2 通信速度の設定

パラメータ No.86 “FBRs : フィールドバス通信速度” を設定してください。

設定値	通信速度
0(出荷時設定)	自動ネゴシエーション(推奨)
1	10Mbps 半二重
2	10Mbps 全二重
3	100Mbps 半二重
4	100Mbps 全二重
上記以外	ボーレート設定エラー

2.5.3 IP アドレスの設定

パラメータ No.140 “IPAD : IP アドレス” を設定してください。
[2.9 EtherNet/IP 関連パラメータ参照]

設定可能範囲 : 0.0.0.0～255.255.255.255(出荷時は、192.168.0.1 に設定されています。)

(注 1) IP アドレスの重複設定にご注意ください。
詳細はマスタユニットおよび搭載される PLC の取扱説明書をご参照ください。

(注 2) 0.0.0.0 に設定すると DHCP 有効(IP アドレス自動割付)となります。
ただし、意図せず IP アドレスが変更されてしまう可能性がありますので、手動で設定することを推奨します。

2.5.4 サブネットマスクの設定

パラメータ No.141 “SNMK : サブネットマスク” を設定してください。
マスタユニットおよび他のスレーブ(同一ネットワーク上)と同じ値を設定してください。
[2.9 EtherNet/IP 関連パラメータ参照]

設定可能範囲 : 0.0.0.0~255.255.255.255 (出荷時は、255.255.255.0 に設定されています。)

2.5.5 デフォルトゲートウェイの設定

必要に応じ、パラメータ No.142 “DFGW : デフォルトゲートウェイ” を設定してください。
[2.9 EtherNet/IP 関連パラメータ参照]

設定可能範囲 : 0.0.0.0~255.255.255.255 (出荷時は、0.0.0.0 に設定されています。)

(注)パラメータの設定後はコントローラの電源再投入を行い、コントローラ前面のモード切替 SW
を AUTO 側に戻してください。
MANU 側のままの場合 PLC による運転はできません。

2.6 マスタ局との通信

2.6.1 各動作モードと PLC 入出力エリアの対応

各動作モードのアドレス割付を次に示します。

- PLC 出力→ACON または PCON の入力（※n は各軸の出力先頭アドレスです。）

ACONまたはPCONのDIおよび入力データレジスタ						
PLC出力エリア (バイト)	リモート I/Oモード	ポジション／ 簡易直値モード	ハーフ直値 モード	フル直値モード	リモートI/O モード2	
	占有バイト数：2	占有バイト数：8	占有バイト数：16	占有バイト数：32	占有バイト数：12	
n,n+1	ポート番号 0～15	目標位置	目標位置	目標位置	ポート番号 0～15	
n+2, n+3		目標位置	目標位置	目標位置	占有領域	
n+4, n+5		指定ポジションNo.	位置決め幅	位置決め幅		
n+6, n+7		制御信号				
n+8, n+9			速度	速度指定		
n+10, n+11			加減速度			
n+12, n+13			押付け電流制限値	ゾーン境界値＋		
n+14, n+15			制御信号			
n+16, n+17					ゾーン境界値－	
n+18, n+19						
n+20, n+21					加速度	
n+22, n+23					減速度	
n+24, n+25					押付け電流制限値	
n+26, n+27					ACON	占有領域
					PCON	負荷電流閾値
n+28, n+29					制御信号 1	
n+30, n+31	制御信号 2					

(注) 占有領域 は動作モードの設定により占有される領域です。
他の目的に使用できません。またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

- ACON または PCON 出力→PLC 入力側（※n は各軸の入力先頭アドレスです。）

	ACONまたはPCON側DOおよび出力データレジスタ				
PLC入力エリア (バイト)	リモート I/Oモード	ポジション／ 簡易直値モード	ハーフ直値 モード	フル直値モード	リモートI/O モード2
	占有バイト数：2	占有バイト数：8	占有バイト数：16	占有バイト数：32	占有バイト数：12
n,n+1	ポート番号 0～15	現在位置	現在位置	現在位置	ポート番号 0～15
n+2, n+3					占有領域
n+4, n+5		完了ポジションNo. (簡易アラームID)	指令電流	指令電流	現在位置
n+6, n+7					
n+8, n+9		/	現在速度	現在速度	指令電流
n+10, n+11					
n+12, n+13			アラームコード	アラームコード	/
n+14, n+15			状態信号	占有領域	
n+16, n+17			/		
n+18, n+19					
n+20, n+21					
n+22, n+23					
n+24, n+25					
n+26, n+27					
n+28, n+29		状態信号			
n+30, n+31					

(注) **占有領域** は動作モードの設定により占有される領域です。
他の目的に使用できません。またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

2.6.2 リモート I/O モード（占有バイト数：2）

PIO (24V 入出力) を使用した場合と同様にポジション No. を指定して運転するモードです。
 対応ティーチングツールからポジションデータを設定してください。運転可能なポジション数は、パラメータ No.25 “PIO パターン” の設定によります。
 以下に各 PIO パターンの I/O 仕様を示します。（詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照）

パラメータ No.25 の設定値	動作モード	I/O 仕様
0	位置決めモード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 2 点
1	教示モード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 1 点 位置決めおよびジョグ運転が可能 現在位置を指定ポジションに書込み可能
2	256 点モード	位置決め点数 256 点、ゾーン出力 1 点
3	512 点モード	位置決め点数 512 点、ゾーン出力無し
4	電磁弁モード 1	位置決め点数 7 点、ゾーン出力 2 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力
5	電磁弁モード 2	位置決め点数 3 点、ゾーン出力 2 点 前進／後退／中間位置指令により運転 位置決め完了信号は前進端／後退端／ 中間位置の個別出力

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダ の機能	PIO パターン					
	0: 位置決め モード	1: 教示 モード	2: 256 点 モード	3: 512 点 モード	4: 電磁弁 モード 1	5: 電磁弁 モード 2
原点復帰動作	○	○	○	○	○	×
位置決め動作	○	○	○	○	○	○
速度・加減速度設定	○	○	○	○	○	○
ピッチ送り（インチング）	○	○	○	○	○	○
押付け動作	○	○	○	○	○	×
移動中の速度変更	○	○	○	○	×	○
異なった加速度、 減速度での動作	○	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○	○(※1)
ゾーン信号出力	○	○	○	×	○	○
PIO パターン選択 (パラメータで設定)	○	○	○	○	○	○

○：動作可、×：動作不可

(※1) パラメータ No.27 “移動指令種別” を 0 に設定した場合に可能です。
 移動指令を OFF にすることによって一時停止が可能です。

(1) PLC アドレス構成 (※n は各軸の先頭アドレスです。)

パラメータ No.84	ACON または PCON 側 DI (ポート番号)	PLC 側 出力アドレス (バイト)	ACON または PCON 側 DO (ポート番号)	PLC 側 入力アドレス (バイト)
0	0~15	n+0,n+1	0~15	n+0,n+1

(注) ノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力アドレスの各 1 ワード (1 ワード=2 バイト) で構成されます。

- PLC からビット単位の ON/OFF 信号で制御します。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸の出力先頭アドレスです。)

		1 ワード=2 バイト=16 ビット															
n+0, n+1		F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 入力ポート 番号		15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

PLC 入力

アドレス (※n は各軸の入力先頭アドレスです。)

		1 ワード=2 バイト=16 ビット															
n+0, n+1		F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 出力ポート 番号		15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

(3) 入出力信号割付

パラメータ No.25 の設定によりコントローラの入出力ポートの信号内容が変わります。

(詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)

ACON

		パラメータ No.25 の設定					
		位置決めモード		教示モード		256 点モード	
		0		1		2	
区分	ポート番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC 出力→ ACON 入力	0	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1
	1		PC2		PC2		PC2
	2		PC4		PC4		PC4
	3		PC8		PC8		PC8
	4		PC16		PC16		PC16
	5		PC32		PC32		PC32
	6	使用できません	—	教示モード指令	MODE	使用できません	PC64
	7		—	ジョグ/インテング切替	JISL		PC128
	8		—	+ジョグ	JOG+		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	—ジョグ	JOG-	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME
	12	一時停止	* STP	一時停止	* STP	一時停止	* STP
	13	位置決めスタート	CSTR	位置決めスタート/ ポジションデータ 取込み指令	CSTR/ PWRT	位置決めスタート	CSTR
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON
ACON 出力 →PLC 入力	0	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1
	1		PM2		PM2		PM2
	2		PM4		PM4		PM4
	3		PM8		PM8		PM8
	4		PM16		PM16		PM16
	5		PM32		PM32		PM32
	6	移動中信号	MOVE	移動中信号	MOVE	移動中信号	PM64
	7	ゾーン 1	ZONE1	教示モード信号	MODES		PM128
	8	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号/ ポジションデータ 取込み完了	PEND/ WEND	位置決め完了信号	PEND
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	* EMGS	非常停止	* EMGS	非常停止	* EMGS
	14	アラーム	* ALM	アラーム	* ALM	アラーム	* ALM
	15	使用できません	—	使用できません	—	使用できません	—

* は正常時 ON 信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFF は不定です)

ACON

		パラメータ No.25 の設定					
		512 点モード		電磁弁モード 1		電磁弁モード 2	
		3		4		5	
区分	ポート 番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC 出力→ ACON 入力	0	指令ポジション No.	PC1	スタートポジション 0	ST0	スタートポジション 0	ST0
	1		PC2	スタートポジション 1	ST1	スタートポジション 1	ST1
	2		PC4	スタートポジション 2	ST2	スタートポジション 2	ST2
	3		PC8	スタートポジション 3	ST3	使用できません	—
	4		PC16	スタートポジション 4	ST4		—
	5		PC32	スタートポジション 5	ST5		—
	6		PC64	スタートポジション 6	ST6		—
	7		PC128	使用できません	—		—
	8		PC256		—		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	使用できません	—
	12	一時停止	*STP	一時停止	*STP		—
	13	位置決めスタート	CSTR	使用できません	—		—
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON
ACON 出力 →PLC 入力	0	完了ポジション No.	PM1	ポジション完了 0	PE0	後退端移動指令 0	LS0
	1		PM2	ポジション完了 1	PE1	後退端移動指令 1	LS1
	2		PM4	ポジション完了 2	PE2	後退端移動指令 2	LS2
	3		PM8	ポジション完了 3	PE3	使用できません	—
	4		PM16	ポジション完了 4	PE4		—
	5		PM32	ポジション完了 5	PE5		—
	6		PM64	ポジション完了 6	PE6		—
	7		PM128	ゾーン 1	ZONE1	ゾーン 1	ZONE1
	8		PM256	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号	PEND	使用できません	—
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	使用できません	—	使用できません	—	使用できません	—

*は正常時 ON 信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFF は不定です)

PCON

		パラメータ No.25 の設定					
		位置決めモード		教示モード		256 点モード	
		0		1		2	
区分	ポート番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC 出力→PCON 入力	0	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1
	1		PC2		PC2		PC2
	2		PC4		PC4		PC4
	3		PC8		PC8		PC8
	4		PC16		PC16		PC16
	5		PC32		PC32		PC32
	6	使用できません	—	教示モード指令	MODE		PC64
	7		—	ジョグ/インテグ切替	JISL		PC128
	8		—	+ジョグ	JOG+	使用できません	—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	-ジョグ	JOG-	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME
	12	一時停止	*STP	一時停止	*STP	一時停止	*STP
	13	位置決めスタート	CSTR	位置決めスタート/ ポジションデータ 取込み指令	CSTR/ PWRT	位置決めスタート	CSTR
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON
PCON 出力→PLC 入力	0	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1
	1		PM2		PM2		PM2
	2		PM4		PM4		PM4
	3		PM8		PM8		PM8
	4		PM16		PM16		PM16
	5		PM32		PM32		PM32
	6	移動中信号	MOVE	移動中信号	MOVE		PM64
	7	ゾーン 1	ZONE1	教示モード信号	MODES		PM128
	8	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号/ ポジションデータ 取込み完了	PEND/ WEND	位置決め完了信号	PEND
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	負荷出力判定/ トルクレベル	LOAD/ TRQS	使用できません	—	負荷出力判定/ トルクレベル	LOAD/ TRQS

* は正常時 ON 信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFF は不定です)

PCON

		パラメータ No.25 の設定					
		512 点モード		電磁弁モード 1		電磁弁モード 2	
		3		4		5	
区分	ポート 番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC 出力→ PCON 入力	0	指令ポジション No.	PC1	スタートポジション 0	ST0	スタートポジション 0	ST0
	1		PC2	スタートポジション 1	ST1	スタートポジション 1	ST1
	2		PC4	スタートポジション 2	ST2	スタートポジション 2	ST2
	3		PC8	スタートポジション 3	ST3	使用できません	—
	4		PC16	スタートポジション 4	ST4		—
	5		PC32	スタートポジション 5	ST5		—
	6		PC64	スタートポジション 6	ST6		—
	7		PC128	使用できません	—		—
	8		PC256		—		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	使用できません	—
	12	一時停止	*STP	一時停止	*STP		—
	13	位置決めスタート	CSTR	使用できません	—		—
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON
PCON 出力 →PLC 入力	0	完了ポジション No.	PM1	ポジション完了 0	PE0	後退端移動指令 0	LS0
	1		PM2	ポジション完了 1	PE1	後退端移動指令 1	LS1
	2		PM4	ポジション完了 2	PE2	後退端移動指令 2	LS2
	3		PM8	ポジション完了 3	PE3	使用できません	—
	4		PM16	ポジション完了 4	PE4		—
	5		PM32	ポジション完了 5	PE5		—
	6		PM64	ポジション完了 6	PE6		—
	7		PM128	ゾーン 1	ZONE1	ゾーン 1	ZONE1
	8		PM256	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号	PEND	使用できません	—
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	負荷出力判定/ トルクレベル	LOAD/ TRQS	負荷出力判定/ トルクレベル	LOAD/ TRQS	使用できません	—

* は正常時 ON 信号です。

“使用できません” と表記されている信号は制御していません。(ON/OFF は不定です)

2.6.3 ポジション／簡易直値モード（占有バイト数：8）

ポジション No. を指定して運転する方式です。制御信号 (PMOD 信号) の切換えで目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータに登録した値を使用するか選択できます。

目標位置以外の速度、加減速度、位置決め幅等はコントローラ内のポジションテーブルの値が使用されます。コントローラ本体の取扱説明書を参照してポジションデータを設定してください。

設定可能なポジションデータの数は最大 768 点です。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	△	ポジションデータの 設定が必要です。
ピッチ送り (インテング)	△	
押付け動作	△	
移動中の速度変更	△	
異なった加速度、 減速度での動作	△	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	ゾーンの設定は パラメータに行います。
PIO パターン選択	×	

(1) PLC アドレス構成（※n は各軸の先頭アドレスです。）

パラメータ No.84	ACON または PCON 側 入力レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	ACON または PCON 側 出力レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
1	目標位置	n+0、n+1	現在位置	n+0、n+1
		n+2、n+3		n+2、n+3
	指定ポジション No.	n+4、n+5	完了ポジション No. (簡易アラームコード)	n+4、n+5
	制御信号	n+6、n+7	状態信号	n+6、n+7

(注) ノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力アドレスの各 4 ワード (4 ワード=8 バイト) で構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位の ON/OFF 信号です。
- 目標位置および現在位置は 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータで、PLC では -999999 ~ +999999 (単位 : 0.01mm) の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータの ソフトストロークの範囲内 (0 ~ 有効ストローク長) で設定してください。
- 指定ポジション No. および完了ポジション No. は 1 ワード (16 ビット) のバイナリデータで、PLC では 0 ~ 767 までの数値が扱えますが、ティーチングツールで あらかじめ運転条件を設定したポジション No. を指定してください。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸の出力先頭アドレスです。)

		1 ワード=2 バイト=16 ビット															
n+0、n+1		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																	
n+2、n+3		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																	

目標位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指定ポジション No.							PC512	PC256	PC128	PC64	PC32	PC16	PC8	PC4	PC2	PC1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD			PMOD	MODE	PWRT	JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	CSTR

PLC 入力

アドレス (※n は各軸の入力先頭アドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット

n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
完了ポジション No.							PM512	PM256	PM128	PM64	PM32	PM16	PM8	PM4	PM2	PM1

n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE1	ZONE2	PZONE	MODES	WEND	RMDS	—	—	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出力	目標位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は 0.01mm で指定可能範囲は、－999999～999999 となります。 (例) +25.40mm なら 2540 と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側(0.2mm)を超えた値を入力するとソフトリミットの内側(0.2mm)までの移動に制限されます。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力してください。	2.8 (1)
	指定 ポジション No.	16 ビット データ	PC1～ PC512	16 ビット整数 運転にはパソコン対応ソフトなどのティーチングツールであらかじめ運転条件を設定したポジションデータが必要です。 本レジスタでデータを入力したポジション番 No. を指定してください。 指定可能範囲は 0～767 となります。 範囲外の値の指定、未設定のポジション No. の指定はスタート信号を ON した際にアラームとなります。	2.8 (1)
	制御番号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除	2.6.7 (18)
		b14	RMOD	運転モード：OFF で AUTO モード、ON で MANU モード	2.6.7 (19)
		b13	—	使用できません	—
		b12			
		b11	PMOD	ポジション／簡易直値切替： OFF でポジションモード、ON で簡易直値モード	2.6.7 (20)
		b10	MODE	教示モード指令： OFF で通常モード、ON で教示モード	2.6.7 (16)
		b9	PWRT	ポジションデータ取り込み指令： ON でポジションデータ取込み	2.6.7 (17)
		b8	JOG+	+ジョグ：ON で反原点方向移動	2.6.7 (13)
		b7	JOG-	－ジョグ：ON で原点方向移動	2.6.7 (13)
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFF でパラメータ No.26“ジョグ速度”、パラメータ No.48 “イン칭ング距離” ON でパラメータ No.47“ジョグ速度 2”、パラメータ No.49 “イン칭ング距離 2” の設定値を使用する。	2.6.7 (14)
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFF でジョグ動作、ON でイン칭ング動作	2.6.7 (15)
		b4	SON	サーボ ON 指令：ON でサーボ ON	2.6.7 (5)
		b3	RES	リセット：ON でリセット実行	2.6.7 (4)
		b2	STP	一時停止：ON で一時停止指令	2.6.7 (11)
		b1	HOME	原点復帰：ON で原点復帰指令	2.6.7 (6)
		b0	CSTR	位置決めスタート：ON で移動指令	2.6.7 (7)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
PLC入力	現在位置	32 ビット	—	現在位置 32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値： 000003FF _H =1023(10 進数) =10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	2.8 (1)
	完了 ポジション No. (簡易アラーム コード)	16 ビット	PM1～ PM512	16 ビット整数 目標位置まで移動し、位置決め幅内に入る位置決め完了したポジション No.が出力されます。 一度もポジション移動を行ってない場合及び移動中は“0”が出力されます。 アラームが発生した場合(状態信号の ALM が ON の場合)には簡易アラームコード(コントローラ本体の取扱説明書参照)が出力されます。	2.8 (1)
	状態記号	b15	EMGS	非常停止：ON で非常停止状態	2.6.7 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了：準備完了で ON	2.6.7 (1)
		b13	ZONE2	ゾーン 2: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	2.6.7 (12)
		b12	ZONE1	ゾーン 1: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	2.6.7 (12)
		b11	PZONE	ポジションゾーン： 現在位置がポジションゾーン設定内にあるとき ON	2.6.7 (12)
		b10	MODES	教示モード信号：教示モード選択中で ON	2.6.7 (16)
		b9	WEND	ポジションデータ取込み完了：取込み完了で ON	2.6.7 (17)
		b8	RMDS	運転モード状態： 現在の状態が AUTO モードで OFF 、MANU モードで ON	2.6.7 (19)
		b7	—	使用できません	—
		b6			
		b5	PSFL	押付け空振り：押付け動作空振りで ON	2.6.7 (23)
		b4	SV	運転準備完了：サーボ ON で ON	2.6.7 (5)
		b3	ALM	アラーム：アラーム発生で ON	2.6.7 (3)
		b2	MOVE	移動中信号：アクチュエータ移動中で ON	2.6.7 (9)
		b1	HEND	原点復帰完了：原点復帰完了で ON	2.6.7 (6)
		b0	PEND	位置決め完了信号：位置決め完了で ON	2.6.7 (10)

2.6.4 ハーフ直値モード（占有バイト数：16）

PLC から目標位置、位置決め幅、速度、加減速度、押付電流値を直接数値で指定する運転方式です。入出力エリアに各値を設定してください。ゾーン機能を使用する場合にはパラメータ No.1,2,23,24 に設定してください。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	○	
ピッチ送り(イン칭ング)	○	
押付け動作	○	
移動中の速度変更	○	
異なった加速度、減速度での動作	×	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	パラメータに設定が必要です。
PIO パターン選択	×	

(1) PLC アドレス構成（※n は各軸の先頭アドレスです。）

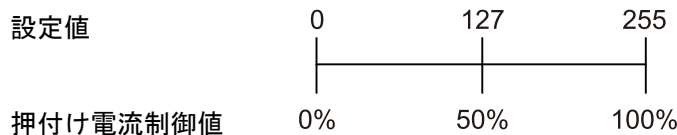
パラメータ No.84	ACON または PCON 側 入力レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	ACON または PCON 側 出力レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
2	目標位置	n,n+1	現在位置	n,n+1
		n+2, n+3		n+2, n+3
	位置決め幅	n+4, n+5	指令電流	n+4, n+5
		n+6, n+7		n+6, n+7
	速度	n+8, n+9	現在速度	n+8, n+9
	加減速度	n+10, n+11		n+10, n+11
	押付け電流制限値	n+12, n+13	アラームコード	n+12, n+13
	制御記号	n+14, n+15	状態信号	n+14, n+15

(注) ノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 8 ワード(8 ワード=16 バイト)で構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位の ON/OFF 信号です。
- 目標位置および現在位置は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では-999999~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内(0~有効ストローク長)で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えます。
- 指定速度は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0~+65535(単位: 1.0mm/sec)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加減速度は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~300(単位: 0.01G)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0(0%)~255(100%)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内(アクチュエータのカatalogまたは取扱説明書参照)で設定してください。



- 指令電流は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 1mA)です。
- 現在速度は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 0.01mm/sec)です。
- アラームコードは 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータです。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸の出力先頭アドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット																
n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																
n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																

目標位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加減速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+12、n+13	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け電流 制限値									128	64	32	16	8	4	2	1
n+14、n+15	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD	DIR	PUSH				JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	DSTR

PLC 入力

アドレス (※n は各軸の入力先頭アドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット																
n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																
n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																
n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																

現在速度が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+12、n+13	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラーム コード																
n+14、n+15	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1				RMDS			PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出力	目標位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は 0.01mm で指定可能範囲は、－999999～999999 となります。 (例) +25.41mm なら 2541 と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側 (0.2mm) を 超えた値を入力するとソフトリミットの内側 (0.2mm) までの移動に制限されます。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力 してください。	2.8 (2)
	位置決め幅	32 ビット データ	—	32 ビット整数 単位は 0.01mm で指定可能範囲は 1～999999 で す。 (例) 25.40mm なら 2540 と指定します。本レジス タは動作種別により 2 種類の意味があります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程度の 範囲で位置決め完了とみなすかの許容範囲とな ります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。通常 動作か押付け動作かの指定は、制御信号の PUSH で設定してください。	2.8 (2)
	速度	16 ビット データ	—	16 ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位は 1.0mm/sec で指定可能範囲は、0～65535 となります。 (例) 254.0mm/sec なら 254 と指定します。最大 速度以上の値で移動指令を行うとアラームとな ります。	2.8 (2)
	加減速度	16 ビット データ	—	16 ビット整数 移動時の加減速度を指定してください。(加速度と 減速度は同じ値となります。) 単位は 0.01G で指定可能範囲は 1～300 です。 (例) 0.30G なら 30 と指定します。 0 または最大加速度、最大減速度を超えた値で移 動指令を行うとアラームとなります。	2.8 (2)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	押付け連流 制限値	16 ビット データ	—	16 ビット整数 押付け動作時電流制限を指定してください。 指定可能範囲は 0 (0%) ~ 255 (100%) です。 各アクチュエータにより実際の指定可能範囲は 異なります。(各アクチュエータのカatalog また は取扱説明書をご参照ください。) 最大押付け電流値以上の値で移動指令を行うと アラームとなります。	2.8 (2)
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除	2.6.7 (18)
		b14	RMOD	運転モード：OFF で AUTO モード、ON で MANU モード	2.6.7 (19)
		b13	DIR	押付け方向指定： OFF で目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ON で目標位置に位置決め幅を加算した位置方向	2.6.7 (22)
		b12	PUSH	押付け指定：OFF で位置決め動作、ON で押付け動作	2.6.7 (21)
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9			
		b8	JOG+	+ジョグ：ON で反原点方向移動	2.6.7 (13)
		b7	JOG-	－ジョグ：ON で原点方向移動	2.6.7 (13)
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFF でパラメータ No.26“ジョグ速度”、パラメー タ No.48 “イン칭ング距離” ON でパラメータ No.47“ジョグ速度 2”、パラメー タ No.49 “イン칭ング距離 2” の設定値を使用する。	2.6.7 (14)
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFF でジョグ動作、ON でイン칭ング動作	2.6.7 (15)
		b4	SON	サーボ ON 指令：ON でサーボ ON	2.6.7 (5)
		b3	RES	リセット：ON でリセット実行	2.6.7 (4)
		b2	STP	一時停止：ON で一時停止指令	2.6.7 (11)
		b1	HOME	原点復帰：ON で原点復帰指令	2.6.7 (6)
		b0	DSTR	位置決め指令：ON で移動指令	2.6.7 (8)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示とな ります	2.8 (2)
	指令電流	32 ビット データ	—	32 ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位は mA です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =1023mA	2.8 (2)
	現在速度	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数 : 反原点方向へ移動中 負数 : 原点方向へ移動中 単位は 0.01mm/sec です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm/sec ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示とな ります。	2.8 (2)
	アラーム コード	16 ビット データ	—	16 ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコードが出 力されます。 アラームが発生していない場合は 0 _H です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説明書 をご参照してください。	2.8 (2)
	状態信号	b15	EMGS	非常停止 : ON で非常停止状態	2.6.7 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了 : 準備完了で ON	2.6.7 (1)
		b13	ZONE2	ゾーン 2: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	2.6.7 (12)
		b12	ZONE1	ゾーン 1: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	2.6.7 (12)
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9			
		b8	RMDS	運転モード状態 : 現在の状態が AUTO モードで OFF 、MANU モードで ON	2.6.7 (19)
		b7	—	使用できません	—
		b6			
		b5	PSFL	押付け空振り : 押付け動作空振りで ON	2.6.7 (23)
		b4	SV	運転準備完了 : サーボ ON で ON	2.6.7 (5)
		b3	ALM	アラーム : アラーム発生で ON	2.6.7 (3)
		b2	MOVE	移動中信号 : アクチュエータ移動中で ON	2.6.7 (9)
		b1	HEND	原点復帰完了 : 原点復帰完了で ON	2.6.7 (6)
		b0	PEND	位置決め完了信号 : 位置決め完了で ON	2.6.7 (10)

2.6.5 フル直値モード（占有バイト数：32）

PLC から位置制御に関する全ての値（目標位置、速度等）を直接数値で指定する運転方式です。
入出力エリアに各値を設定してください。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 ×：無効
原点復帰動作	○
位置決め動作	○
速度・加減速度設定	○
ピッチ送り（イン칭ング）	○
押付け動作	○
移動中の速度変更	○
異なった加速度、 減速度での動作	○
一時停止	○
ゾーン信号出力	○
PIO パターン選択	×

(1) PLC アドレス構成（※n は各軸の先頭アドレスです。）

パラメータ No.84	ACON または PCON 側 入力側レジスタ		PLC 側 出力アドレス (バイト)	ACON または PCON 側 出力側レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
3	目標位置		n,n+1	現在位置	n,n+1
			n+2, n+3		n+2, n+3
	位置決め幅		n+4, n+5	指令電流	n+4, n+5
			n+6, n+7		n+6, n+7
	速度		n+8, n+9	現在速度	n+8, n+9
			n+10, n+11		n+10, n+11
	ゾーン境界値＋		n+12, n+13	アラームコード	n+12, n+13
			n+14, n+15		n+14, n+15
	ゾーン境界値－		n+16, n+17	占有領域	n+16, n+17
			n+18, n+19		n+18, n+19
	加速度		n+20, n+21		n+20, n+21
	減速度		n+22, n+23		n+22, n+23
	押付け電流制限値		n+24, n+25		n+24, n+25
	ACON	占有領域	n+26, n+27		n+26, n+27
	PCON	負荷電流閾値			
制御信号 1		n+28, n+29	n+28, n+29		
制御信号 2		n+30, n+31	状態信号		n+30, n+31

(注) 占有領域 は他の目的に使用できません。
またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 16 ワード(16 ワード=32 バイト)で構成されます。

- 制御信号 1、制御信号 2 および状態信号はビット単位の ON/OFF 信号です。
- 目標位置および現在位置は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では-999999~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内(0~有効ストローク長)で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えます。
- 速度は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0~+999999(単位: 0.01mm/sec)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加速度および減速度は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~300(単位: 0.01G)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0(0%)~255(100%)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内(アクチュエータのカタログまたは取扱説明書参照)で設定してください。



- 負荷電流閾値を設定してください。負荷電流閾値は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0(0%)~255(100%)の数値が扱えます。(押付け電流制限値の図(上図)参照)
- ゾーン境界値+、ゾーン境界値-は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では-999999~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えますが、ゾーン境界値+よりゾーン境界値-を小さな値に設定してください。
- 指令電流は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 1mA)です。
- 現在速度は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 0.01mm/sec)です。
- アラームコードは 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータです。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸の出力先頭アドレスです。)

		1 ワード=2 バイト=16 ビット															
n+0、n+1		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																	
n+2、n+3		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																	

目標位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+12、n+13	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値+ (下位ワード)																
n+14、n+15	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値+ (上位ワード)																

ゾーン境界値が負数の場合は、2 の補数で表されます。

アドレス（※nは各軸の出力先頭アドレスです。）

1ワード=2バイト=16ビット																
n+16、n+17	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値— (下位ワード)																
n+18、n+19	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値— (上位ワード)																

ゾーン境界値—が負数の場合は、2の補数で表されます。

n+20、n+21	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+22、n+23	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
減速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+24、n+25	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け 電流制限値									128	64	32	16	8	4	2	1
n+26、n+27	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
負荷電流閾値 (※3)									128	64	32	16	8	4	2	1
n+28、n+29	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号1						(※1)			(※2)				INC	DIR	PUSH	
n+30、n+31	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号2	BKRL	RMOD						JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	DSTR

(※1) n+28、n+29のb10の信号割付

	記号	
コントローラ	ACON	PCON
b10	—	SMOD

(※2) n+28、n+29のb7およびb6の信号割付

	記号	
コントローラ	ACON	PCON
b7	MOD1	—
b6	MOD0	—

(※3) PCON 専用機能です。ACON では使用できません。

PLC 入力

アドレス (※n は各軸の入力先頭アドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット

n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536

n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																

n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																

現在速度が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+12、n+13	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラームコード																

n+14~n+29	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
使用できません																

n+30、n+31	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1	PZONE	(※1)		RMDS	GHMS	PUSH	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(※1) n+30、n+31 の b10 および b9 の信号割付

	記号	
コントローラ	ACON	PCON
b10	—	LOAD
b9	—	TRQS

(3) 入出力信号割付 (※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

アドレス		ビット	記号	機能	詳細
P L C 出 力	目標位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は 0.01mm で指定可能範囲は、－999999～999999 となります。 (例) +25.41mm なら 2541 と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側 (0.2mm) を超えた値を入力するとソフトリミットの内側 (0.2mm) までの移動に制限されます。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力してください。	2.8 (3)
	位置決め幅	32 ビット データ	—	32 ビット整数 単位は 0.01mm で指定可能範囲は 1～999999 です。 (例) 25.40mm なら 2540 と指定します。 本レジスタは動作種別により 2 種類の意味があります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程度の範囲で位置決め完了とみなすかの許容範囲となります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。通常動作か押付け動作かの指定は制御信号の PUSH で設定してください。	2.8 (3)
	速度	32 ビット データ	—	32 ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位 0.01mm/sec で指定可能範囲は、0～999999 となります。 (例) 25.41mm/sec なら 2541 と指定します。最大速度以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。	2.8 (3)
	ゾーン 境界値＋ /ゾーン 境界値－	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 パラメータで指定されるゾーン境界とは別に、原点復帰後に有効なゾーン信号を出力します。 現在位置がこの±境界値の内側にあるときは、状態信号の PZONE が ON となります。 (例) +25.40mm なら 2540 と指定します。 指定単位は 0.01mm で、指定範囲は－999999～999999 となります。 ゾーン境界値＋＞ゾーン境界値－の関係を満たす値を入力してください。 当機能を使用しない場合は、±を同じ値にしてください。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力してください。	2.8 (3)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

アドレス		ビット	記号	機能	詳細	
PLC出力	加速度	16ビットデータ	—	16ビット整数 移動時の加速度および減速度を指定してください。 単位は 0.01G で指定可能範囲は 1～300 です。 (例) 0.30G なら 30 と指定します。 0 または最大加速度, 最大減速度を超えた値で移動指令を行うとアラームとなります。	2.8 (3)	
	減速度	16ビットデータ	—			
	押付け電流制限値	16ビットデータ	—	16ビット整数 押付け動作時電流制限を指定してください。指定可能範囲は 0(0%)～255(100%)です。 各アクチュエータにより実際の指定可能範囲は異なります。(各アクチュエータのカタログまたは取扱説明書をご参照ください。) 最大押付け電流値以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。	2.8 (3)	
	負荷電流閾値	16ビットデータ	—	16ビット整数 負荷電流が設定値を超えたか超えないか判定を行う場合、電流のしきい値を本レジスタで指定してください。 指定可能範囲は 0(0%)～255(100%)です。判定を行わない場合は 0 を入力してください。	2.8 (3)	
	制御信号 1	b15	—	使用できません	—	
		b14				
		b13				
		b12				
		b11				
		b10	A C O N	—	使用できません	—
			P C O N	SMOD	停止制御モード：ON で停止時サーボ制御	2.6.7 (28)
		b9	—	使用できません	—	
		b8				
		b7	A C O N	MOD1	加減速モード：OFF,OFF で台形パターン OFF,ON で S 字モーション ON,OFF で一次遅れフィルタ	2.6.7 (29)
		b6	MOD0			
		b7	P C O N	—	使用できません	—
		b6				
		b5	—	使用できません	—	
		b4				
		b3	INC	インクリメンタル指定： OFF で絶対位置指令、ON で相対位置指令	2.6.7 (24)	

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

アドレス	ビット	記号	機能	詳細
P L C 出 力	制御信号 1	b2	DIR 押付け方向指定： OFF で目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ON で目標位置に位置決め幅を加算した位置方向	2.6.7 (22)
		b1	PUSH 押付け指定： OFF で位置決め動作、ON で押付け動作	2.6.7 (21)
		b0	— 使用できません	—
	制御信号 2	b15	BKRL ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除	2.6.7 (18)
		b14	RMOD 運転モード： OFF で AUTO モード、ON で MANU モード	2.6.7 (19)
		b13	— 使用できません	—
		b12		
		b11		
		b10		
		b9		
		b8	JOG+ +ジョグ：ON で反原点方向移動	2.6.7 (13)
		b7	JOG- -ジョグ：ON で原点方向移動	2.6.7 (13)
		b6	JVEL ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFF でパラメータ No.26 “ジョグ速度”、パラメータ No.48 “イン칭ング距離” ON でパラメータ No.47 “ジョグ速度 2”、パラメータ No.49 “イン칭ング距離 2” の設定値を使用する。	2.6.7 (14)
		b5	JISL ジョグ／イン칭ング切替え： OFF でジョグ動作、ON でイン칭ング動作	2.6.7 (15)
		b4	SON サーボ ON 指令：ON でサーボ ON	2.6.7 (5)
		b3	RES リセット：ON でリセット実行	2.6.7 (4)
		b2	STP 一時停止：ON で一時停止指令	2.6.7 (11)
		b1	HOME 原点復帰：ON で原点復帰指令	2.6.7 (6)
		b0	DSTR 位置決めスタート：ON で移動指令	2.6.7 (8)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細	
PLC 入力	現在位置	32 ビットデータ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります	2.8 (3)	
	指令電流	32 ビットデータ	—	32 ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位は mA です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =1023mA	2.8 (3)	
	現在速度	32 ビットデータ	—	32 ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数 : 反原点方向へ移動中 負数 : 原点方向へ移動中 単位は 0.01mm/sec です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm/sec ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	2.8 (3)	
	アラームコード	16 ビットデータ	—	16 ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコードが出力されます。 アラームが発生していない場合は 0 です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説明書をご参照してください。	2.8 (3)	
	状態信号	b15	EMGS		非常停止 : ON で非常停止状態	2.6.7 (2)
		b14	PWR		コントローラ準備完了 : 準備完了で ON	2.6.7 (1)
		b13	ZONE2		ゾーン 2: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	2.6.7 (12)
		b12	ZONE1		ゾーン 1: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	2.6.7 (12)
		b11	PZONE		ポジションゾーン : 現在位置がポジションゾーン設定内にあるとき ON	2.6.7 (12)
		b10	ACON	—	使用できません (ON/OFF は不定です)	—
			PCON	LOAD	負荷出力判定 : ON で到達、OFF で未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	2.6.7 (26)
		b9	ACON	—	使用できません (ON/OFF は不定です)	—
			PCON	TRQS	トルクレベル : ON で到達、OFF で未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	2.6.7 (27)
		b8	RMDS		運転モード状態 : 現在の状態が AUTO モードで OFF、MANU モードで ON	2.6.7 (19)
		b7	GHMS		原点復帰中 : 原点復帰中で ON	2.6.7 (6)
		b6	PUSHS		押付け動作中 : 押付け動作中で ON	2.6.7 (25)
		b5	PSFL		押付け空振り : 押付け動作空振りで ON	2.6.7 (23)
		b4	SV		運転準備完了 : サーボ ON で ON	2.6.7 (5)
		b3	ALM		アラーム : アラーム発生で ON	2.6.7 (3)
		b2	MOVE		移動中信号 : アクチュエータ移動中で ON	2.6.7 (9)
		b1	HEND		原点復帰完了 : 原点復帰完了で ON	2.6.7 (6)
		b0	PEND		位置決め完了信号 : 位置決め完了で ON	2.6.7 (10)

2.6.6 リモート I/O モード 2 (占有バイト数 : 12)

PIO (24V 入出力) を使用した場合と同様にポジション No. を指定して運転するモードです。

ティーチングツールからポジションデータを設定してください。

運転可能なポジション数は、パラメータ No.25 “PIO パターン” の設定によります。

本モードはリモート I/O モードの内容に現在位置の読取り機能と指令電流値の読取り機能を追加したものです。

以下に各 PIO パターンの特長を示します。(詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)

パラメータ No.25 の設定値	動作モード	I/O 仕様
0	位置決めモード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 2 点
1	教示モード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 1 点 位置決めおよびジョグ運転が可能 現在位置を指定ポジションに書込み可能
2	256 点モード	位置決め点数 256 点、ゾーン出力 1 点
3	512 点モード	位置決め点数 512 点、ゾーン出力無し
4	電磁弁モード 1	位置決め点数 7 点、ゾーン出力 2 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力
5	電磁弁モード 2	位置決め点数 3 点、ゾーン出力 2 点 前進／後退／中間位置指令により運転 位置決め完了信号は前進端／後退端／ 中間位置の個別出力

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	PIO パターン					
	0: 位置決めモード	1: 教示モード	2: 256 点モード	3: 512 点モード	4: 電磁弁モード 1	5: 電磁弁モード 2
原点復帰動作	○	○	○	○	○	×
位置決め動作	○	○	○	○	○	○
速度・加減速度設定	○	○	○	○	○	○
ピッチ送り (インチング)	○	○	○	○	○	○
押付け動作	○	○	○	○	○	×
移動中の速度変更	○	○	○	○	×	○
異なった加速度、減速度での動作	○	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○	○ (※1)
ゾーン信号出力	○	○	○	×	○	○
PIO パターン選択 (パラメータで設定)	○	○	○	○	○	○

○ : 動作可、× : 動作不可

(※1) パラメータ No.27 “移動指令種別” を 0 に設定した場合に可能です。

移動指令を OFF にすることによって一時停止が可能です。

(1) PLC アドレス構成 (※n は各軸の先頭アドレスです。)

パラメータ No.84	ACON または PCON 側 DI および入力レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	ACON または PCON 側 DO および出力レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
4	ポート番号 0~15	n,n+1	ポート番号 0~15	n,n+1
	占有領域	n+2, n+3	占有領域	n+2, n+3
		n+4, n+5	現在位置	n+4, n+5
		n+6, n+7		n+6, n+7
		n+8, n+9	指令電流	n+8, n+9
		n+10, n+11		n+10, n+11

(注) **占有領域** は他の目的に使用できません。
またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 6 ワード (6 ワード=12 バイト) で構成されます。

- ポート番号で制御するエリアはビット単位の ON/OFF 信号で制御します。
- 現在位置は 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータ (単位 : 0.01mm) です。
- 指令電流は 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータ (単位 : 1mA) です。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸の出力先頭アドレスです。)

n+0, n+1	1 ワード=2 バイト=16 ビット															
	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 入力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

PLC 入力

アドレス（※n は各軸の入力先頭アドレスです。）

n+0、n+1	1 ワード=2 バイト=16 ビット															
	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 出力ポート番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
使用できません																

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536

(3) 入出力信号割付

各 PIO パターンの信号割付は、2.6.2 (3) リモート I/O モード入出力信号割付けをご参照してください。

指令電流、現在位置の読取り機能の信号割付を次に示します。

信号種別		ビット	信号名	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示 となります。	—
	指令電流	32 ビット データ	—	32 ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位は 1mA です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =1023mA	—

2.6.7 入出力信号の制御と機能

※ON の表記はビット信号の“1”を表し、OFF は“0”を表します。

ポジション／簡易直値モード、ハーフ直値モードおよびフル直値モードに使用される入出力信号の制御と機能を以下に示します。リモート I/O モードおよびリモート I/O モード 2 の入出力信号については、コントローラ本体の取扱説明書をご参照ください。

(1) コントローラ準備完了 (PWR) PLC 入力信号

電源投入後、コントローラが制御可能になると ON になります。

■機能

アラームの状態やサーボの状態等にかかわらず、電源投入後、コントローラの初期化が正常に終了し、制御が可能になると ON になります。

アラーム状態にあっても、コントローラが制御可能状態であれば ON になります。

(2) 非常停止 (EMGS) PLC 入力信号

コントローラが非常停止状態になると ON になります。

■機能

非常停止状態（モータ駆動電源が遮断状態）になると ON になります。非常停止状態が解除されれば OFF になります。

(3) アラーム (ALM) PLC 入力信号

コントローラの保護回路（機能）が異常を検出すると ON になります。

■機能

異常を検出して保護回路（機能）が動作した時に ON になる信号です。

アラームの原因が解除され、リセット (RES) 信号を ON にすると動作解除レベルのアラームの場合は OFF になります。（コールドスタートレベルのアラームの場合は電源の再投入が必要です。）

アラームを検出すると、コントローラ前面の状態表示 LED (2.3 EtherNet/IP インタフェース参照) が赤色点灯します。

(4) リセット (RES) PLC 出力信号

この信号は 2 つの機能を持っており、コントローラのアラームのリセットおよび一時停止中の残移動量をキャンセルすることができます。

■機能

- ① アラームが発生中に、アラームの原因を取り除いた後、この信号を OFF から ON にするとアラーム (ALM) 信号をリセットすることができます。（コールドスタートレベルのアラームの場合は電源の再投入が必要です）
- ② 一時停止中にこの信号を OFF から ON にすると、残りの移動量をキャンセルすることができます。

(5) サーボ ON 指令 (SON) PLC 出力信号

運転準備完了 (SV) PLC 入力信号

SON 信号を ON にするとサーボ ON となります。

サーボ ON するとコントローラ前面の状態表示 LED (2.3 EtherNet/IP インタフェース参照) が緑色点灯します。

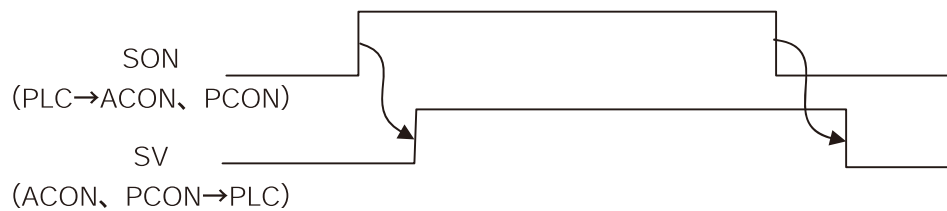
SV 信号は、この LED と同期しています。

■機能

SON 信号によりコントローラのサーボ ON/OFF が可能です。

SV 信号が ON の間、コントローラはサーボ ON 状態となり運転が可能となります。

SON 信号と SV 信号の関係は次のとおりです。



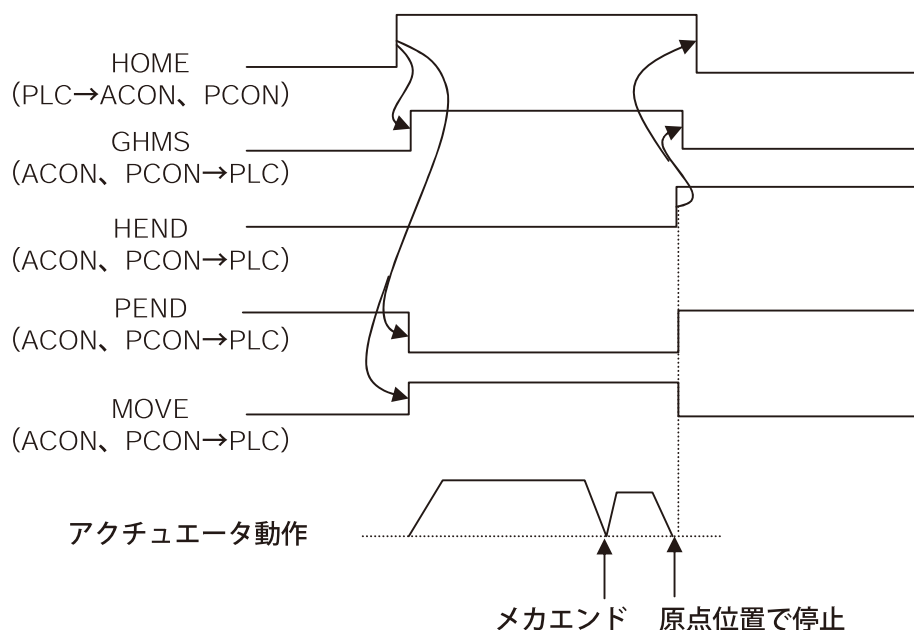
(6) 原点復帰 (HOME)	PLC 出力信号
原点復帰完了 (HEND)	PLC 入力信号
原点復帰中 (GHMS)	PLC 入力信号

HOME 信号を ON すると、この指令は立上り (ON エッジ) で処理され、自動で原点復帰動作が行われます。原点復帰中は GHMS 信号が ON となります。

原点復帰を完了すると HEND 信号が ON となり、GHMS 信号が OFF となります。

HEND 信号が ON になったら HOME 信号を OFF にしてください。HEND 信号は一旦 ON になると電源が OFF されるか、再度の HOME 信号が入力されるまで OFF なりません。

原点復帰完了後も HOME 信号を ON すると原点復帰を行うことができます。



⚠ 注意：リモート I/O モード、リモート I/O モード 2 およびポジション／簡易直値モードでは、電源投入時に原点復帰を行わずにポジションへの位置決め指令をした場合、電源投入後の最初の 1 回に限り自動的に原点復帰を行った後、位置決めを実行します。
 ハーフ直値モードおよびフル直値モードでは、電源投入時に原点復帰を行わずにポジションへの位置決め指令をした場合、「エラーコード 83 ALARM HOME ABS (原点復帰未完了状態での絶対位置移動指令)」のアラーム (動作解除レベル) となりますので、ご注意ください。

(7) 位置決めスタート (CSTR) : ポジション／簡易直値モードで使用 PLC 出力信号

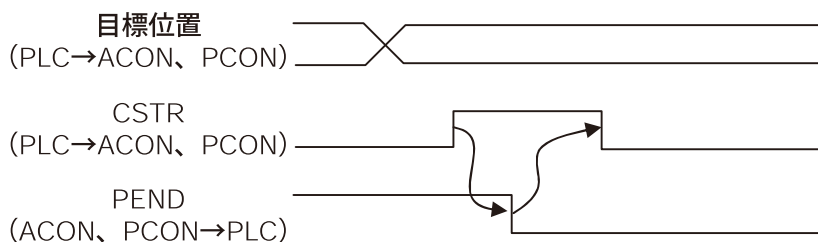
この指令は立上り (ON エッジ) で処理され、指定されたポジション No. の目標位置または PLC の目標位置レジスタで設定した位置に位置決めします。

指定されたポジション No. の目標位置を使用するか、PLC の目標位置レジスタの設定を使用するかは制御信号の b11 : ポジション／簡易直値切替 (PMOD) 信号によります。

- PMOD=OFF : 指定したポジション No. 内の目標位置データを使用
- PMOD=ON : PLC の目標位置レジスタの設定値を使用

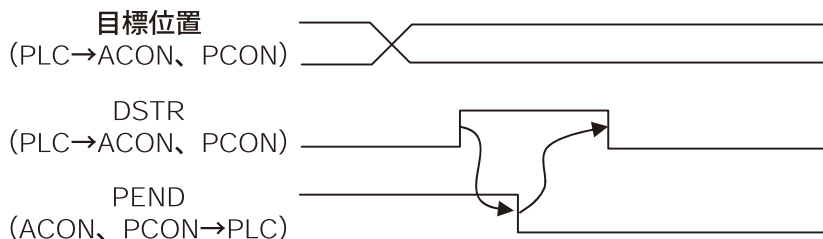
電源投入後、一度も原点復帰動作を行っていない状態 (HEND 信号が OFF の状態) でこの指令を行った場合は、自動的に原点復帰動作を実行した後に目標位置に位置決めします。

本信号は位置決め完了信号 (PEND) 信号が OFF になったことを確認して OFF にしてください。

(8) 位置決め指令 (DSTR) : ハーフ直値モードおよびフル直値モードで使用 PLC 出力信号

この指令は立上り (ON エッジ) で処理され、PLC の目標位置レジスタに入力されている目標位置に位置決めします。電源投入後、一度も原点復帰動作を行っていない状態 (HEND 信号が OFF の状態) でこの指令を行うとアラーム (動作解除レベル) となります。

本信号は位置決め完了 (PEND) 信号が OFF になったことを確認して OFF にしてください。

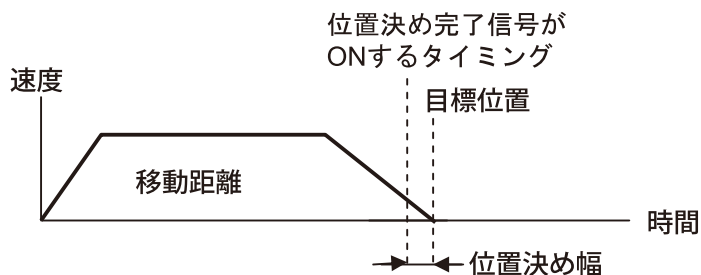
(9) 移動中信号 (MOVE) PLC 入力信号

本信号はアクチュエータのスライダまたはロッドが移動中に ON になります。(原点復帰動作、押付け動作およびジョグ動作も含みます)

位置決め完了後、原点復帰完了後、押付け動作完了後または一時停止中に OFF となります。

(10) 位置決め完了信号 (PEND) PLC 入力信号

本信号は目標位置まで移動して、位置決め幅内に到達した場合および押付けが完了した場合に ON になります。



サーボ OFF からサーボ ON となった時、その場を目標位置として位置決めが行われます。従って本信号は ON となり、その後原点復帰 (HOME) 信号、位置決めスタート (CSTR) 信号または位置決め指令 (DSTR) 信号による位置決め動作の開始で OFF となります。

⚠ 注意：目標位置に停止している時にサーボ OFF 状態や非常停止状態になると、PEND 信号は一旦 OFF になります。
次に再度サーボ ON 状態に復帰した時、位置決め幅以内であれば ON に戻ります。
また CSTR 信号または DSTR 信号が ON のままでは位置決め完了しても PEND 信号は、ON になりません。

(11) 一時停止 (STP) PLC 出力信号

本信号を ON にすると軸移動が減速停止します。OFF にすると軸移動が再開されます。動作再開時の加速度および停止時の減速度は、ポジション／簡易直値モードでは指定ポジション No. レジスタで設定しているポジション No. の加減速度の値となり、ハーフ直値モードでは加減速度レジスタの値となります。
フル直値モードでは加速度レジスタおよび減速度レジスタの値となります。

- (12) ゾーン 1 (ZONE1) PLC 入力信号
ゾーン 2 (ZONE2) PLC 入力信号
ポジションゾーン (PZONE) PLC 入力信号

アクチュエータの現在位置が設定した領域の範囲内にある場合は ON になり、範囲外にある場合は OFF になります。

① ゾーン 1、ゾーン 2

ゾーンの設定はユーザパラメータで設定します。

ZONE1 信号はパラメータ No.1 “ゾーン境界 1+側” および 2 “ゾーン境界 1-側” で設定します。

ZONE2 信号はパラメータ No.23 “ゾーン境界 2+側” および 24 “ゾーン境界 2-側” で設定します。

ZONE1 信号および ZONE2 信号は原点復帰完了後に有効となり、その後はサーボ OFF 中でも有効です。

② ポジションゾーン

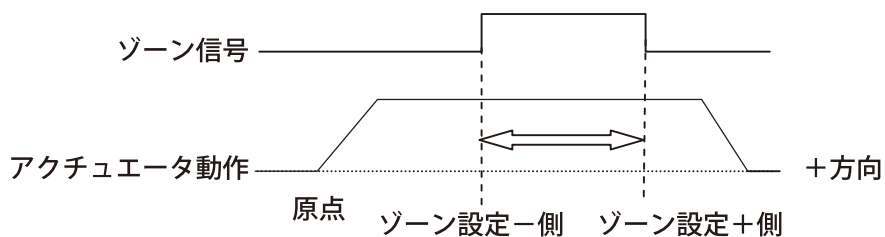
ゾーンの設定はポジションテーブル、ゾーン境界値レジスタで設定します。

ポジション／簡易直値モードの場合は PZONE 信号をポジションテーブルで設定します。

フル直値モードの場合は PZONE 信号をゾーン境界値レジスタで設定します。

(※) ハーフ直値モードは PZONE 信号はありません。

PZONE 信号は原点復帰完了後の移動指令で有効となり、その後はサーボ OFF 中でも有効です。



- (13) +ジョグ (JOG+) PLC 出力信号
-ジョグ (JOG-) PLC 出力信号

ジョグ動作またはイン칭ング動作での起動指令です。

+指令の時は反原点方向への動作で、-指令の時は原点方向への動作です。

① ジョグ動作

ジョグ動作は、ジョグ／イン칭ング切替え (JISL) 信号が OFF の時に動作可能です。

JOG+が ON の間は反原点方向へ動作を行い、OFF になると減速停止します。

JOG-が ON の間は原点方向への動作を行い、OFF になると減速停止します。

動作は次のパラメータの設定値で行います。

- 速度は、ジョグ速度／イン칭ング距離切替え (JVEL) 信号で指定されたパラメータの値で動作します。

JVEL 信号=OFF の場合は、パラメータ No.26 “PIO ジョグ速度” の値で動作します。

JVEL 信号=ON の場合は、パラメータ No.47 “PIO ジョグ速度 2” の値で動作します。

- 加減速度は、定格加減速度 (アクチュエータ依存) で動作します。
- JOG+と JOG-信号が両方共に ON になると減速停止します。

② イン칭ング動作

イン칭ング動作は、JISL 信号が ON の時に動作可能です。

1 回の ON 入力により、イン칭ング距離分の移動を行います。

JOG+が ON で反原点方向へ動作を行い、JOG-が ON で原点方向への動作を行います。

動作は次のパラメータの設定値で行います。

- 速度は、JVEL 信号で指定されたパラメータの値で動作します。

JVEL 信号=OFF の場合は、パラメータ No.26 “PIO ジョグ速度” の値で動作します。

JVEL 信号=ON の場合は、パラメータ No.47 “PIO ジョグ速度 2” の値で動作します。

- 移動距離は、JVEL 信号で指定されたパラメータの値で動作します。

JVEL 信号=OFF の場合は、パラメータ No.48 “PIO イン칭ング距離” の値で動作します。

JVEL 信号=ON の場合は、パラメータ No.49 “PIO イン칭ング距離 2” の値で動作します。

- 加減速度は、定格加減速度 (アクチュエータ依存) で動作します。

通常動作中は、+ジョグ信号、-ジョグ信号を ON しても通常動作を続けます。(ジョグ信号は無視されます)

一時停止中は、+ジョグ信号、-ジョグ信号を ON しても動作しません。

(注) 原点復帰完了前はソフトウェアストロークリミットが無効のため、メカエンドに衝突する危険がありますのでご注意ください。

(14) ジョグ速度／イン칭ング距離切換え (JVEL) PLC 出力信号

ジョグ動作が選択されている時のジョグ速度またはイン칭ング動作が選択されている時のイン칭ング距離を指定するパラメータの切換え信号です。

次のような関係になります。

JVEL 信号	ジョグ動作 : JISL=OFF	イン칭ング動作 : JISL=ON
OFF	パラメータ No.26 “ジョグ速度”	パラメータ No.26 “ジョグ速度” パラメータ No.48 “イン칭ング距離”
ON	パラメータ No.47 “ジョグ速度 2”	パラメータ No.47 “ジョグ速度 2” パラメータ No.49 “イン칭ング距離 2”

(15) ジョグ／イン칭ング切替え (JISL) PLC 出力信号

ジョグ動作とイン칭ング動作の切替信号です。

JISL=OFF : ジョグ動作

JISL=ON : イン칭ング動作

JISL 信号が、ジョグ移動中に ON (イン칭ング) に切り替わった場合、減速停止しイン칭ング機能となります。

JISL 信号が、イン칭ング移動中に OFF (ジョグ) に切り替わった場合、移動完了後にジョグ機能となります。

JISL 信号とジョグ速度／イン칭ング距離切替え (JVEL) 信号の ON/OFF の関係は以下の表の様になります。

		ジョグ動作	イン칭ング動作
JISL		OFF	ON
JVEL=OFF	速度	パラメータ No.26 “ジョグ速度”	パラメータ No.26 “ジョグ速度”
	移動距離	—	パラメータ No.48 “イン칭ング距離”
	加減速度	定格値 (アクチュエータ依存)	定格値 (アクチュエータ依存)
JVEL=ON	速度	パラメータ No.47 “ジョグ速度 2”	パラメータ No.47 “ジョグ速度 2”
	移動距離	—	パラメータ No.49 “イン칭ング距離 2”
	加減速度	定格値 (アクチュエータ依存)	定格値 (アクチュエータ依存)
動作		JOG+ / JOG- が ON の時	JOG+ / JOG- の立上り (ON エッジ) を検出した時

(16) 教示モード指令 (MODE) PLC 出力信号教示モード信号 (MODES) PLC 入力信号

MODE 信号を ON にすると、通常運転モードから教示モードに切替わります。

各軸のコントローラは教示モードに切替わると MODES 信号が ON となります。

PLC 側では、MODES 信号が ON になったことを確認してから教示操作を行ってください。

(注) 通常運転モードから教示モードに切替えるためには、以下の状態となっていることが必要です。

- アクチュエータの動作(モータ)が停止中
- +ジョグ(JOG+)信号および-ジョグ(JOG-)信号が OFF
- ポジションデータ取込み指令(PWRT)信号および位置決めスタート(CSTR)信号が OFF

(注) PWRT 信号が OFF になっていないと通常運転モードに戻りません。

(17) ポジションデータ取込み指令 (PWRT) PLC 出力信号ポジションデータ取込み完了 (WEND) PLC 入力信号

PWRT 信号は教示モード信号(MODES)が ON の時に有効です。

PWRT 信号を ON にしてください(※1)、この時点の現在位置データが、PLC の指定ポジション No.レジスタに設定しているポジション No.の位置欄に書き込まれます。(※2)

書き込みが完了すると WEND 信号が ON になります。

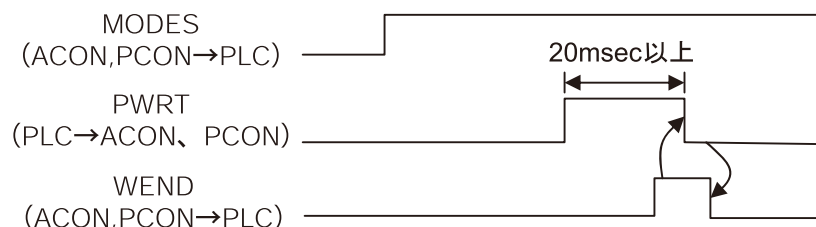
上位側 PLC では WEND 信号が ON になった後に PWRT 信号を OFF にしてください。

WEND 信号が ON する前に PWRT 信号を OFF すると WEND 信号は ON になりません。

PWRT 信号を OFF にすると WEND 信号が OFF になります。

(※1) 20msec 以上連続で ON にしてください。20msec 以下の場合は書き込みが行われない場合があります。

(※2) 位置以外のデータが未定義であればパラメータ初期値が書き込まれます。(コントローラ本体の取扱説明書参照)

(18) ブレーキ強制解除 (BKRL) PLC 出力信号

本信号を ON にすることでブレーキを強制的に解除させることができます。

(19) 運転モード (RMOD) PLC 出力信号

運転モード状態 (RMDS) PLC 入力信号

RMOD 信号とコントローラ前面の MODE スイッチにより次の様に運転モードが選択されます。
また現在 AUTO/MANU のどちらに設定されているか RMDS 信号で確認することができます。
次に RMOD 信号と MODE スイッチの組合せによる運転モードを示します。

	コントローラ MODE スイッチが AUTO 側	コントローラ MODE スイッチが MANU 側
RMOD 信号が OFF (AUTO モード指定)	AUTO モード (RMDS=OFF)	MANU モード (RMDS=ON)
RMOD 信号が ON (MANU モード指定)	MANU モード (RMDS=ON)	MANU モード (RMDS=ON)

(注) MANU モードでは PLC から運転を行うことはできません。

(20) ポジション/簡易直値切替 (PMOD) PLC 出力信号

移動時の目標位置をコントローラのポジションテーブルに登録されている値を使用するか、
PLC の目標位置レジスタで指定されている値を使用するかを切替えます。

PMOD=OFF : ポジションテーブル使用

PMOD=ON : 目標位置レジスタの値使用

(21) 押付け指定 (PUSH) PLC 出力信号

本信号を ON にしてから移動指令を行うと押付け動作となります。

本信号を OFF に設定すると通常位置決め動作となります。

(本信号の設定タイミングは、2.8 運転の (2) ハーフ直値モードでの運転参照)

(22) 押付け方向指定 (DIR) PLC 出力信号

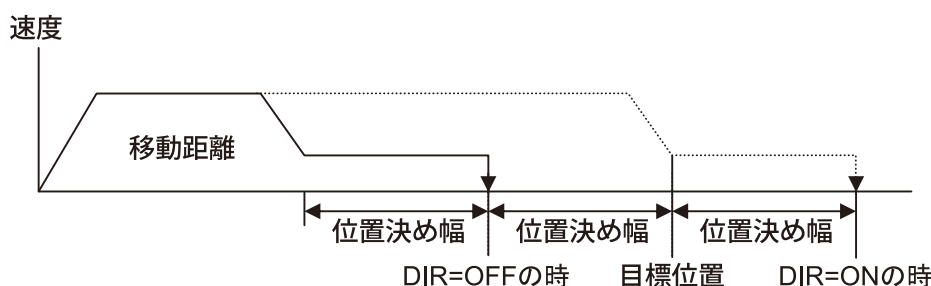
押付けを行う方向を指定します。

本信号を OFF にすると目標位置から位置決め幅を減算した値に向かって、押付けを行います。

本信号を ON にすると目標位置に位置決め幅を加算した値に向かって、押付けを行います。

通常位置決め動作の場合は、本信号は無効になります。

(本信号の設定タイミングは、2.8 運転の (2) ハーフ直値モードでの運転参照)



(23) 押付け空振り (PSFL) PLC 入力信号

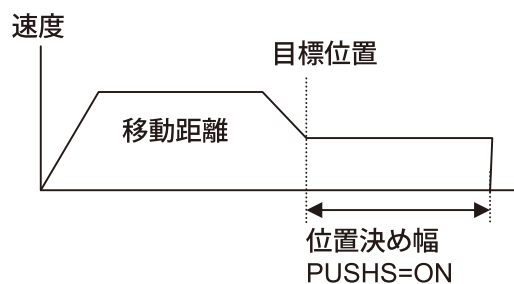
押付け動作を行ったが、コントローラのポジションテーブルの位置決め幅または PLC の位置決め幅レジスタで設定した距離を移動してもワークに押し当たらなかった時に ON となります。
(本信号の設定タイミングは、2.8 運転の(2) ハーフ直値モードでの運転参照)

(24) インクリメンタル指定 (INC) PLC 出力信号

本信号が ON の場合に移動指令を行うと現在の位置を基準とし、PLC の目標位置レジスタに入力された値の移動を行います。(インクリメンタル移動)
本信号が OFF の場合には PLC の目標位置レジスタの値の位置に移動します。

(25) 押付け動作中 (PUSHS) PLC 入力信号

本信号は押付け動作中に ON となります。



本信号は、押付け空振りまたは一時停止または次の移動指令またはサーボ OFF になると OFF となります。
(本信号の設定タイミングは、2.8 運転の(2) ハーフ直値モードでの運転参照)

(26) 負荷出力判定 (LOAD) PLC 入力信号 PCON 専用機能

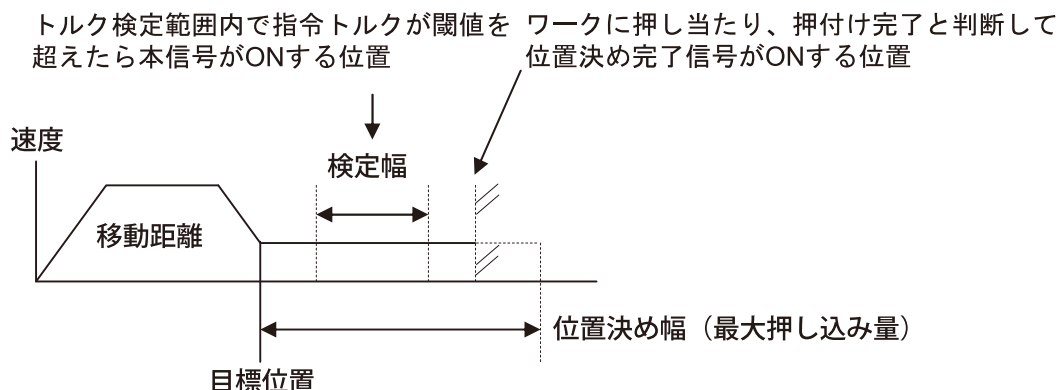
本信号は押付け動作の場合だけ有効です。

圧入用途で使用するには、押付け動作中に設定した負荷閾値に達したかを知る必要があります。負荷閾値と検定幅範囲は PLC で設定し、検定幅範囲内で指令トルク（モータ電流）が閾値を超えた時、本信号は ON します。

本信号は、指令トルクが合計された一定時間、閾値を超えたかで判断を行います。

この処理手順は押し付け判定と同じです。負荷出力の判定時間はパラメータ No.50 “負荷出力判定時間” で任意に変更することが可能です。

本信号は次の移動指令を受けるまで保持されます。



- 押付け速度はパラメータ No.34 “押付け速度” で設定します。
出荷時はアクチュエータ特性により個別設定されています。
ワークの材質、形状などを考慮して適切な速度を指定してください。
- パラメータ No.50 “負荷出力判定時間” を設定します。
- パラメータ No.51 “トルク検定範囲” を 0[有効] に設定します。
- 閾値検定幅は PLC のゾーン境界値+レジスタ、ゾーン境界値-レジスタで設定します。
- 閾値は PLC の負荷電流閾値レジスタで設定します。
- 位置決め幅は、PLC の位置決め幅レジスタで設定します。
ワークの機械的バラつきを考慮して最後方の位置より少し長めに設定してください。
詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。



注意：● 目標位置の手前でワークに押し当たるとサーボ異常になります。

目標位置とワークの位置関係に充分注意してください。

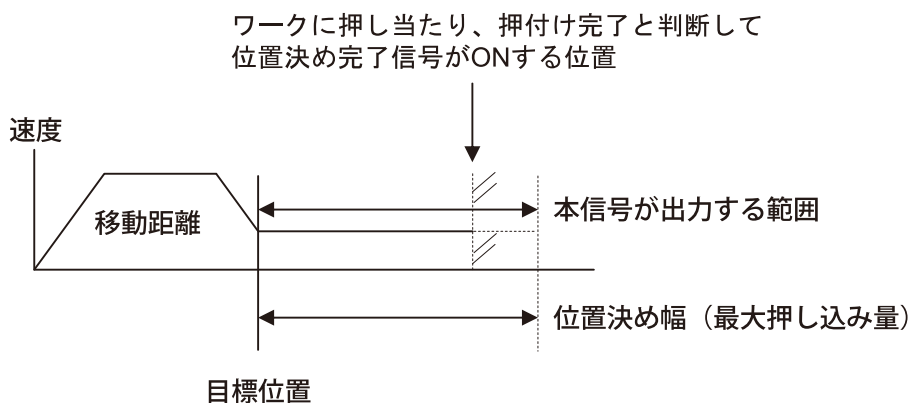
- アクチュエータは、電流制限値で決定される停止時押付け電流でワークを押し続けています。

停止している状態ではありませんので、この時の取扱いには充分気をつけてくださ

(27) トルクレベル (TRQS) PLC 入力信号 PCON 専用機能

本信号は押付け動作の場合だけ有効です。

押付け動作中(位置決め幅移動中)にモータ電流が負荷閾値に達した場合、本信号がONします。電流をレベルで監視しているため、電流が変化すれば本信号のON、OFFの状態も変化します。押付けに使える速度はモータとリードによって異なるため、パラメータを調整する必要があります。



- 押付け速度はパラメータ No.34 “押付け速度” で設定します。
出荷時はアクチュエータ特性により個別設定されています。
ワークの材質、形状などを考慮して適切な速度を指定してください。
- パラメータ No.50 “負荷出力判定時間” を設定します。
- パラメータ No.51 “トルク検定範囲” を 1[無効] に設定します。
- 閾値は PLC の負荷電流閾値レジスタで設定します。
- 位置決め幅は、PLC の位置決め幅レジスタで設定します。
ワークの機械的バラつきを考慮して最後方の位置より少し長めに設定してください。
詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

⚠ 注意： ● 目標位置の手前でワークに押し当たるとサーボ異常になります。
目標位置とワークの位置関係に充分注意してください。

● アクチュエータは、電流制限値で決定される停止時押付け電流でワークを押し続けています。
停止している状態ではありませんので、この時の取扱いには充分気をつけてください。

(28) 停止制御モード (SMOD) PLC 出力信号 PCON 専用機能

パルスモータの一般的特徴として AC サーボモータに比べて停止時の保持電流が大きいことが上げられます。このため、待機位置での停止時間が長い場合には省エネルギー対策の一環として停止時の電力消費量を低減する方法を用意しています。

SMOD=ON : 待機中はフルサーボ制御方式を使用する

SMOD=OFF : 待機中

- フルサーボ制御方式

パルスモータをサーボ制御することにより保持電流を低減することができます。

アクチュエータ機種や負荷条件等により低減度合いは異なりますが、保持電流はおよそ 1/2～1/4 程度になります。

実際の保持電流は、パソコン対応ソフトの電流モニタ画面で確認することができます。

(注) 外力が加わるような状況や停止位置によっては微振動や異音が発生する可能性があります。

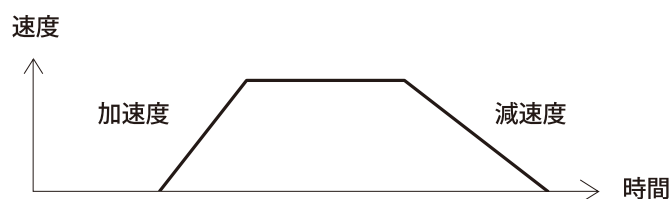
装置全体で支障がないことを確認してご使用ください。

(29) 加減速モード (MOD1、MOD0) PLC 出力信号 ACON 専用機能

加減速パターン特性を選択するための信号です。いずれかをアクチュエータの移動指令前に選択してください。

MOD1	MOD0	パターン名	備考
OFF	OFF	台形パターン	出荷時設定
OFF	ON	S 字モーション	
ON	OFF	一次遅れフィルタ	
ON	ON	使用できません。	

台形パターン



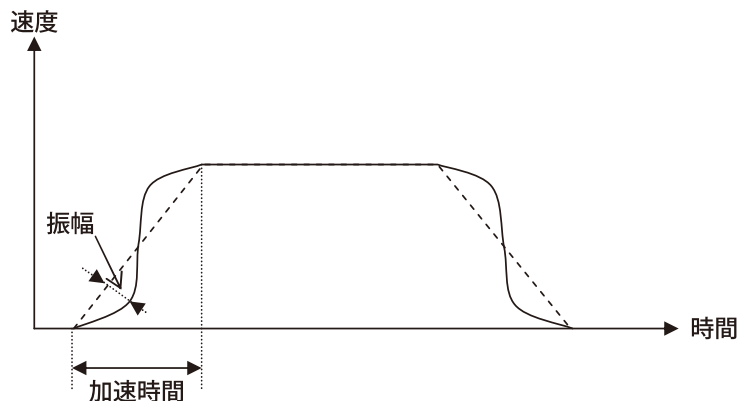
※加速度、減速度はポジションデータの「加速度」「減速度」欄で設定します。

S 字モーション

ポジションテーブルの「加減速モード」欄の値を 1 (S 字モーション) に設定した場合に、S 字モーションの度合いをパラメータ No.56 で定義しています。

設定単位は%で、設定範囲は 0~100 です。

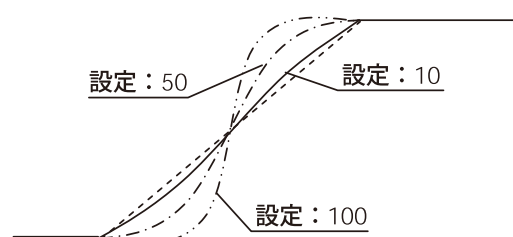
出荷時は、0%を設定 (S 字モーション無効) しています。



S 字は、加速時間を 1 周期とする正弦波形となります。

パラメータ No.56 で振幅の度合いを指定します。

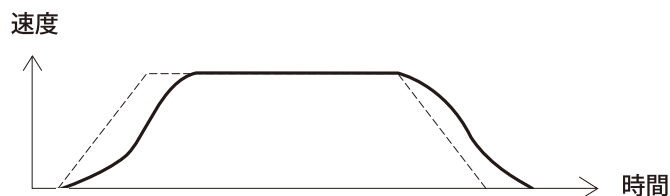
パラメータ No.56 の設定 [%]	振幅の度合い
0 [出荷時設定]	S 字モーション無し (下図の点線)
100	正弦波の振幅 × 1 (下図の 2 点鎖線)
50	正弦波の振幅 × 0.5 (下図の 1 点鎖線)
10	正弦波の振幅 × 0.1 (下図の実線)



- ⚠ 注意：① アクチュエータが動作中に、S 字モーションを設定したポジション指令、および直値指令を行っても S 字モーション制御とはなりません。アクチュエータが停止した状態で指令してください。
- ② ロータリアクチュエータでインデックスモードを設定している場合、S 字モーション制御は行われず、台形制御となります。
- ③ 加速時間、または減速時間が 2 秒以内になるように加減速度の設定を行ってください。
- ④ 加速中、または減速中に一時停止を入力することは禁止します。過度な速度変化を伴う場合があります。
- ⑤ 大きな値を設定すると、加減速期間の中間付近で大きな加減速度となります。アクチュエータの定格加減速度を超えないようにしてください。

一次遅れフィルタ

直線加減速(台形パターン)より緩やかな加減速カーブを描きます。
加減速時にワークに微振動を与えたくない用途にご使用ください。



※一次遅れの度合いはパラメータ No.55 “位置指令一次フィルタ時定数”で設定します。最小入力単位は 0.1msec で、設定範囲は 0.0～100.0 です。
0 を設定すると一次遅れフィルタは無効となります。
但し、パソコンなどのティーチングツール操作でのジョグ、インチング動作には反映されません。

2.7 入出力信号のタイミング

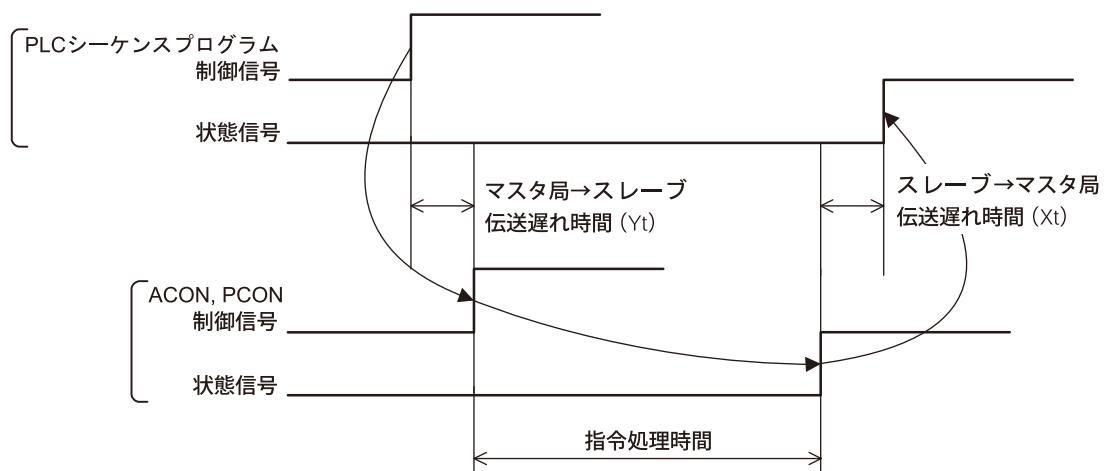
PLCのシーケンスプログラムでロボシリンダの運転を行うためにいずれかの制御信号をONし、その応答(状態)信号がPLCに返ってくるまでの最大応答時間は次の式で表されます。

最大応答時間(msec) = $Y_t + X_t + 3 \times$ 指令処理時間(動作時間等)

Y_t : マスタ局→スレーブ伝送遅れ時間
 X_t : スレーブ→マスタ局伝送遅れ時間

} フィールドネットワーク伝送遅れ時間

マスタ局→スレーブ伝送遅れ時間(Y_t)、スレーブ→マスタ局伝送遅れ時間(X_t)については、EtherNet/IP マスタユニットおよび搭載される PLC の取扱説明書をご参照ください。



2.8 運転

次にポジション／簡易直値モード、ハーフ直値モードおよびフル直値モードの基本動作例のタイミングを示します。

リモート I/O モードおよびリモート I/O モード 2 についてはコントローラの取扱説明書をご参照ください。

(リモート I/O モード 2 の現在位置、現在速度の読取りは適宜 PLC の各バイトから読取ってください。)

(1) ポジション／簡易直値モードでの運転

PLC の目標位置レジスタに位置データを書込み、速度、加減速度、位置決め幅、押付け電流制限値等はポジションテーブルで指定して運転します。

● 動作例 (通常位置決め動作)

(準備) 目標位置以外のポジションデータ (速度、加減速度、位置決め幅等) をポジションテーブルに設定します。

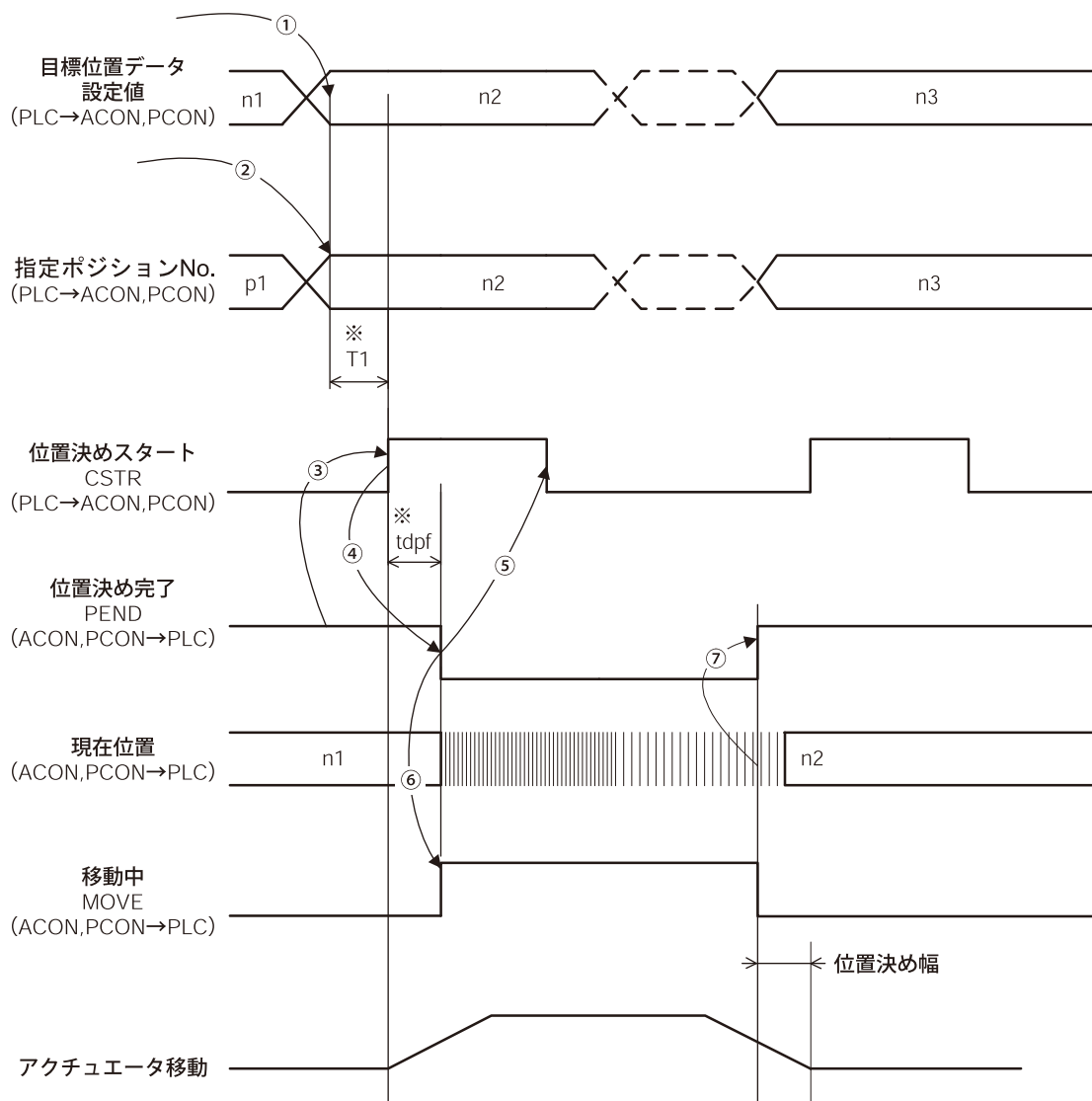
ポジション／簡易直値切替 (PMOD) 信号を ON します。

- ① 目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ② 速度、加減速度等を設定したポジション No. を指定ポジション No. レジスタに設定します。
- ③ 位置決め完了 (PEND) 信号が ON になっているまたは、移動中信号 (MOVE) が OFF の状態で、位置決めスタート (CSTR) 信号を ON にします。
①、② で設定したデータは CSTR 信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
- ④ CSTR 信号が ON になった後、tdpf 後に PEND が OFF します。
- ⑤ PEND 信号が OFF または MOVE 信号が ON になったことを確認してから CSTR 信号を OFF にします。目標位置レジスタの値は CSTR 信号を OFF にするまで変更しないでください。
- ⑥ PEND 信号が OFF になるのと同時に MOVE 信号が ON になります。
- ⑦ 現在位置データは常時更新されています。残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、CSTR 信号が OFF の場合に PEND 信号が ON になり、完了ポジション No. が完了ポジション No. レジスタに出力されます。
従って、位置決め完了時の完了ポジション No. レジスタの読取りは、PEND 信号が ON になり適当な時間 (残移動量移動時間) をおいてから確認してください。
また現在位置データは停止中でも振動等により多少変化することがあります。
- ⑧ 移動中に目標位置データを変更することが可能です。
目標位置を変更するには、目標位置データの変更を行って PLC のスキャンタイム以上経過してから CSTR 信号を ON にします。
CSTR 信号は PLC のスキャンタイム以上経過してから値を変更してください。

● 動作例 (押付け動作)

押付け動作は (準備) の段階でポジションデータの押付け欄に電流制限値を設定します。

押付け欄に値を設定したポジション No. に位置決めを行うと押付け動作となります。



※T1：上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、
 $T1 \geq 0\text{ms}$ となるようにしてください。
 ※ $Yt + Xt \leq \text{tdpf} \leq Yt + Xt + 3 \text{ (msec)}$

(2) ハーフ直値モードでの運転

PLC の目標位置レジスタ、位置決め幅レジスタ、指定速度レジスタ、加減速度レジスタおよび押付け電流制限指定レジスタにデータを指定して運転します。

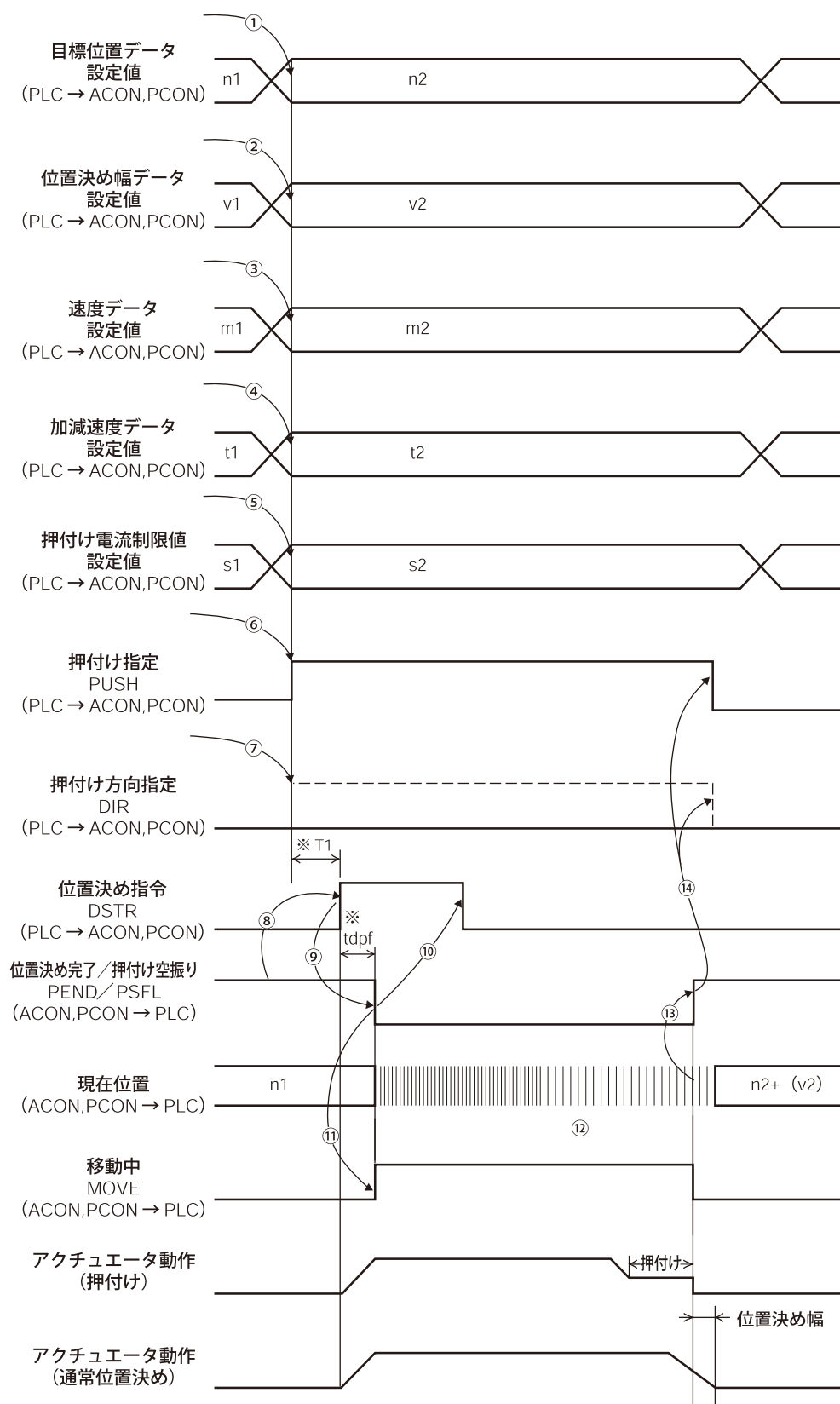
● 動作例 (押付け動作)

- ① 目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ② 位置決め幅データを位置決め幅レジスタに設定します。
- ③ 速度データを速度レジスタに設定します。
- ④ 加減速度データを加減速度レジスタに設定します。
- ⑤ 押付け電流制限データを押付け電流制限値レジスタに設定します。
- ⑥ 押付け指定 (PUSH) 信号を ON にします。
- ⑦ 押付け方向指定 (DIR) 信号で押付け方向を指定します。(2.6.7 (22) 参照)
- ⑧ 位置決め完了 (PEND) 信号が ON になっているまたは、移動中信号 (MOVE) が OFF の状態で、位置決め指令 (DSTR) 信号を ON にします。
①～⑤で設定したデータは DSTR 信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
- ⑨ DSTR 信号が ON になった後、tdpf 後に PEND が OFF します。
- ⑩ PEND 信号が OFF または MOVE 信号が ON になったことを確認してから DSTR 信号を OFF にします。各レジスタの値は DSTR 信号を OFF にするまで変更しないでください。
- ⑪ PEND 信号が OFF になると同時に MOVE 信号が ON になります。
- ⑫ 現在位置データは常時更新されています。
- ⑬ PEND 信号は DSTR 信号が OFF で、モータの電流が⑤で設定した電流制限値に達すると ON になります。(押付け完了)
②で設定した位置決め幅に達しても、モータの電流が⑤で設定した電流制限値に到達しない場合は、押付け空振り (PSFL) 信号が ON になります。この場合、PEND 信号は ON になりません。(押付け空振り)
- ⑭ PEND 信号または PSFL 信号が ON となった後、PUSH 信号を OFF にします。

● 動作例 (通常位置決め動作)

通常位置決め動作は、⑥の信号を OFF に設定します。

残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、DSTR 信号が OFF の場合に PEND 信号が ON になります。



※T1：上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、
T1 ≥ 0ms となるようにしてください。

※Yt+Xt ≤ tdpf ≤ Yt+Xt+3 (msec)

(3) フル直値モードでの運転

PLC の目標位置レジスタ、位置決め幅レジスタ等位置決めに必要な条件を全て指定して運転します。

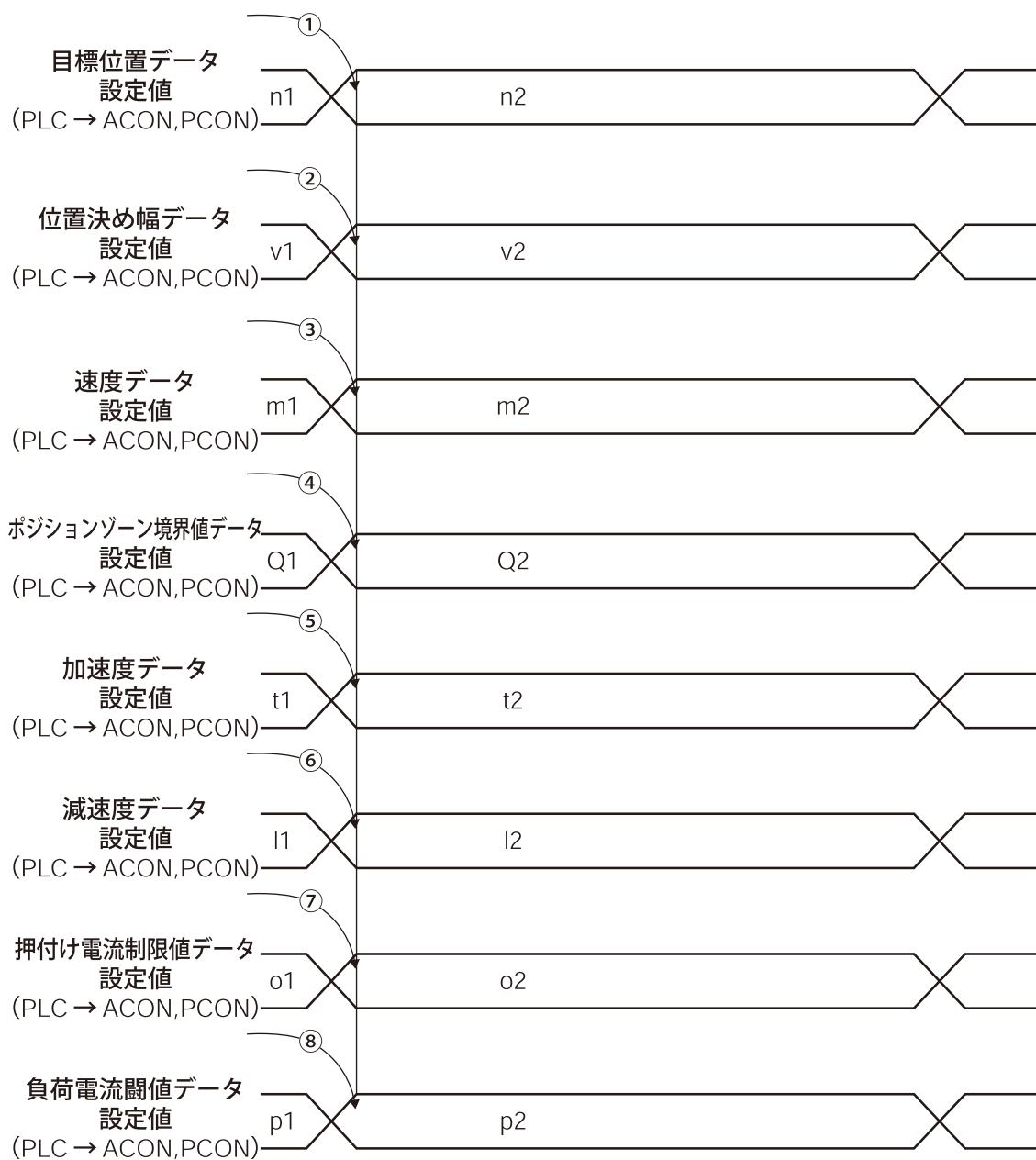
● 動作例 (押付け動作)

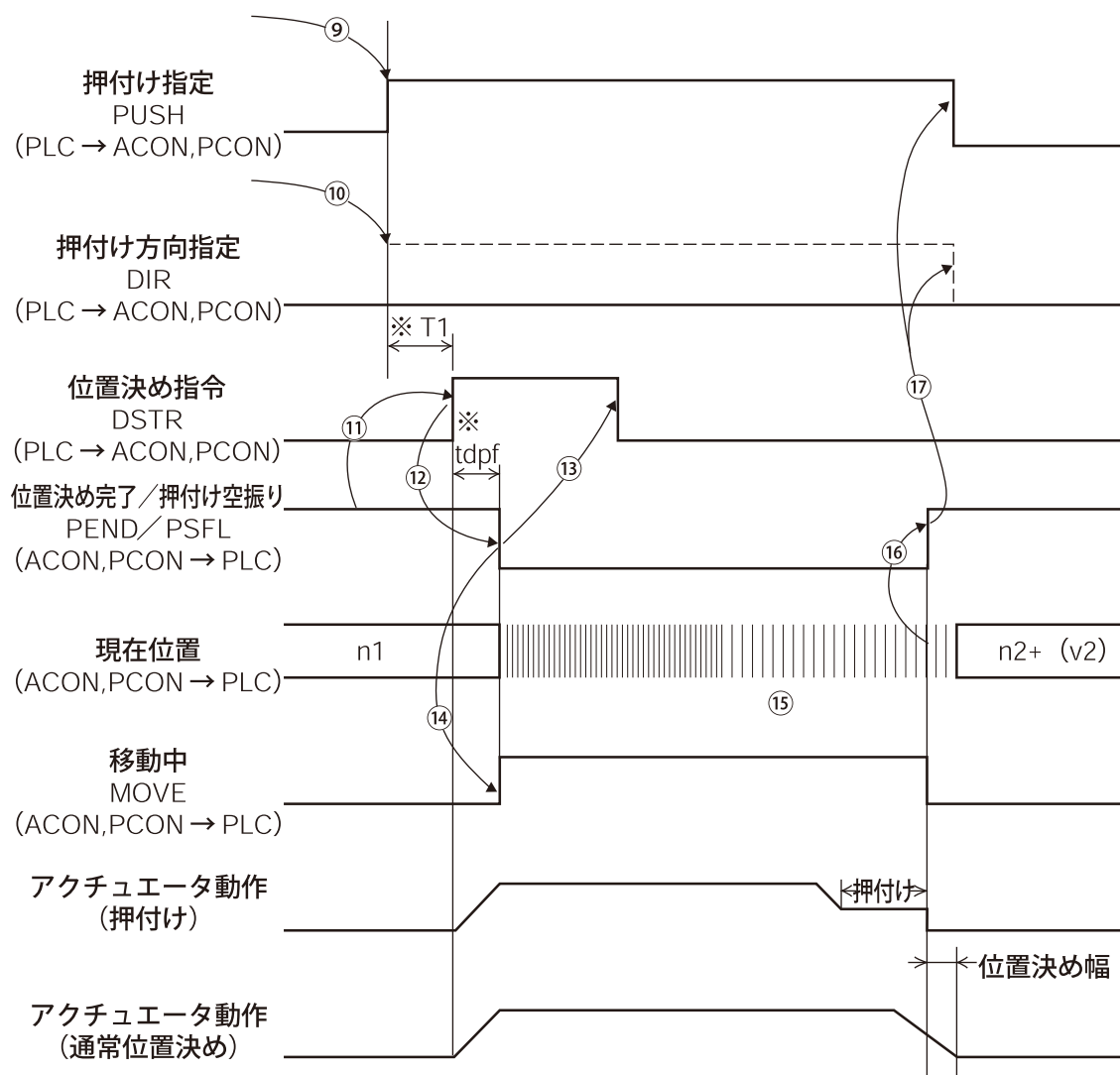
- ① 目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ② 位置決め幅データを位置決め幅レジスタに設定します。
- ③ 速度データを速度レジスタに設定します。
- ④ ポジションゾーン出力の境界値データをゾーン境界値+レジスタ、ゾーン境界値-レジスタに設定します。
- ⑤ 加速度データを加速度レジスタに設定します。
- ⑥ 減速度データを減速度レジスタに設定します。
- ⑦ 押付け電流制限値データを押付け電流制限値レジスタに設定します。
- ⑧ 負荷電流閾値データを負荷電流閾値指定レジスタに設定します。
- ⑨ 押付け指定 (PUSH) 信号を ON にします。
- ⑩ 押付け方向指定 (DIR) 信号で押付け方向を指定します。(2.6.7 (22) 参照)
- ⑪ 位置決め完了 (PEND) 信号が ON になっているまたは、移動中信号 (MOVE) が OFF の状態で、位置決め指令 (DSTR) 信号を ON にします。
①～⑧で設定したデータは DSTR 信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
- ⑫ DSTR 信号が ON になった後、tpdf 後に PEND が OFF します。
- ⑬ PEND 信号が OFF または MOVE 信号が ON になったことを確認してから DSTR 信号を OFF にします。各レジスタの値は DSTR 信号を OFF にするまで変更しないでください。
- ⑭ PEND 信号が OFF になると同時に MOVE 信号が ON になります。
- ⑮ 現在位置データは常時更新されています。
- ⑯ PEND 信号は DSTR 信号が OFF で、モータの電流が⑦で設定した電流制限値に達すると ON になります。(押付け完了)
②で設定した位置決め幅に達しても、モータの電流が⑦で設定した電流制限値に到達しない場合は、押付け空振り (PSFL) 信号が ON になります。この場合、PEND 信号は ON になりません。(押付け空振り)
- ⑰ PEND 信号または PSFL 信号が ON となった後、PUSH 信号を OFF にします。

● 動作例 (通常位置決め動作)

通常位置決め動作は、⑨の信号を OFF に設定します。

残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、DSTR 信号が OFF の場合に PEND 信号が ON になります。





※T1：上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、
T1 ≥ 0ms となるようにしてください。

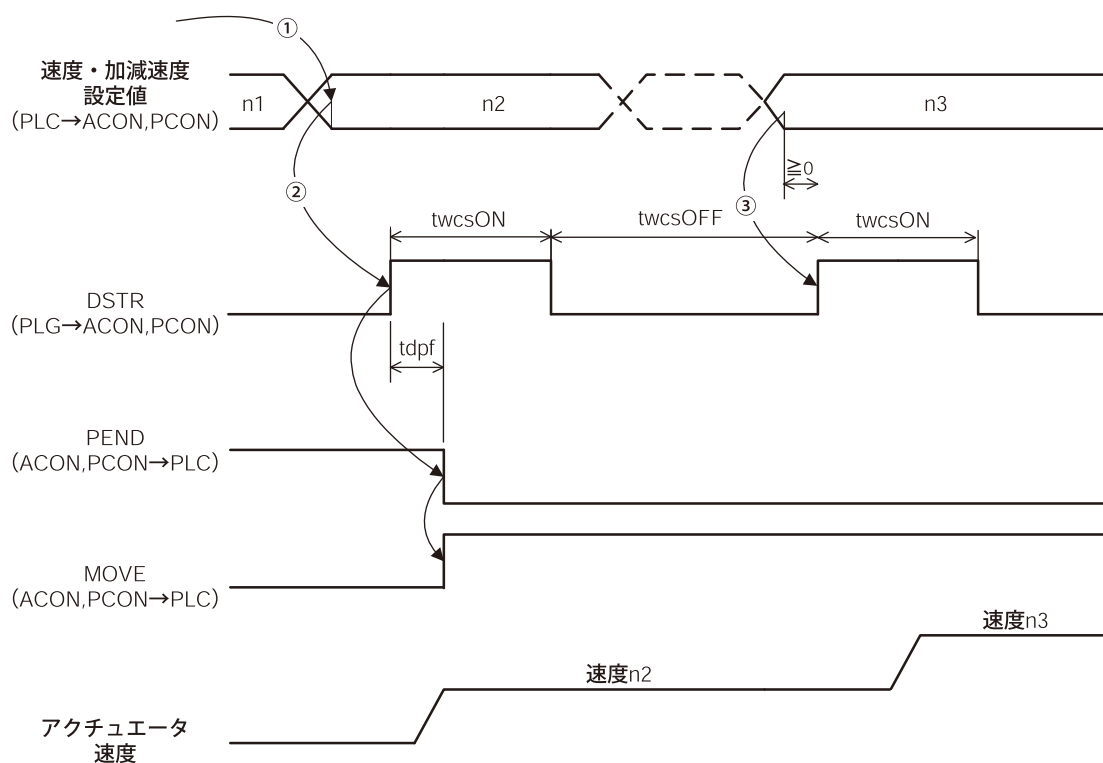
※Yt + Xt ≤ tdpf ≤ Yt + Xt + 3 (msec)

(4) 移動中のデータ変更

ハーフ直値モード、フル直値モードは移動中に目標位置データ、加減速データ、速度データ、位置決め幅、押付時電流制限値の中で各レジスタで設定している値を変更することが可能です。データ変更を行った後、位置決め指令 (DSTR) を tdpf 以上 “ON” にします。

また、DSTR を “OFF” にした後、次の DSTR を “ON” にするまでの時間は twcsON+twcsOFF 以上開けてください。

下図に速度・加減速度を変更した例を示します。



$$\begin{aligned} twcsON &\geq Yt + Xt + 3 \text{ (msec)} \\ twcsOFF &\geq Yt + Xt + 3 \text{ (msec)} \\ ※ Yt + Xt &\leq tdpf \leq Yt + Xt + 3 \text{ (msec)} \end{aligned}$$

- ⚠ 注意：
1. 速度の設定がされていない場合、または設定が 0 の場合は停止したままとなり、アラームにはなりません。
 2. 移動中に、速度設定を 0 に変更した場合は減速停止し、アラームにはなりません。
 3. 移動中に、加減速度／速度データだけを変更する場合でも目標位置データの設定が必要です。
 4. 移動中に、目標位置だけを変更する場合でも、加減速度・速度データの設定が必要です。

2.9 EtherNet/IP 関連パラメータ

EtherNet/IP に関連するパラメータは No.84、No.86～87、No.90、および No.140～142 です。

区分：C：外部インタフェースの関連

No.	区分	シンボル	名称	工場出荷時の初期値
1			パラメータ No.1～No.83 まではコントローラの取扱説明書をご参照してください。	
83				
84	C	FMOD	フィールドバス動作モード	0
86	C	FBRS	フィールドバス通信速度	0
87	C	NTYP	ネットワークタイプ	7
90	C	FMIO	フィールドバス入出力フォーマット	3
140	C	IPAD	IP アドレス	192.168.0.1
141	C	SNMK	サブネットマスク	255.255.255.0
142	C	DFGW	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0

● フィールドバス動作モード (No.84 FMOD)

パラメータ No.84 に動作モードを 0～4 で指定します。

パラメータ No.84 設定値	モード名	占有バイト数	内容
0 (出荷時設定)	リモート I/O モード	2	PIO (24V 入出力) による運転を EtherNet/IP によって行います。
1	ポジション／ 簡易直値モード	8	目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータの値で運転できます。 その他の運転に必要な値はポジションデータに設定します。
2	ハーフ直値モード	16	目標位置以外に速度、加減速度、押付け電流値を直接数値で指定して運転を行います。
3	フル直値モード	32	位置制御に関する全ての値を直接数値で指定して運転を行います。
4	リモート I/O モード 2	12	リモート I/O モードの機能に現在位置と現在速度読取り機能を追加したものです。

● フィールドバス通信速度 (No.86 FBRS)

パラメータ No.86 に通信速度を指定します。

設定値	通信速度
0 (出荷時設定)	自動ネゴシエーション (推奨)
1	10Mbps 半二重
2	10Mbps 全二重
3	100Mbps 半二重
4	100Mbps 全二重
上記以外	ボーレート設定エラー

- ネットワークタイプ (No.87 NTYPE)
パラメータ No.87 にネットワークモジュールの種別を指定します。初期値から変更しないでください。
- フィールドバス入出力フォーマット (No.90 FMIO)
PLC 内のアドレスは、コントローラに設定したノードアドレスと各動作モードの占有バイトで 16 点 (2 バイト) 単位で割付けられます。
パラメータ No.90 の設定を変更することによって、PLC の入出力エリアとの交通域で 2 ワード内のデータをバイト単位で入替えて送受信することができます。

パラメータ No.90 設定値	内容
0	入替えは行いません。PLC にはそのまま送信されます。(例 i 参照)
1	上位ワードの上位バイトと下位バイトを入替え、また下位ワードの上位バイトと下位バイトを入替えます。(例 ii 参照)
2	ワードレジスタの場合、上位ワードと下位ワードを入替えます。(例 iii 参照)
3 (出荷時設定)	上位ワードの上位バイトと下位バイトを入替え、また下位ワードの上位バイトと下位バイトを入替えます。ワードレジスタの場合、さらに上位ワードと下位ワードを入替えます。(例 iv 参照)

(例 i) 設定値= “0” にした場合

●をON、○をOFFとします。

ACON、PCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

↑

PLC : 出力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

ACON、PCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

↓

PLC : 入力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

(例ii) 設定値= “1” にした場合

●をON、○をOFFとします。

ACON、PCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○
16進 データ	3				4				1				2				C				D				A				B			

PLC： 出力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

ACON、PCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	3				4				1				2				C				D				A				B			

PLC： 入力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

(例iii) 設定値= “2” にした場合

●をON、○をOFFとします。

ACON、 PCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	A				B				C				D				1				2				3				4			

PLC : 出力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

ACON、 PCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	A				B				C				D				1				2				3				4			

PLC : 入力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

(例iv) 設定値= “3” にした場合

●をON、○をOFFとします。

ACON、 PCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
16進 データ	C				D				A				B				3				4				1				2			

PLC： 出力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

ACON、 PCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
16進 データ	C				D				A				B				3				4				1				2			

PLC： 入力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

● IP アドレス (No.140 IPAD)

パラメータ No.140 に IP アドレスを指定します。

設定範囲 : 0.0.0.0～255.255.255.255 (出荷時設定 : 192.168.0.1)

(注) 0.0.0.0 に設定すると DHCP 有効となります。

推奨は手動設定です。

● サブネットマスク (No.141 SNMK)

パラメータ No.141 にサブネットマスクを指定します。

設定可能範囲 : 0.0.0.0～255.255.255.255 (出荷時設定 : 255.255.255.0)

● デフォルトゲートウェイ (No.142 DFGW)

パラメータ No.142 にデフォルトゲートウェイを指定します。

設定可能範囲 : 0.0.0.0～255.255.255.255 (出荷時設定 : 0.0.0.0)

2.10 トラブルシューティング

● アラーム内容と原因・対策

アラーム発生時、リモート I/O モード 1～3 では完了ポジション番号 (PM1～PM8 の 4 ビット) が簡易アラームコードを示します。

ポジション／簡易直値モード 1,2 では (n+4、n+5) バイトに簡易アラームコードが出力されます。

ハーフ直値モード 1～3、フル直値モードでは (n+12、n+13) バイトにアラームコードが出力されます。

- ① PLC のモニタ機能等でアラームコードを確認するか、RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールを接続してステータスマニタで確認してください。
- ② 読み取ったアラームコードからコントローラの取扱説明書のアラーム内容一覧を検索します。
- ③ 該当のアラームコードの記述に従い対処してください。
次のアラームコードについては下表に従い対処してください。

コード	エラー名称	ID (※1)	RES (※2)	原因／対策
0F2	フィールドバス モジュール異常	05	×	原因 : フィールドバスモジュールの異常が検出された 対策 : パラメータを確認してください。
0F3	フィールドバスモジュール 未検出エラー	04	×	原因 : モジュールが検出できなかった場合 対策 : 電源を再投入してください。解消されない場合は当社までご連絡ください。

(※1) ID→簡易アラームコード

(※2) RES→アラームリセット可／不可 ○ : アラームリセット可／× : アラームリセット不可

3. SCON-CA

3.1 動作モードと機能

Ethernet/IP 対応の SCON-CA は次の 9 つの動作モードから選択して運転することができます。

動作モードと主要機能

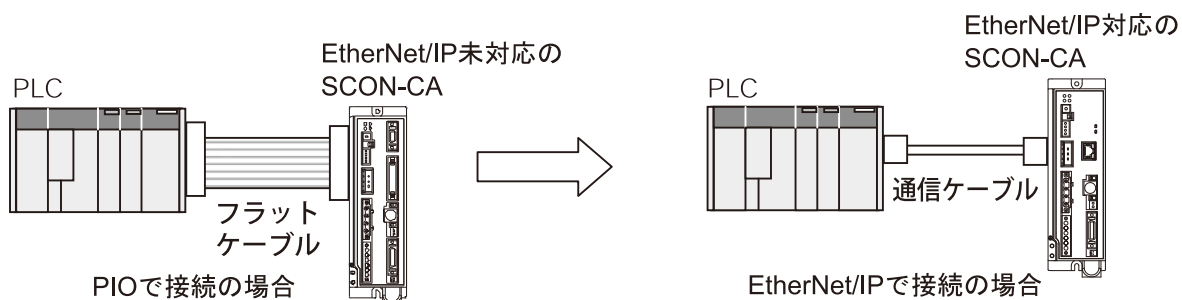
主要機能	リモート I/O モード	ポジション/簡易直値モード	ハーフ直値モード	フル直値モード	リモート I/O モード 2	ポジション/簡易直値モード 2	ハーフ直値モード 2	リモート I/O モード 3	ハーフ直値モード 3
占有バイト数	2	8	16	32	12	8	16	12	16
位置データ指定運転	×	○(※1)	○	○	×	○(※1)	○	×	○
速度・加速度直接指定	×	×	○	○	×	×	○	×	○
押付け動作	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現在位置読取り	×	○	○	○	○	○	○	○	○
現在速度読取り	×	×	○	○	×	×	○	×	○
ポジション No. 指定運転	○	○	×	×	○	○	×	○	×
完了ポジション No. 読取り	○	○	×	×	○	○	×	○	×
最大ポジションテーブル数	512	768	使用しない	使用しない	512	768	使用しない	512	使用しない
力制御	△(※2)	×	×	○	△(※2)	○	○	△(※2)	×
制振制御	○	○	×	○	○	○	×	○	○
サーボゲイン切替	○	○	○	○	○	○	×	○	○

(※1) 位置データ以外のポジションデータはポジション No. を指定して運転を行います。

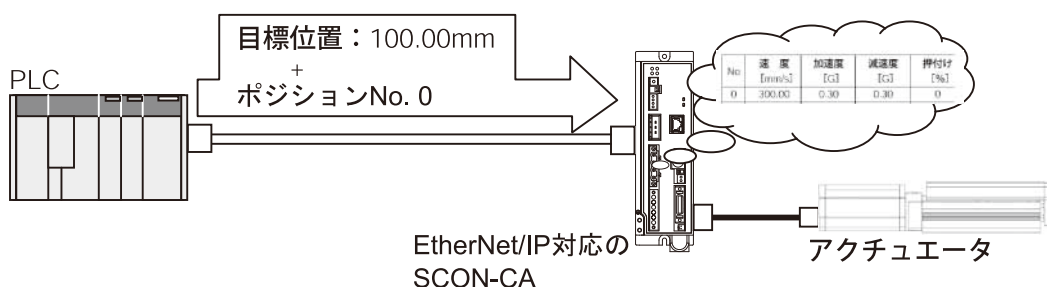
(※2) PIO パターンを 6 または 7 に設定した時に使用できます。

① リモート I/O モード：PIO (24V 入出力) による運転を Ethernet/IP 通信によって行う方式です。

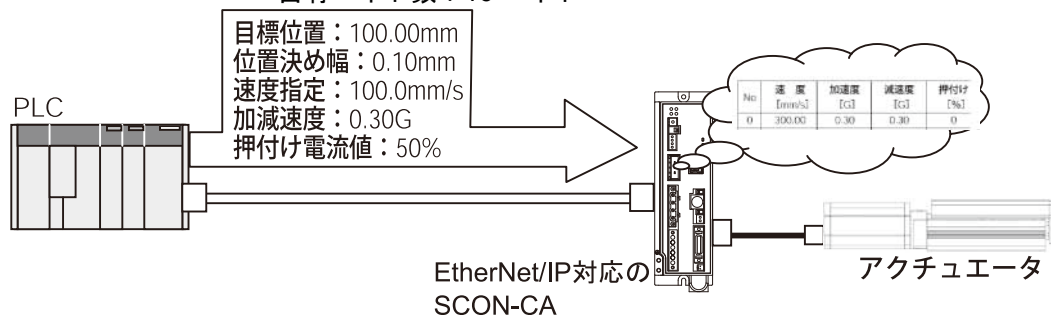
占有バイト数：2 バイト



- ②ポジション／簡易直値モード：ポジション No. を指定して運転する方式です。
 制御信号の切換えで目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータに登録した値を使用するか選択できます。
 速度、加減速度、位置決め幅等はあらかじめ登録したポジションデータの値を使用します。設定可能なポジションデータの数は最大 768 点です。
 占有バイト数：8 バイト

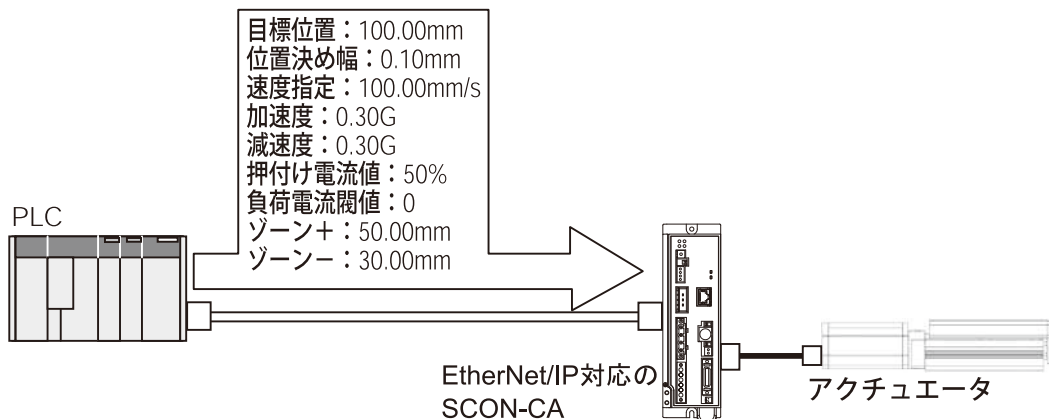


- ③ハーフ直値モード：目標位置以外に速度、加減速度、押付け電流値を直接数値で指定する運転方式です。
 占有バイト数：16 バイト



- ④フル直値モード：位置制御に関する全ての値(目標位置、速度、加減速度等)を直接数値で指定する運転方式です。

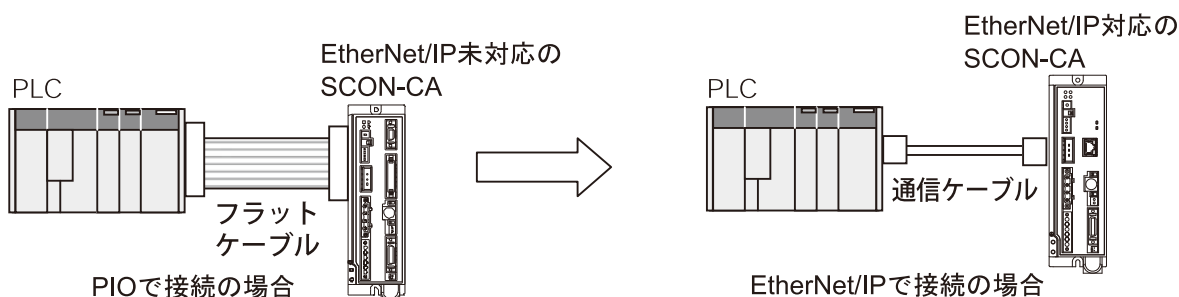
占有バイト数：32 バイト



- ⑤リモート I/O モード 2：PIO (24V 入出力)による運転を EtherNet/IP によって行う方式です。

①の機能に現在位置と指令電流値読取り機能を追加したものです。

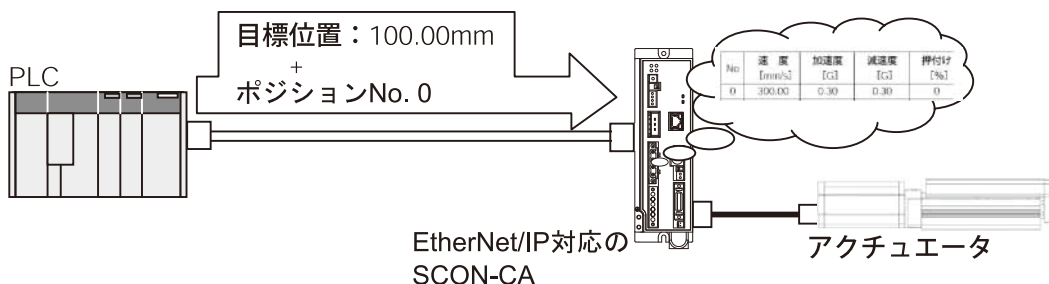
占有バイト数：12 バイト



- ⑥ポジション／簡易直値モード 2：ポジション No.を指定して運転する方式です。

②の教示、ゾーン機能の替わりに力制御機能を搭載したモードです。

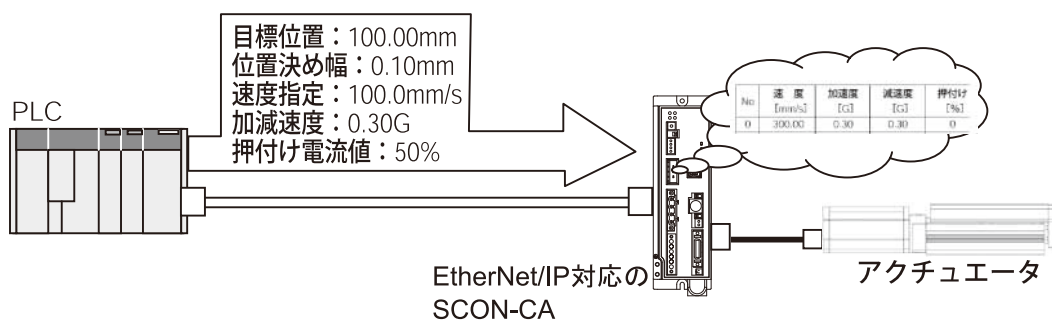
占有バイト数：8 バイト



⑦ハーフ直値モード2：目標位置以外に速度、加減速度、押付電流値を直接数値で指定する運転方式です。

③の機能、指令電流読取りの代わりにロードセルデータの読取りを行います。また力制御機能に対応しています。

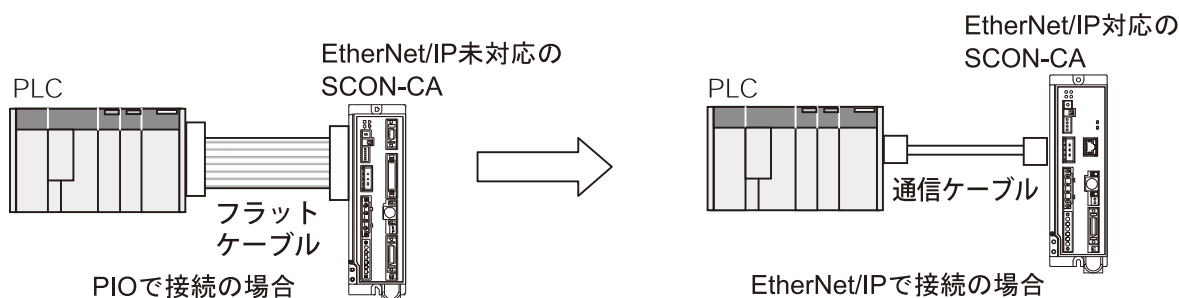
占有バイト数：16 バイト



⑧リモート I/O モード3：PIO (24V 入出力) による運転を EtherNet/IP によって行う方式です。

①の機能に、現在位置とロードセルデータの読取り機能を追加したモードです。

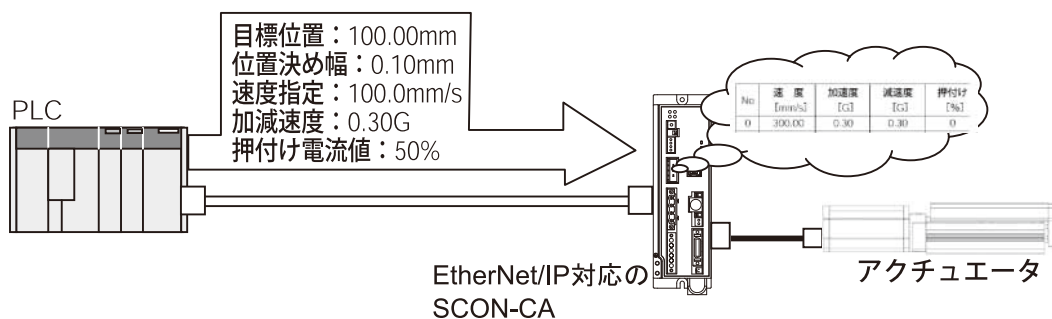
占有バイト数：12 バイト



⑨ハーフ直値モード3：目標位置以外に速度、加減速度、押付電流値を直接数値で指定する運転方式です。

③のジョグ機能の代わりに制振制御機能に対応したモードです。

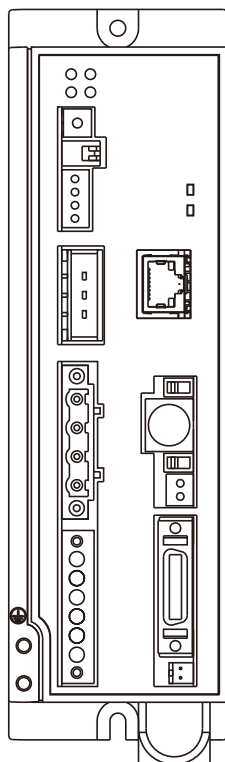
占有バイト数：16 バイト



3.2 型式

EtherNet/IP 対応の SCON-CA の型式は各々以下のように表されています。

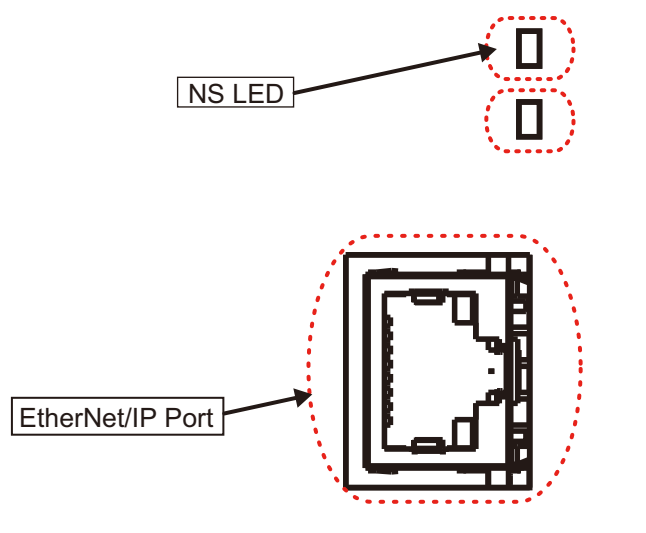
●SCON-CA-□-EP-□



3.3 EtherNet/IP インタフェース

3.3.1 各部の名称

EtherNet/IP に関連する各部の名称を示します。



3.3.2 モニタ用 LED の表示

コントローラ前面に設けられた MS、NS の 2 つの LED によってスレーブ(各コントローラ)の状態やネットワークの状態を知ることができます。

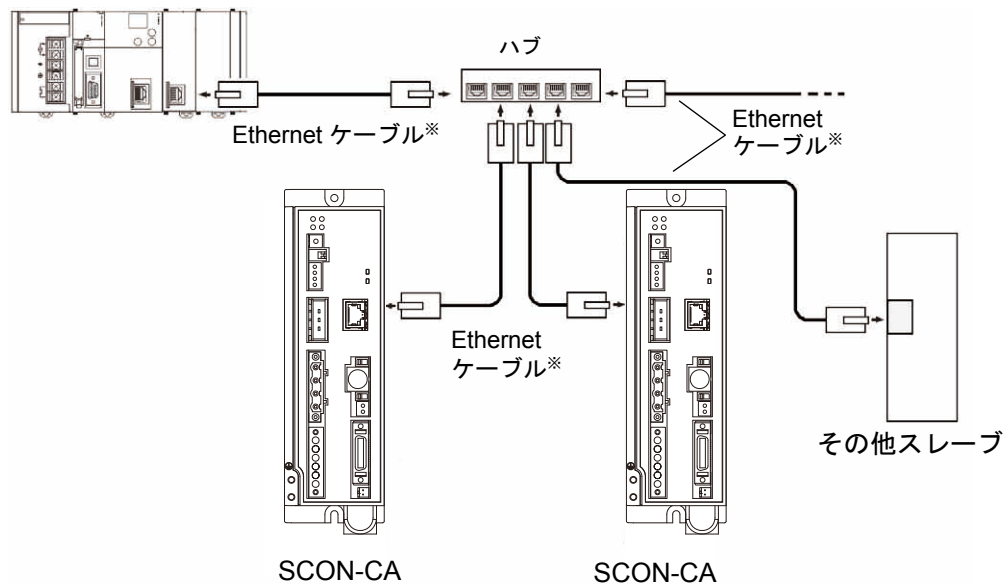
以下の表の内容を示します。

名称	表示色	説明	
NS	消灯	電源オフ、または、IPアドレス未設定	
	緑(点灯)	コネクションが確立し、正常に通信中です。	
	緑(点滅)	オンライン状態になっているが、コネクションが確立していません。通信停止中(ネットワークは正常)です。マスタユニットの状態を確認してください。	
	赤(点灯)	通信異常です。IPアドレス重複などのエラー検出により通信できません。	IPアドレスの設定、通信ラインの配線状態、ハブの電源、ノイズ対策などを確認してください。
	赤(点滅)	通信異常です。(通信タイムアウトを検出しました)	
MS	消灯	電源オフ	
	緑(点灯)	正常動作中です。 スキャナ(マスタ)のコントロール下にある状態	
	緑(点滅)	スキャナ(マスタ)とのコネクションが確立していません。 構成情報の設定を確認してください。 スキャナ(マスタ)がアイドル状態になっていないか確認してください。	
	赤(点灯)	ハードウェア異常です。 ボード交換が必要です。当社までお問い合わせください。	
	赤(点滅)	コンフィグレーション異常、設定不正などの軽微な異常です。 再設定などで回復可能です。	

3.4 配線

3.4.1 配線(例)

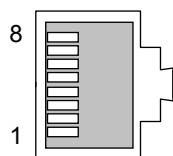
PLC (EtherNet/IP マスタユニット)



※Ethernet ケーブル： カテゴリ 5e 以上のストレートケーブル 100m 以内
(アルミテープと編組の二重しゃ蔽シールドケーブル推奨)

(注) 終端処理の必要はありません。

3.4.2 コネクタピン配列



RJ45 8 ピン
モジュラコネクタ
(コントローラ側)

ピン番号	信号名称	信号略称
1	送信データ+	TD+
2	送信データ-	TD-
3	受信データ+	RD+
4	未使用	
5	未使用	
6	受信データ-	RD-
7	未使用	
8	未使用	
コネクタ フード	保安用接地	FG

3.5 設定

ティーチングツールを使用して、コントローラのパラメータに設定します。
コントローラの前面のモード切替 SW を MANU 側にして設定してください。
EtherNet/IP 対応のティーチングツールのバージョンは以下の通りです。

- ・ RC パソコン対応ソフト : V8.01.01.00～
- ・ CON-T/TG : V1.10(予定)～
- ・ CON-PT/PD/PG : V1.20(予定)～
- ・ RCM-E/P : V2.20(予定)～

3.5.1 動作モードの選択

パラメータ No.84 “FMODE : フィールドバス動作モード” を設定してください。
[3.9 EtherNet/IP 関連パラメータ参照]

設定値	動作モード	占有バイト数
0(出荷時設定)	リモート I/O モード	2
1	ポジション／簡易直値モード	8
2	ハーフ直値モード	16
3	フル直値モード	32
4	リモート I/O モード 2	12
5	ポジション／簡易直値モード 2	8
6	ハーフ直値モード 2	16
7	リモート I/O モード 3	12
8	ハーフ直値モード 3	16

※これ以外の値を入力すると入力値過大エラーとなります。

3.5.2 通信速度の設定

パラメータ No.86 “FBRs : フィールドバス通信速度” を設定してください。

設定値	通信速度
0(出荷時設定)	自動ネゴシエーション(推奨)
1	10Mbps 半二重
2	10Mbps 全二重
3	100Mbps 半二重
4	100Mbps 全二重
上記以外	ボーレート設定エラー

3.5.3 局番の設定

パラメータ No.140 “IPAD : IP アドレス” を設定してください。
[3.9 EtherNet/IP 関連パラメータ参照]

設定可能範囲 : 0.0.0.0~255.255.255.255 (出荷時は、192.168.0.1 に設定されています。)

(注 1) IP アドレスの重複設定にご注意ください。
詳細はマスタユニットおよび搭載される PLC の取扱説明書をご参照ください。

3.5.4 サブネットマスクの設定

パラメータ No.141 “SNMK : サブネットマスク” を設定してください。
マスタユニットおよび他のスレーブ (同一ネットワーク上) と同じ値を設定してください。
[3.9 EtherNet/IP 関連パラメータ参照]

設定可能範囲 : 0.0.0.0~255.255.255.255 (出荷時は、255.255.255.0 に設定されています。)

3.5.5 デフォルトゲートウェイの設定

必要に応じ、パラメータ No.142 “DFGW : デフォルトゲートウェイ” を設定してください。
[3.9 EtherNet/IP 関連パラメータ参照]

設定可能範囲 : 0.0.0.0~255.255.255.255 (出荷時は、192.168.0.0 に設定されています。)

(注) パラメータの設定後はコントローラの電源再投入を行い、コントローラ前面のモード切替 SW を AUTO 側に戻してください。
MANU 側のままの場合 PLC による運転はできません。

3.6 マスタ局との通信

3.6.1 各動作モードと PLC 入出力エリアの対応

各動作モードのアドレス割付を次に示します。

- PLC 出力→SCON-CA の入力 (※n は各軸のバイトアドレスです。)

PLC出力エリア (バイト)	SCON-CAのDIおよび入力データレジスタ				
	リモート I/Oモード	ポジション／ 簡易直値モード	ハーフ直値 モード	フル直値モード	リモートI/O モード2
	占有バイト数：2	占有バイト数：8	占有バイト数：16	占有バイト数：32	占有バイト数：12
n+0, n+1	ポート番号 0～15	目標位置	目標位置	目標位置	ポート番号 0～15
n+2, n+3		目標位置	位置決め幅	位置決め幅	占有領域
n+4, n+5					
n+6, n+7		制御信号			
n+8, n+9			速度	速度指定	
n+10, n+11			加減速度		
n+12, n+13			押付け電流制限値	ゾーン境界値＋	
n+14, n+15			制御信号		
n+16, n+17					ゾーン境界値－
n+18, n+19		加速度			
n+20, n+21		減速度			
n+22, n+23		押付け電流制限値			
n+24, n+25		負荷電流閾値			
n+26, n+27		制御信号 1			
n+28, n+29		制御信号 2			
n+30, n+31					

(注) **占有領域** は動作モードの設定により占有される領域です。
他の目的に使用できません。またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

- PLC 出力→SCON-CA 入力(※n は各軸のバイトアドレスです。)

PLC出力エリア (バイト)	SCON-CAのDIおよび入力データレジスタ			
	ポジション/ 簡易直値モード2	ハーフ直値 モード2	リモートI/O モード3	ハーフ直値 モード3
	占有バイト数 : 8	占有バイト数 : 16	占有バイト数 : 12	占有バイト数 : 16
n+0, n+1	目標位置	目標位置	ポート番号 0~15	目標位置
n+2, n+3				
n+4, n+5	指定ポジションNo.	位置決め幅	占有領域	位置決め幅
n+6, n+7	制御信号			
n+8, n+9		速度		速度
n+10, n+11		加減速度		加減速度
n+12, n+13		押付け電流制限値		押付け電流制限値
n+14, n+15		制御信号		制御信号
n+16, n+17				
n+18, n+19				
n+20, n+21				
n+22, n+23				
n+24, n+25				
n+26, n+27				
n+28, n+29				
n+30, n+31				

(注) **占有領域** は動作モードの設定により占有される領域です。
他の目的に使用できません。またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

- SCON-CA 出力→PLC 入力側 (※n は各軸のバイトアドレスです。)

PLC出力エリア (バイト)	SCON-CA側DOおよび出力データレジスタ				
	リモート I/Oモード	ポジション/ 簡易直値モード	ハーフ直値 モード	フル直値モード	リモートI/O モード2
	占有バイト数 : 2	占有バイト数 : 8	占有バイト数 : 16	占有バイト数 : 32	占有バイト数 : 12
n+0, n+1	ポート番号 0~15	現在位置	現在位置	現在位置	ポート番号 0~15
n+2, n+3					占有領域
n+4, n+5		完了ポジションNo. (簡易アラームID)	指令電流	指令電流	現在位置
n+6, n+7					
n+8, n+9		状態信号	現在速度	現在速度	指令電流
n+10, n+11					
n+12, n+13		アラームコード	アラームコード	アラームコード	
n+14, n+15					
n+16, n+17		状態信号	占有領域	占有領域	
n+18, n+19					
n+20, n+21		カフィードバック データ	カフィードバック データ	カフィードバック データ	
n+22, n+23					
n+24, n+25		占有領域	占有領域	占有領域	
n+26, n+27					
n+28, n+29		状態信号 1	状態信号 1	状態信号 1	
n+30, n+31					

(注) **占有領域** は動作モードの設定により占有される領域です。
他の目的に使用できません。またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

- SCON-CA 出力→PLC 入力側 (※n は各軸のバイトアドレスです。)

SCON-CA側DOおよび出力データレジスタ				
PLC入力エリア (バイト)	ポジション／ 簡易直値モード2	ハーフ直値 モード2	リモートI/O モード3	ハーフ直値 モード3
	占有バイト数：8	占有バイト数：16	占有バイト数：12	占有バイト数：16
	現在位置	現在位置	ポート番号 0～15 占有領域	現在位置
n+0, n+1	現在位置	現在位置	ポート番号 0～15	現在位置
n+2, n+3			占有領域	
n+4, n+5	完了ポジションNo. (簡易アラームID)	カフィード バックデータ	現在位置	指令電流
n+6, n+7	状態信号			
n+8, n+9		現在速度	カフィード バックデータ	現在速度
n+10, n+11		アラームコード		アラームコード
n+12, n+13				
n+14, n+15				
n+16, n+17				
n+18, n+19				
n+20, n+21				
n+22, n+23				
n+24, n+25				
n+26, n+27				
n+28, n+29				
n+30, n+31				

(注) **占有領域** は動作モードの設定により占有される領域です。
他の目的に使用できません。またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

3.6.2 リモート I/O モード (占有バイト数 : 2)

PIO (24V 入出力) を使用した場合と同様にポジション No. を指定して運転するモードです。
RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールからポジションデータを設定してください。
運転可能なポジション数は、パラメータ No.25 “PIO パターン” の設定によります。
以下に各 PIO パターンの I/O 仕様を示します。(詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)

パラメータ No.25 の設定値	動作モード	I/O 仕様
0	位置決めモード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 2 点
1	教示モード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 1 点 位置決めおよびジョグ運転が可能 現在位置を指定ポジションに書き込み可能
2	256 点モード	位置決め点数 256 点、ゾーン出力 1 点
3	512 点モード	位置決め点数 512 点、ゾーン出力無し
4	電磁弁モード 1	位置決め点数 7 点、ゾーン出力 2 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力
5	電磁弁モード 2	位置決め点数 3 点、ゾーン出力 2 点 前進/後退/中間位置指令により運転 位置決め完了信号は前進端/後退端/ 中間位置の個別出力
6	力制御モード 1 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 32 点、ゾーン出力 1 点
7	力制御モード 2 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 5 点、ゾーン出力 1 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力

本モードで制御可能なロボシリンドラの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンドラ の機能	PIO パターン							
	0: 位置決め モード	1: 教示 モード	2: 256 点 モード	3: 512 点 モード	4: 電磁弁 モード 1	5: 電磁弁 モード 2	6: 力制御 モード 1	7: 力制御 モード 2
原点復帰動作	○	○	○	○	○	×	○	○
位置決め動作	○	○	○	○	○	○	○	○
速度・加減速度設定	○	○	○	○	○	○	○	○
ピッチ送り(イン칭)	○	○	○	○	○	○	○	○
押付け動作	○	○	○	○	○	×	○	○
移動中の速度変更	○	○	○	○	×	○	○	×
異なった加速度、 減速度での動作	○	○	○	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○	○(※1)	○	○
ゾーン信号出力	○	○	○	×	○	○	○	○
PIO パターン選択 (パラメータで設定)	○	○	○	○	○	○	○	○

○ : 動作可、× : 動作不可

(※1) パラメータ No.27 “移動指令種別” を 0 に設定した場合に可能です。
移動指令を OFF にすることによって一時停止が可能です。

(1) PLC アドレス構成 (※n は各軸のノードアドレスです。)

パラメータ No.84	SCON-CA 側 DI (ポート番号)	PLC 側 出力アドレス (バイト)	SCON-CA 側 DO (ポート番号)	PLC 側 入力アドレス (バイト)
0	0~15	n+0, n+1	0~15	n+0, n+1

(注) ノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力アドレスの各 1 ワード (1 ワード=2 バイト) で構成されます。

- 各アドレスはビット単位の ON/OFF 信号で制御します。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

	1 ワード=2 バイト=16 ビット															
n+0, n+1	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 入力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

PLC 入力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

	1 ワード=2 バイト=16 ビット															
n+0, n+1	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 出力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

(3) 入出力信号割付

パラメータ No.25 の設定によりコントローラの入出力ポートの信号内容が変わります。

(詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)

		パラメータ No.25 の設定					
		位置決めモード		教示モード		256 点モード	
		0		1		2	
区分	ポート番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC 出力→SCON-CA 入力	0	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1
	1		PC2		PC2		PC2
	2		PC4		PC4		PC4
	3		PC8		PC8		PC8
	4		PC16		PC16		PC16
	5		PC32		PC32		PC32
	6	使用できません	—	教示モード指令	MODE	使用できません	PC64
	7		—	ジョグ/インチング切替	JISL		PC128
	8		—	+ジョグ	JOG+		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	－ジョグ	JOG-	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME
	12	一時停止	*STP	一時停止	*STP	一時停止	*STP
	13	位置決めスタート	CSTR	位置決めスタート／ポジションデータ取込み指令	CSTR／PWRT	位置決めスタート	CSTR
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON
SCON-CA 出力→PLC 入力	0	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1
	1		PM2		PM2		PM2
	2		PM4		PM4		PM4
	3		PM8		PM8		PM8
	4		PM16		PM16		PM16
	5		PM32		PM32		PM32
	6	移動中信号	MOVE	移動中信号	MOVE	完了ポジション No.	PM64
	7	ゾーン 1	ZONE1	教示モード信号	MODES		PM128
	8	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE		PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号／ポジションデータ取込み完了	PEND／WEND	位置決め完了信号	PEND
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	バッテリーアラーム	*BALM	バッテリーアラーム	*BALM	バッテリーアラーム	*BALM

*は正常時 ON 信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFF は不定です)

		パラメータ No.25 の設定					
		512 点モード		電磁弁モード 1		電磁弁モード 2	
		3		4		5	
区分	ポート 番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC 出力→ SCON-CA 入力	0	指令ポジション No.	PC1	スタートポジション 0	ST0	スタートポジション 0	ST0
	1		PC2	スタートポジション 1	ST1	スタートポジション 1	ST1
	2		PC4	スタートポジション 2	ST2	スタートポジション 2	ST2
	3		PC8	スタートポジション 3	ST3	使用できません	—
	4		PC16	スタートポジション 4	ST4		—
	5		PC32	スタートポジション 5	ST5		—
	6		PC64	スタートポジション 6	ST6		—
	7		PC128	使用できません	—		—
	8		PC256		—		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	使用できません	—
	12	一時停止	* STP	一時停止	* STP		—
	13	位置決めスタート	CSTR	使用できません	—		—
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON
SCON-CA 出力 →PLC 入力	0	完了ポジション No.	PM1	ポジション完了 0	PE0	後退端移動指令 0	LS0
	1		PM2	ポジション完了 1	PE1	後退端移動指令 1	LS1
	2		PM4	ポジション完了 2	PE2	後退端移動指令 2	LS2
	3		PM8	ポジション完了 3	PE3	使用できません	—
	4		PM16	ポジション完了 4	PE4		—
	5		PM32	ポジション完了 5	PE5		—
	6		PM64	ポジション完了 6	PE6		—
	7		PM128	ゾーン 1	ZONE1	ゾーン 1	ZONE1
	8		PM256	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号	PEND	使用できません	—
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	* EMGS	非常停止	* EMGS	非常停止	* EMGS
	14	アラーム	* ALM	アラーム	* ALM	アラーム	* ALM
	15	バッテリーアラーム	* BALM	バッテリーアラーム	* BALM	バッテリーアラーム	* BALM

* は正常時 ON 信号です。

“使用できません” と表記されている信号は制御していません。(ON/OFF は不定です)

		パラメータ No.25 の設定			
		力制御モード 1		力制御モード 2	
		6		7	
区分	ポート番号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC 出力→ SCON-CA 入力	0	指令ポジション No.	PC1	スタートポジション 0	ST0
	1		PC2	スタートポジション 1	ST1
	2		PC4	スタートポジション 2	ST2
	3		PC8	スタートポジション 3	ST3
	4		PC16	スタートポジション 4	ST4
	5	使用できません	—	使用できません	—
	6		—		—
	7		—		—
	8	ロードセルキャリブレーション指令	CLBR	ロードセルキャリブレーション指令	CLBR
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME
	12	一時停止	* STP	一時停止	* STP
	13	位置決めスタート	CSTR	使用できません	—
	14	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON
SCON-CA 出力→PLC 入力	0	完了ポジション No.	PM1	ポジション完了 0	PE0
	1		PM2	ポジション完了 1	PE1
	2		PM4	ポジション完了 2	PE2
	3		PM8	ポジション完了 3	PE3
	4		PM16	ポジション完了 4	PE4
	5	トルクレベルステータス	TRQS	トルクレベルステータス	TRQS
	6	負荷出力判定ステータス	LOAD	負荷出力判定ステータス	LOAD
	7	ロードセルキャリブレーション完了	CEND	ロードセルキャリブレーション完了	CEND
	8	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号	PEND
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	* EMGS	非常停止	* EMGS
	14	アラーム	* ALM	アラーム	* ALM
	15	バッテリーアラーム	* BALM	バッテリーアラーム	* BALM

* は正常時 ON 信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFF は不定です)

3.6.3 ポジション／簡易直値モード(占有バイト数：8)

ポジション No. を指定して運転する方式です。制御信号 (PMOD 信号) の切換えで目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータに登録した値を使用するか選択できます。

目標位置以外の速度、加減速度、位置決め幅等はコントローラ内のポジションテーブルの値が使用されます。コントローラ本体の取扱説明書を参照してポジションデータを設定してください。

設定可能なポジションデータの数 は最大 768 点です。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	△	ポジションデータの 設定が必要です。
ピッチ送り (インテング)	△	
押付け動作	△	
移動中の速度変更	△	
異なった加速度、 減速度での動作	△	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	ゾーンの設定は ポジションデータ、 またはパラメータに 行います。
PIO パターン選択	×	

(1) PLC アドレス構成 (※n は各軸のノードアドレスです。)

パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	SCON-CA 側 出力レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
1	目標位置	n+0, n+1	現在位置	n+0, n+1
		n+2, n+3		n+2, n+3
	指定ポジション No.	n+4, n+5	完了ポジション No. (簡易アラームコード)	n+4, n+5
	制御信号	n+6, n+7	状態信号	n+6, n+7

(注) ノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力アドレスの各 4 ワード (4 ワード=8 バイト) で構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位の ON/OFF 信号です。
- 目標位置および現在位置は 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータで、PLC では -999999 ~ +999999 (単位: 0.01mm) の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータの ソフトストロークの範囲内 (0 ~ 有効ストローク長) で設定してください。
- 指定ポジション No. および完了ポジション No. は 1 ワード (16 ビット) のバイナリデータで、PLC では 0 ~ 767 までの数値が扱えますが、RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールで あらかじめ運転条件を設定したポジション No. を指定してください。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

		1 ワード=2 バイト=16 ビット															
n+0、n+1		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																	
n+2、n+3		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																	

目標位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指定ポジション No.							PC512	PC256	PC128	PC64	PC32	PC16	PC8	PC4	PC2	PC1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD			PMOD	MODE	PWRT	JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	CSTR

PLC 入力

アドレス(※nは各軸のノードアドレスです。)

		1 ワード=2 バイト=16 ビット															
n+0、n+1		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																	

n+2、n+3		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																	

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

n+4、n+5		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
完了ポジション No.								PM512	PM256	PM128	PM64	PM32	PM16	PM8	PM4	PM2	PM1

n+6、n+7		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号		EMGS	PWR	ZONE1	ZONE2	PZONE	MODES	WEND	RMDS	BALM	—	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
PLC出力	目標位置	32 ビットデータ	—	32 ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は 0.01mm で指定可能範囲は、－999999～999999 となります。 (例) +25.40mm なら 2540 と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側 (0.2mm) を超えた値を入力するとソフトリミットの内側 (0.2mm) までの移動に制限されます。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力してください。	3.8 (1)
	指定 ポジション No.	16 ビットデータ	PC1～PC512	16 ビット整数 運転にはパソコン対応ソフトなどのティーチングツールであらかじめ運転条件を設定したポジションデータが必要です。 本レジスタでデータを入力したポジション No.を指定してください。 指定可能範囲は 0～767 となります。 範囲外の値の指定、未設定のポジション No.の指定はスタート信号を ON した際にアラームとなります。	3.8 (1)
	制御番号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除	3.6.11 (18)
		b14	RMOD	運転モード：OFF で AUTO モード、ON で MANU モード	3.6.11 (19)
		b13	—	使用できません	—
		b12			
		b11	PMOD	ポジション／簡易直値切替： OFF でポジションモード、ON で簡易直値モード	3.6.11 (20)
		b10	MODE	教示モード指令： OFF で通常モード、ON で教示モード	3.6.11 (16)
		b9	PWRT	ポジションデータ取り込み指令： ON でポジションデータ取込み	3.6.11 (17)
		b8	JOG+	+ジョグ：ON で反原点方向移動	3.6.11 (13)
		b7	JOG-	－ジョグ：ON で原点方向移動	3.6.11 (13)
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFF でパラメータ No.26“ジョグ速度”、パラメータ No.48 “イン칭ング距離” ON でパラメータ No.47“ジョグ速度 2”、パラメータ No.49 “イン칭ング距離 2” の設定値を使用する。	3.6.11 (14)
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFF でジョグ動作、ON でイン칭ング動作	3.6.11 (15)
		b4	SON	サーボ ON 指令：ON でサーボ ON	3.6.11 (5)
		b3	RES	リセット：ON でリセット実行	3.6.11 (4)
		b2	STP	一時停止：ON で一時停止指令	3.6.11 (11)
		b1	HOME	原点復帰：ON で原点復帰指令	3.6.11 (6)
		b0	CSTR	位置決めスタート：ON で移動指令	3.6.11 (7)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32 ビット	—	現在位置 32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023(10 進 数)=10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示とな ります。	3.8 (1)
	完了 ポジション No. (簡易アラーム コード)	16 ビット	PM1～ PM512	16 ビット整数 目標位置まで移動し、位置決め幅内に入る位置決 め完了したポジション No.が出力されます。 一度もポジション移動を行ってない場合及び移動 中は“0”が出力されます。 アラームが発生した場合(状態信号の ALM が ON の場合)には簡易アラームコード(コントローラ本 体の取扱説明書参照)が出力されます。	3.8 (1)
	状態記号	b15	EMGS	非常停止：ON で非常停止状態	3.6.11 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了：準備完了で ON	3.6.11 (1)
		b13	ZONE2	ゾーン 2: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b12	ZONE1	ゾーン 1: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b11	PZONE	ポジションゾーン： 現在位置がポジションゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b10	MODES	教示モード信号：教示モード選択中で ON	3.6.11 (16)
		b9	WEND	ポジションデータ取込み完了：取込み完了で ON	3.6.11 (17)
		b8	RMDS	運転モード状態： 現在の状態が AUTO モードで OFF、MANU モードで ON	3.6.11 (19)
		b7	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告： 電圧低下で ON	3.6.11 (28)
		b6	—	使用できません	—
		b5	PSFL	押付け空振り：押付け動作空振りで ON	3.6.11 (23)
		b4	SV	運転準備完了：サーボ ON で ON	3.6.11 (5)
		b3	ALM	アラーム：アラーム発生で ON	3.6.11 (3)
		b2	MOVE	移動中信号：アクチュエータ移動中で ON	3.6.11 (9)
		b1	HEND	原点復帰完了：原点復帰完了で ON	3.6.11 (6)
		b0	PEND	位置決め完了信号：位置決め完了で ON	3.6.11 (10)

3.6.4 ハーフ直値モード(占有バイト数：16)

PLC から目標位置、位置決め幅、速度、加減速度、押付電流値を直接数値で指定する運転方式です。入出力エリアに各値を設定してください。ゾーン機能を使用する場合にはパラメータ No.1,2,23,24 に設定してください。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	○	
ピッチ送り(イン칭ング)	○	
押付け動作	○	
移動中の速度変更	○	
異なった加速度、減速度での動作	×	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	パラメータに設定が必要です。
PIO パターン選択	×	

(1) PLC アドレス構成(※n は各軸のノードアドレスです。)

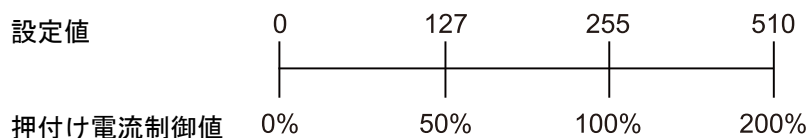
パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	SCON-CA 側 出力レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
2	目標位置	n+0, n+1	現在位置	n+0, n+1
		n+2, n+3		n+2, n+3
	位置決め幅	n+4, n+5	指令電流	n+4, n+5
		n+6, n+7		n+6, n+7
	速度	n+8, n+9	現在速度	n+8, n+9
	加減速度	n+10, n+11		n+10, n+11
	押付け電流制限値	n+12, n+13	アラームコード	n+12, n+13
	制御記号	n+14, n+15	状態信号	n+14, n+15

(注) ノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 8 ワード(8 ワード=16 バイト)で構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位の ON/OFF 信号です。
- 目標位置および現在位置は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では-999999~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内(0~有効ストローク長)で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えます。
- 指定速度は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0~+65535(単位: 1.0mm/sec)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加減速度は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~300(単位: 0.01G)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0(0%)~510(200%)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内(アクチュエータのカタログまたは取扱説明書参照)で設定してください。



- 指令電流は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 1mA)です。
- 現在速度は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 0.01mm/sec)です。
- アラームコードは 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータです。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット																
n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																
n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																

目標位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加減速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+12、n+13	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け電流 制限値								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+14、n+15	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD	DIR	PUSH	GSL1	GSL0	—	JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	DSTR

PLC 入力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット																
n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																
n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																
n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																

現在速度が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+12、n+13	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラーム コード																
n+14、n+15	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1				RMDS	BALM		PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	目標位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は 0.01mm で指定可能範囲は、－999999～999999 となります。 (例) +25.41mm なら 2541 と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側 (0.2mm) を 超えた値を入力するとソフトリミットの内側 (0.2mm) までの移動に制限されます。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力 してください。	3.8 (2)
	位置決め幅	32 ビット データ	—	32 ビット整数 単位は 0.01mm で指定可能範囲は 1～999999 で す。 (例) 25.40mm なら 2540 と指定します。本レジス タは動作種別により 2 種類の意味があります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程度の 範囲で位置決め完了とみなすかの許容範囲とな ります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。通常 動作か押付け動作かの指定は、制御信号の PUSH で設定してください。	3.8 (2)
	速度	16 ビット データ	—	16 ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位は 1.0mm/sec で指定可能範囲は、0～65535 となります。 (例) 254.0mm/sec なら 254 と指定します。最大 速度以上の値で移動指令を行うとアラームとな ります。	3.8 (2)
	加減速度	16 ビット データ	—	16 ビット整数 移動時の加減速度を指定してください。(加速度と 減速度は同じ値となります。) 単位は 0.01G で指定可能範囲は 1～300 です。 (例) 0.30G なら 30 と指定します。 0 または最大加速度、最大減速度を超えた値で移 動指令を行うとアラームとなります。	3.8 (2)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細																
P L C 出 力	押付け連流 制限値	16 ビット データ	—	16 ビット整数 押付け動作時電流制限を指定してください。 指定可能範囲は 0 (0%) ～510 (200%) です。 各アクチュエータにより実際の指定可能範囲は異 なります。(各アクチュエータのカタログまたは取 扱説明書をご参照ください。) 最大押付け電流値以上の値で移動指令を行うとア ラームとなります。	3.8 (2)																
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除		3.6.11 (18)															
		b14	RMOD	運転モード：OFF で AUTO モード、ON で MANU モード		3.6.11 (19)															
		b13	DIR	押付け方向指定： OFF で目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ON で目標位置に位置決め幅を加算した位置方向		3.6.11 (22)															
		b12	PUSH	押付け指定：OFF で位置決め動作、ON で押付け動作		3.6.11 (21)															
		b11	GSL1	サーボゲイン パラメータ セット選択 1	使用するサーボゲイン パラメータセット選択 <table><tr><th>GSL1</th><th>GSL0</th><th>機能</th></tr><tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>パラメータセット 0 選択</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>パラメータセット 1 選択</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>パラメータセット 2 選択</td></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>パラメータセット 3 選択</td></tr></table>	GSL1	GSL0	機能	OFF	OFF	パラメータセット 0 選択	OFF	ON	パラメータセット 1 選択	ON	OFF	パラメータセット 2 選択	ON	ON	パラメータセット 3 選択	3.6.11 (33)
		GSL1	GSL0	機能																	
		OFF	OFF	パラメータセット 0 選択																	
		OFF	ON	パラメータセット 1 選択																	
		ON	OFF	パラメータセット 2 選択																	
		ON	ON	パラメータセット 3 選択																	
		b10	GSL0	サーボゲイン パラメータ セット選択 0																	
		b9	—	使用できません		—															
		b8	JOG+	＋ジョグ：ON で反原点方向移動		3.6.11 (13)															
		b7	JOG-	－ジョグ：ON で原点方向移動		3.6.11 (13)															
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFF でパラメータ No.26 “ジョグ速度”、パラメー タ No.48 “イン칭ング距離” ON でパラメータ No.47 “ジョグ速度 2”、パラメー タ No.49 “イン칭ング距離 2” の設定値を使用する。		3.6.11 (14)															
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFF でジョグ動作、ON でイン칭ング動作		3.6.11 (15)															
		b4	SON	サーボ ON 指令：ON でサーボ ON		3.6.11 (5)															
		b3	RES	リセット：ON でリセット実行		3.6.11 (4)															
		b2	STP	一時停止：ON で一時停止指令		3.6.11 (11)															
b1	HOME	原点復帰：ON で原点復帰指令		3.6.11 (6)																	
b0	DSTR	位置決め指令：ON で移動指令		3.6.11 (8)																	

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
PLC 入力	現在位置	32 ビットデータ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります	3.8 (2)
	指令電流	32 ビットデータ	—	32 ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位は mA です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =1023mA	3.8 (2)
	現在速度	32 ビットデータ	—	32 ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数 : 反原点方向へ移動中 負数 : 原点方向へ移動中 単位は 0.01mm/sec です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm/sec ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	3.8 (2)
	アラームコード	16 ビットデータ	—	16 ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコードが出力されます。 アラームが発生していない場合は 0 _H です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説明書をご参照してください。	3.8 (2)
	状態信号	b15	EMGS	非常停止 : ON で非常停止状態	3.6.11 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了 : 準備完了で ON	3.6.11 (1)
		b13	ZONE2	ゾーン 2: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b12	ZONE1	ゾーン 1: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9			
		b8	RMDS	運転モード状態 : 現在の状態が AUTO モードで OFF 、MANU モードで ON	3.6.11 (19)
		b7	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告 : 電圧低下で ON	3.6.11 (28)
		b6	—	使用できません	—
		b5	PSFL	押付け空振り : 押付け動作空振りで ON	3.6.11 (23)
		b4	SV	運転準備完了 : サーボ ON で ON	3.6.11 (5)
b3		ALM	アラーム : アラーム発生で ON	3.6.11 (3)	
b2		MOVE	移動中信号 : アクチュエータ移動中で ON	3.6.11 (9)	
b1		HEND	原点復帰完了 : 原点復帰完了で ON	3.6.11 (6)	
b0	PEND	位置決め完了信号 : 位置決め完了で ON	3.6.11 (10)		

3.6.5 フル直値モード(占有バイト数：32)

PLC から位置制御に関する全ての値(目標位置、速度等)を直接数値で指定する運転方式です。
入出力エリアに各値を設定してください。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 ×：無効
原点復帰動作	○
位置決め動作	○
速度・加減速度設定	○
ピッチ送り(インチング)	○
押付け動作	○
移動中の速度変更	○
異なった加速度、減速度での動作	○
一時停止	○
ゾーン信号出力	○
PIO パターン選択	×

(1) PLC アドレス構成(※n は各軸のノードアドレスです。)

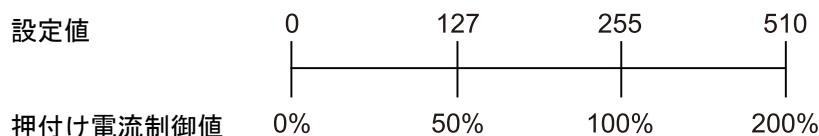
パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力側レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	SCON-CA 側 出力側レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
3	目標位置	n+0, n+1	現在位置	n+0, n+1
		n+2, n+3		n+2, n+3
	位置決め幅	n+4, n+5	指令電流	n+4, n+5
		n+6, n+7		n+6, n+7
	速度	n+8, n+9		n+8, n+9
		n+10, n+11	現在速度	n+10, n+11
	ゾーン境界値+	n+12, n+13	アラームコード	n+12, n+13
		n+14, n+15	占有領域	n+14, n+15
	ゾーン境界値-	n+16, n+17	カフィードバックデータ	n+16, n+17
		n+18, n+19		n+18, n+19
	加速度	n+20, n+21	占有領域	n+20, n+21
	減速度	n+22, n+23		n+22, n+23
	押付け電流制限値	n+24, n+25		n+24, n+25
	負荷電流閾値	n+26, n+27		n+26, n+27
	制御信号 1	n+28, n+29	状態信号 1	n+28, n+29
	制御信号 2	n+30, n+31	状態信号 2	n+30, n+31

(注) **占有領域** は他の目的に使用できません。
またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 16 ワード(16 ワード=32 バイト)で構成されます。

- 制御信号 1、制御信号 2 および状態信号はビット単位の ON/OFF 信号です。
- 目標位置および現在位置は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では-999999~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内(0~有効ストローク長)で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えます。
- 速度は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0~+999999(単位: 0.01mm/sec)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加速度および減速度は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~300(単位: 0.01G)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0(0%)~510(200%)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内(アクチュエータのカatalogまたは取扱説明書参照)で設定してください。



- 負荷電流閾値を設定してください。負荷電流閾値は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0(0%)~510(200%)の数値が扱えます。(押付け電流制限値の図(上図)参照)
- ゾーン境界値+、ゾーン境界値-は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では-999999~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えますが、ゾーン境界値+よりゾーン境界値-を小さな値に設定してください。
- 指令電流は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 1mA)です。
- 現在速度は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 0.01mm/sec)です。
- アラームコードは 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータです。
- カフィードバックデータは 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 0.01N)です。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット																
n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																
n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																

目標位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+12、n+13	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値+ (下位ワード)																
n+14、n+15	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値+ (上位ワード)																

ゾーン境界値が負数の場合は、2 の補数で表されます。

アドレス(※nは各軸のノードアドレスです。)

1ワード=2バイト=16ビット																
n+16、n+17	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値— (下位ワード)																
n+18、n+19	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値— (上位ワード)																
ゾーン境界値—が負数の場合は、2の補数で表されます。																
n+20、n+21	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+22、n+23	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
減速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+24、n+25	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け 電流制限値								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+26、n+27	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
負荷電流閾値 (※3)								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+28、n+29	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号1			NTC1	NTC0			ASO1	ASO0	MOD1	MOD0	GSL1	GSL0	INC	DIR	PUSH	
n+30、n+31	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号2	BKRL	RMOD					CLBR	JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	DSTR

PLC 入力

チャンネル(※n は各軸のノードアドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット

n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536

n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																

n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																

現在速度が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+12、n+13	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラームコード																

n+14、n+15	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
使用できません																

n+16、n+17	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバックデータ (下位ワード)																

n+18、n+19	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバックデータ (上位ワード)																

カフィードバックデータが負数の場合は、2の補数で表されます。

n+20～n+27	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
使用できません																

n+28、n+29	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号 1															CEND	BALM

n+30、n+31	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号 2	EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1	PZONE	LOAD	TRQS	RMDS	GHMS	PUSHS	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

アドレス		ビット	記号	機能	詳細
P L C 出 力	目標位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は 0.01mm で指定可能範囲は、－999999～999999 となります。 (例) +25.41mm なら 2541 と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側 (0.2mm) を超えた値を入力するとソフトリミットの内側 (0.2mm) までの移動に制限されます。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力してください。	3.8 (3)
	位置決め幅	32 ビット データ	—	32 ビット整数 単位は 0.01mm で指定可能範囲は 1～999999 です。 (例) 25.40mm なら 2540 と指定します。 本レジスタは動作種別により 2 種類の意味があります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程度の範囲で位置決め完了とみなすかの許容範囲となります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。通常動作か押付け動作かの指定は制御信号の PUSH で設定してください。	3.8 (3)
	速度	32 ビット データ	—	32 ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位 0.01mm/sec で指定可能範囲は、0～999999 となります。 (例) 25.41mm/sec なら 2541 と指定します。最大速度以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。	3.8 (3)
	ゾーン 境界値＋ ／ゾーン 境界値－	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 パラメータで指定されるゾーン境界とは別に、原点復帰後に有効なゾーン信号を出力します。 現在位置がこの±境界値の内側にあるときは、状態信号の PZONE が ON となります。 (例) +25.40mm なら 2540 と指定します。 指定単位は 0.01mm で、指定範囲は－999999～999999 となります。 ゾーン境界値＋＞ゾーン境界値－の関係を満たす値を入力してください。 当機能を使用しない場合は、±を同じ値にしてください。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力してください。	3.8 (3)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

アドレス		ビット	記号	機能			詳細	
PLC 出力	加速度	16 ビットデータ	—	16 ビット整数 移動時の加速度および減速度を指定してください。 単位は 0.01G で指定可能範囲は 1～300 です。 (例) 0.30G なら 30 と指定します。			3.8 (3)	
	減速度	16 ビットデータ	—	0 または最大加速度, 最大減速度を超えた値で移動指令を行うとアラームとなります。				
	負荷電流 閾値	16 ビットデータ	—	16 ビット整数 負荷電流が設定値を超えたか超えないか判定を行う場合、電流のしきい値を本レジスタで指定してください。 指定可能範囲は 0 (0%) ～510 (200%) です。判定を行わない場合は 0 を入力してください。			3.8 (3)	
	制御信号 1	b15	—	使用できません			—	
		b14						
		b13	NTC1	制振制御 モード選択 1	使用する制振制御パラメータセット選択		3.6.11 (29)	
				NTC1	NTC0	機能		
				OFF	OFF	制振制御未使用		
		b12	NTC0	制振制御 モード選択 0	OFF	ON		パラメータセット 1 選択
					ON	OFF		パラメータセット 2 選択
					ON	ON		パラメータセット 3 選択
		b11	—	使用できません			—	
		b10						
		b9	ASO1	停止モード 1	待機時の停止モードを選択		3.6.11 (31)	
				ASO1	ASO0	機能		
				OFF	OFF	無効(常にサーボ ON)		
				OFF	ON	パラメータ No.36 の 設定時間でサーボ OFF		
		b8	ASO0	停止モード 0	ON	OFF		パラメータ No.37 の 設定時間でサーボ OFF
					ON	ON		パラメータ No.38 の 設定時間でサーボ OFF
	b7	MOD1	加減速モード : OFF,OFF で台形パターン OFF,ON で S 字モーション ON,OFF で一次遅れフィルタ			3.6.11 (30)		
	b6	MOD0						
	b5	GSL1	サーボゲイン パラメータ セット選択 1	使用するサーボゲイン パラメータセット選択		3.6.11 (33)		
			GSL1	GSL0	機能			
			OFF	OFF	パラメータセット 0 選択			
	b4	GSL0	サーボゲイン パラメータ セット選択 0	OFF	ON		パラメータセット 1 選択	
ON				OFF	パラメータセット 2 選択			
ON				ON	パラメータセット 3 選択			

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

アドレス	ビット	記号	機能	詳細
P L C 出 力	制御信号 1	b3	INC インクリメンタル指定： OFF で絶対位置指令、ON で相対位置指令	3.6.11 (24)
		b2	DIR 押付け方向指定： OFF で目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ON で目標位置に位置決め幅を加算した位置方向	3.6.11 (22)
		b1	PUSH 押付け指定： OFF で位置決め動作、ON で押付け動作	3.6.11 (21)
		b0	— 使用できません	—
	制御信号 2	b15	BKRL ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除	3.6.11 (18)
		b14	RMOD 運転モード： OFF で AUTO モード、ON で MANU モード	3.6.11 (19)
		b13	— 使用できません	—
		b12		
		b11		
		b10		
		b9	CLBR ロードセルキャリブレーション指令： ON でキャリブレーション実行	3.6.11 (32)
		b8	JOG+ +ジョグ：ON で反原点方向移動	3.6.11 (13)
		b7	JOG- -ジョグ：ON で原点方向移動	3.6.11 (13)
		b6	JVEL ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFF でパラメータ No.26 “ジョグ速度”、パラメータ No.48 “イン칭ング距離” ON でパラメータ No.47 “ジョグ速度 2”、パラメータ No.49 “イン칭ング距離 2” の設定値を使用する。	3.6.11 (14)
		b5	JISL ジョグ／イン칭ング切替え： OFF でジョグ動作、ON でイン칭ング動作	3.6.11 (15)
		b4	SON サーボ ON 指令：ON でサーボ ON	3.6.11 (5)
		b3	RES リセット：ON でリセット実行	3.6.11 (4)
		b2	STP 一時停止：ON で一時停止指令	3.6.11 (11)
		b1	HOME 原点復帰：ON で原点復帰指令	3.6.11 (6)
		b0	DSTR 位置決めスタート：ON で移動指令	3.6.11 (8)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
PLC 入力	現在位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります	3.8 (3)
	指令電流	32 ビット データ	—	32 ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位は mA です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =1023mA	3.8 (3)
	現在速度	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数 : 反原点方向へ移動中 負数 : 原点方向へ移動中 単位は 0.01mm/sec です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm/sec ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	3.8 (3)
	アラーム コード	16 ビット データ	—	16 ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコードが出力されます。 アラームが発生していない場合は 0 です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説明書 をご参照してください。	3.8 (3)
	カ フィード バック データ	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01N です。 ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	3.8 (3)
	状態信号 1	b15	—	使用できません	—
		b14			
		b13			
		b12			
		b11			
b10					
b9					
b8					
b7					
b6					
b5					
b4					
b3					
b2					
b1	CEND	ロードセルキャリブレーション完了 : ON でキャリブレーション完了	3.6.11 (32)		
b0	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告 : ON で電圧低下	3.6.11 (28)		

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 入 力	状態信号 2	b15	EMGS	非常停止：ON で非常停止状態	3.6.11 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了：準備完了で ON	3.6.11 (1)
		b13	ZONE2	ゾーン 2：現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b12	ZONE1	ゾーン 1：現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b11	PZONE	ポジションゾーン： 現在位置がポジションゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b10	LOAD	負荷出力判定：ON で到達、OFF で未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	3.6.11 (26)
		b9	TRQS	トルクレベル：ON で到達、OFF で未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	3.6.11 (27)
		b8	RMDS	運転モード状態： 現在の状態が AUTO モードで OFF、MANU モードで ON	3.6.11 (19)
		b7	GHMS	原点復帰中：原点復帰中で ON	3.6.11 (6)
		b6	PUSHS	押付け動作中：押付け動作中で ON	3.6.11 (25)
		b5	PSFL	押付け空振り：押付け動作空振りで ON	3.6.11 (23)
		b4	SV	運転準備完了：サーボ ON で ON	3.6.11 (5)
		b3	ALM	アラーム：アラーム発生で ON	3.6.11 (3)
		b2	MOVE	移動中信号：アクチュエータ移動中で ON	3.6.11 (9)
		b1	HEND	原点復帰完了：原点復帰完了で ON	3.6.11 (6)
		b0	PEND	位置決め完了信号：位置決め完了で ON	3.6.11 (10)

3.6.6 リモート I/O モード 2 (占有バイト数 : 12)

PIO (24V 入出力) を使用した場合と同様にポジション No. を指定して運転するモードです。
RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールからポジションデータを設定してください。
運転可能なポジション数は、パラメータ No.25 “PIO パターン” の設定によります。
本モードはリモート I/O モードの内容に現在位置の読取り機能と指令電流値の読取り機能を追加したものです。

以下に各 PIO パターンの特長を示します。(詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)

パラメータ No.25 の設定値	動作モード	I/O 仕様
0	位置決めモード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 2 点
1	教示モード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 1 点 位置決めおよびジョグ運転が可能 現在位置を指定ポジションに書込み可能
2	256 点モード	位置決め点数 256 点、ゾーン出力 1 点
3	512 点モード	位置決め点数 512 点、ゾーン出力無し
4	電磁弁モード 1	位置決め点数 7 点、ゾーン出力 2 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力
5	電磁弁モード 2	位置決め点数 3 点、ゾーン出力 2 点 前進/後退/中間位置指令により運転 位置決め完了信号は前進端/後退端/ 中間位置の個別出力
6	力制御モード 1 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 32 点、ゾーン出力 1 点
7	力制御モード 2 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 5 点、ゾーン出力 1 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力

本モードで制御可能なロボシリンドラの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンドラの機能	PIO パターン							
	0: 位置決めモード	1: 教示モード	2: 256 点モード	3: 512 点モード	4: 電磁弁モード 1	5: 電磁弁モード 2	6: 力制御モード 1	7: 力制御モード 2
原点復帰動作	○	○	○	○	○	×	○	○
位置決め動作	○	○	○	○	○	○	○	○
速度・加減速度設定	○	○	○	○	○	○	○	○
ピッチ送り(インチング)	○	○	○	○	○	○	○	○
押付け動作	○	○	○	○	○	×	○	○
移動中の速度変更	○	○	○	○	×	○	○	×
異なった加速度、減速度での動作	○	○	○	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○	○(※1)	○	○
ゾーン信号出力	○	○	○	×	○	○	○	○
PIO パターン選択 (パラメータで設定)	○	○	○	○	○	○	○	○

○ : 動作可、× : 動作不可

(※1) パラメータ No.27 “移動指令種別” を 0 に設定した場合に可能です。
移動指令を OFF にすることによって一時停止が可能です。

(1) PLC アドレス構成 (※n は各軸のノードアドレスです。)

パラメータ No.84	SCON-CA 側 DI および入力レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	SCON-CA 側 DO および出力レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
4	ポート番号 0~15	n+0, n+1	ポート番号 0~15	n+0, n+1
	占有領域	n+2, n+3	占有領域	n+2, n+3
		n+4, n+5	現在位置	n+4, n+5
		n+6, n+7		n+6, n+7
		n+8, n+9	指令電流	n+8, n+9
		n+10, n+11		n+10, n+11

(注) **占有領域** は他の目的に使用できません。
またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 6 ワード (6 ワード=12 バイト) で構成されます。

- ポート番号で制御するエリアはビット単位の ON/OFF 信号で制御します。
- 現在位置は 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータ (単位 : 0.01mm) です。
- 指令電流は 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータ (単位 : 1mA) です。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

n+0, n+1	1 ワード=2 バイト=16 ビット															
	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 入力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

PLC 入力

アドレス(※n は各軸のノードアドレスです。)

n+0、n+1	1 ワード=2 バイト=16 ビット															
	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 出力ポート番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
使用できません																

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536

(3) 入出力信号割付

各 PIO パターンの信号割付は、3.6.2 (3) リモート I/O モード入出力信号割付けをご参照してください。

指令電流、現在位置の読取り機能の信号割付を次に示します。

信号種別		ビット	信号名	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FFH=1023 (10 進数) =10.23mm ※ 16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	—
	指令電流	32 ビット データ	—	32 ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位は 1mA です。 (例) 読取り値 : 000003FFH=1023 (10 進数) =1023mA	—

3.6.7 ポジション／簡易直値モード2(占有バイト数：8)

本モードは、力制御(ロードセル値のフィードバック押付け)を使用し、かつポジション No.を指定して運転する方式です。制御信号(PMOD 信号)の切換えて目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータに登録した値を使用するか選択できます。

目標位置以外の速度、加減速度、位置決め幅等はコントローラ内のポジションテーブルの値が使用されます。コントローラ本体の取扱説明書を参照してポジションデータを設定してください。

設定可能なポジションデータの数は最大 768 点です。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	△	ポジションデータの 設定が必要です。
ピッチ送り(インチング)	△	
押付け動作	△	
移動中の速度変更	△	
異なった加速度、 減速度での動作	△	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	ゾーンの設定は ポジションデータ、 またはパラメータに 行います。
PIO パターン選択	×	

(1) PLC アドレス構成(※n は各軸のノードアドレスです。)

パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	SCON-CA 側 出力レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
5	目標位置	n+0, n+1	現在位置	n+0, n+1
		n+2, n+3		n+2, n+3
	指定ポジション No.	n+4, n+5	完了ポジション No. (簡易アラーム ID)	n+4, n+5
	制御信号	n+6, n+7	状態信号	n+6, n+7

(注) ノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 4 ワード(4 ワード=8 バイト)で構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位の ON/OFF 信号です。
- 目標位置および現在位置は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では-999999~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内(0~有効ストローク長)で設定してください。
- 指定ポジションNo.および完了ポジションNo.は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0~767 までの数値が扱えますが、RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールで あらかじめ運転条件を設定したポジション No.を指定してください。

PLC 出力

アドレス(※n は各軸のノードアドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット																
n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																
n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																

目標位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指定ポジション No.							PC512	PC256	PC128	PC64	PC32	PC16	PC8	PC4	PC2	PC1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD			PMOD		CLBR	JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	CSTR

PLC 入力

アドレス(※nは各軸のノードアドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット

n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
完了ポジション No.							PM512	PM256	PM128	PM64	PM32	PM16	PM8	PM4	PM2	PM1

n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	CEND	ZONE1	PZONE/ZONE2	LOAD	TRQS	RMD5	BALM	PUSH5	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	目標位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は 0.01mm で指定可能範囲は、－999999～999999 となります。 (例) +25.40mm なら 2540 と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側 (0.2mm) を 超えた値を入力するとソフトリミットの内側 (0.2mm) までの移動に制限されます。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力 してください。	3.8 (1)
	指定 ポジション No.	16 ビット データ	PC1～ PC512	16 ビット整数 運転にはパソコン対応ソフトなどのティーチング ツールであらかじめ運転条件を設定したポジショ ンデータが必要です。 本レジスタでデータを入力したポジション No.を 指定してください。 指定可能範囲は 0～767 となります。 範囲外の値の指定、未設定のポジション No.の指 定はスタート信号を ON した際にアラームとなり ます。	3.8 (1)
	制御番号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除	3.6.11 (18)
		b14	RMOD	運転モード：OFF で AUTO モード、ON で MANU モード	3.6.11 (19)
		b13	—	使用できません	—
		b12			
		b11	PMOD	ポジション／簡易直値切替： OFF でポジションモード、ON で簡易直値モード	3.6.11 (20)
		b10	—	使用できません	—
		b9	CLBR	ロードセルキャリブレーション指令： ON でキャリブレーション実行	3.6.11 (32)
		b8	JOG+	+ジョグ：ON で反原点方向移動	3.6.11 (13)
		b7	JOG-	－ジョグ：ON で原点方向移動	3.6.11 (13)
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFF でパラメータ No.26“ジョグ速度”、パラメー タ No.48 “イン칭ング距離” ON でパラメータ No.47“ジョグ速度 2”、パラメー タ No.49 “イン칭ング距離 2” の設定値を使用する。	3.6.11 (14)
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFF でジョグ動作、ON でイン칭ング動作	3.6.11 (15)
		b4	SON	サーボ ON 指令：ON でサーボ ON	3.6.11 (5)
		b3	RES	リセット：ON でリセット実行	3.6.11 (4)
		b2	STP	一時停止：ON で一時停止指令	3.6.11 (11)
		b1	HOME	原点復帰：ON で原点復帰指令	3.6.11 (6)
		b0	CSTR	位置決めスタート：ON で移動指令	3.6.11 (7)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32 ビット	—	現在位置 32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進 数)=10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示とな ります。	3.8 (1)
	完了 ポジション No. (簡易アラーム コード)	16 ビット	PM1～ PM512	16 ビット整数 目標位置まで移動し、位置決め幅内に入る位置決 め完了したポジション No.が出力されます。 一度もポジション移動を行ってない場合及び移動 中は“0”が出力されます。 アラームが発生した場合(状態信号の ALM が ON の場合)には簡易アラームコード(コントローラ本 体の取扱説明書参照)が出力されます。	3.8 (1)
	状態記号	b15	EMGS	非常停止 : ON で非常停止状態	3.6.11 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了 : 準備完了で ON	3.6.11 (1)
		b13	CEND	ロードセルキャリブレーション完了 : 完了で ON	3.6.11 (32)
		b12	ZONE1	ゾーン 1: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b11	PZONE/ ZONE2	パラメータNo.149でPZONEとZONE2を切り替え します。 No.149=0 ポジションゾーン : 現在位置がポジションゾーン設定内にあるときON No.149=1 ゾーン2 : 現在位置がゾーン設定内にあるときON	3.6.11 (12)
		b10	LOAD	負荷出力判定 : ON で到達、OFF で未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	3.6.11 (26)
		b9	TRQS	トルクレベル : ON で到達、OFF で未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	3.6.11 (27)
		b8	RMDS	運転モード状態 : 現在の状態が AUTO モードで OFF 、MANU モードで ON	3.6.11 (19)
		b7	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告 : 電圧低下で ON	3.6.11 (28)
		b6	PUSHS	押付け動作中 : 押付け動作中で ON	3.6.11 (25)
		b5	PSFL	押付け空振り : 押付け動作空振りで ON	3.6.11 (23)
		b4	SV	運転準備完了 : サーボ ON で ON	3.6.11 (5)
		b3	ALM	アラーム : アラーム発生で ON	3.6.11 (3)
		b2	MOVE	移動中信号 : アクチュエータ移動中で ON	3.6.11 (9)
		b1	HEND	原点復帰完了 : 原点復帰完了で ON	3.6.11 (6)
		b0	PEND	位置決め完了信号 : 位置決め完了で ON	3.6.11 (10)

3.6.8 ハーフ直値モード 2 (占有バイト数 : 16)

本モードは、力制御(ロードセル値のフィードバック押付け)を使用し、かつ PLC から目標位置、位置決め幅、速度、加減速度、押付け電流値を直接数値で指定する運転方式です。入出力エリアに各値を設定してください。ゾーン機能を使用する場合にはパラメータ No.1,2,23,24 に設定してください。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○ : 直接制御 △ : 間接制御 × : 無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	○	
ピッチ送り(イン칭ング)	○	
押付け動作	○	
移動中の速度変更	○	
異なった加速度、減速度での動作	×	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	パラメータに設定が必要です。
PIO パターン選択	×	

(1) PLC アドレス構成 (※n は各軸のノードアドレスです。)

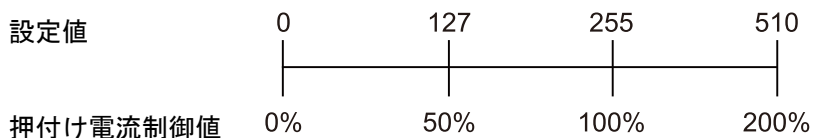
パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	SCON-CA 側 出力レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
6	目標位置	n+0, n+1	現在位置	n+0, n+1
		n+2, n+3		n+2, n+3
	位置決め幅	n+4, n+5	カフィードバック データ	n+4, n+5
		n+6, n+7		n+6, n+7
	速度	n+8, n+9	現在速度	n+8, n+9
	加減速度	n+10, n+11		n+10, n+11
	押付け電流制限値	n+12, n+13	アラームコード	n+12, n+13
	制御信号	n+14, n+15	状態信号	n+14, n+15

(注) ノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 8 ワード(8 ワード=16 バイト)で構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位の ON/OFF 信号です。
- 目標位置および現在位置は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では-999999~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内(0~有効ストローク長)で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えます。
- 指定速度は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0~+65535(単位: 1.0mm/sec)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加減速度は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~300(単位: 0.01G)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0(0%)~510(200%)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内(アクチュエータのカタログまたは取扱説明書参照)で設定してください。



- カフィードバックデータは 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 0.01N)です。
- 現在速度は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 0.01mm/sec)です。
- アラームコードは 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータです。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット																
n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																
n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																

目標位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加減速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+12、n+13	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け電流 制限値								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+14、n+15	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD	DIR	PUSH			CLBR	JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	DSTR

PLC 入力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

		1 ワード=2 バイト=16 ビット															
n+0、n+1		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																	
n+2、n+3		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																	

現在位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

		1 ワード=2 バイト=16 ビット															
n+4、n+5		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバックデータ (下位ワード)																	
n+6、n+7		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバックデータ (上位ワード)																	

カフィードバックデータが負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+8、n+9		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																	
n+10、n+11		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																	

現在速度が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+12、n+13		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラーム コード																	
n+14、n+15		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号		EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1			CEND	RMDS	BALM	PUSHS	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	目標位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は 0.01mm で指定可能範囲は、－999999～999999 となります。 (例) +25.41mm なら 2541 と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側 (0.2mm) を 超えた値を入力するとソフトリミットの内側 (0.2mm) までの移動に制限されます。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力 してください。	3.8 (2)
	位置決め幅	32 ビット データ	—	32 ビット整数 単位は 0.01mm で指定可能範囲は 1～999999 で す。 (例) 25.40mm なら 2540 と指定します。本レジス タは動作種別により 2 種類の意味があります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程度の 範囲で位置決め完了とみなすかの許容範囲とな ります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。通常 動作か押付け動作かの指定は、制御信号の PUSH で設定してください。	3.8 (2)
	速度	16 ビット データ	—	16 ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位は 1.0mm/sec で指定可能範囲は、0～65535 となります。 (例) 254.0mm/sec なら 254 と指定します。最大 速度以上の値で移動指令を行うとアラームとな ります。	3.8 (2)
	加減速度	16 ビット データ	—	16 ビット整数 移動時の加減速度を指定してください。(加速度と 減速度は同じ値となります。) 単位は 0.01G で指定可能範囲は 1～300 です。 (例) 0.30G なら 30 と指定します。 0 または最大加速度、最大減速度を超えた値で移 動指令を行うとアラームとなります。	3.8 (2)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出力	押付け連流 制限値	16 ビット データ	—	16 ビット整数 押付け動作時電流制限を指定してください。 指定可能範囲は 0 (0%) ~ 510 (200%) です。 各アクチュエータにより実際の指定可能範囲は異 なります。(各アクチュエータのカタログまたは取 扱説明書をご参照ください。) 最大押付け電流値以上の値で移動指令を行うとア ラームとなります。	3.8 (2)
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除	3.6.11 (18)
		b14	RMOD	運転モード：OFF で AUTO モード、ON で MANU モード	3.6.11 (19)
		b13	DIR	押付け方向指定： OFF で目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ON で目標位置に位置決め幅を加算した位置方向	3.6.11 (22)
		b12	PUSH	押付け指定：OFF で位置決め動作、ON で押付け動作	3.6.11 (21)
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9	CLBR	ロードセルキャリブレーション指令： ON でキャリブレーション実行	3.6.11 (32)
		b8	JOG+	+ジョグ：ON で反原点方向移動	3.6.11 (13)
		b7	JOG-	－ジョグ：ON で原点方向移動	3.6.11 (13)
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFF でパラメータ No.26 “ジョグ速度”、パラメー タ No.48 “イン칭ング距離” ON でパラメータ No.47 “ジョグ速度 2”、パラメー タ No.49 “イン칭ング距離 2” の設定値を使用する。	3.6.11 (14)
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFF でジョグ動作、ON でイン칭ング動作	3.6.11 (15)
		b4	SON	サーボ ON 指令：ON でサーボ ON	3.6.11 (5)
		b3	RES	リセット：ON でリセット実行	3.6.11 (4)
		b2	STP	一時停止：ON で一時停止指令	3.6.11 (11)
		b1	HOME	原点復帰：ON で原点復帰指令	3.6.11 (6)
		b0	DSTR	位置決め指令：ON で移動指令	3.6.11 (8)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
PLC 入力	現在位置	32 ビットデータ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	3.8 (2)
	カフィードバックデータ	32 ビットデータ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01N です。 ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	3.8 (2)
	現在速度	32 ビットデータ	—	32 ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数 : 反原点方向へ移動中 負数 : 原点方向へ移動中 単位は 0.01mm/sec です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm/sec ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	3.8 (2)
	アラームコード	16 ビットデータ	—	16 ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコードが出力されます。 アラームが発生していない場合は 0 _H です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説明書をご参照してください。	3.8 (2)
	状態信号	b15	EMGS	非常停止 : ON で非常停止状態	3.6.11 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了 : 準備完了で ON	3.6.11 (1)
		b13	ZONE2	ゾーン 2: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b12	ZONE1	ゾーン 1: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9	CEND	ロードセルキャリブレーション完了 : 完了で ON	3.6.11 (32)
		b8	RMDS	運転モード状態 : 現在の状態が AUTO モードで OFF 、MANU モードで ON	3.6.11 (19)
		b7	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告 : 電圧低下で ON	3.6.11 (28)
		b6	PUSHS	押付け動作中 : 押付け動作中で ON	3.6.11 (25)
		b5	PSFL	押付け空振り : 押付け動作空振りで ON	3.6.11 (23)
		b4	SV	運転準備完了 : サーボ ON で ON	3.6.11 (5)
b3		ALM	アラーム : アラーム発生で ON	3.6.11 (3)	
b2		MOVE	移動中信号 : アクチュエータ移動中で ON	3.6.11 (9)	
b1		HEND	原点復帰完了 : 原点復帰完了で ON	3.6.11 (6)	
b0	PEND	位置決め完了信号 : 位置決め完了で ON	3.6.11 (10)		

3.6.9 リモート I/O モード 3 (占有バイト数 : 12)

本モードは、リモート I/O モード 2 の機能に加え、力制御 (ロードセル値のフィードバック押付け) を使用して運転するモードです。

RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールからポジションデータを設定してください。運転可能なポジション数は、パラメータ No.25 “PIO パターン” の設定によります。

以下に各 PIO パターンの特長を示します。(詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)

パラメータ No.25 の設定値	動作モード	I/O 仕様
0	位置決めモード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 2 点
1	教示モード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 1 点 位置決めおよびジョグ運転が可能 現在位置を指定ポジションに書き込み可能
2	256 点モード	位置決め点数 256 点、ゾーン出力 1 点
3	512 点モード	位置決め点数 512 点、ゾーン出力無し
4	電磁弁モード 1	位置決め点数 7 点、ゾーン出力 2 点 ポジション No.毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No.毎に出力
5	電磁弁モード 2	位置決め点数 3 点、ゾーン出力 2 点 前進/後退/中間位置指令により運転 位置決め完了信号は前進端/後退端/ 中間位置の個別出力
6	力制御モード 1 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 32 点、ゾーン出力 1 点
7	力制御モード 2 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 5 点、ゾーン出力 1 点 ポジション No.毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No.毎に出力

本モードで制御可能なロボシリンドラの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンドラの機能	PIO パターン							
	0: 位置決めモード	1: 教示モード	2: 256 点モード	3: 512 点モード	4: 電磁弁モード 1	5: 電磁弁モード 2	6: 力制御モード 1	7: 力制御モード 2
原点復帰動作	○	○	○	○	○	×	○	○
位置決め動作	○	○	○	○	○	○	○	○
速度・加減速度設定	○	○	○	○	○	○	○	○
ピッチ送り(インチング)	○	○	○	○	○	○	○	○
押付け動作	○	○	○	○	○	×	○	○
移動中の速度変更	○	○	○	○	×	○	○	×
異なった加速度、減速度での動作	○	○	○	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○	○(※1)	○	○
ゾーン信号出力	○	○	○	×	○	○	○	○
PIO パターン選択 (パラメータで設定)	○	○	○	○	○	○	○	○

○ : 動作可、× : 動作不可

(※1) パラメータ No.27 “移動指令種別” を 0 に設定した場合に可能です。
移動指令を OFF にすることによって一時停止が可能です。

(1) PLC アドレス構成 (※n は各軸のノードアドレスです。)

パラメータ No.84	SCON-CA 側 DI および入力レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	SCON-CA 側 DO および出力レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
7	ポート番号 0~15	n+0, n+1	ポート番号 0~15	n+0, n+1
	占有領域	n+2, n+3	占有領域	n+2, n+3
		n+4, n+5	現在位置	n+4, n+5
		n+6, n+7		n+6, n+7
		n+8, n+9	カフィードバック データ	n+8, n+9
		n+10, n+11		n+10, n+11

(注) **占有領域** は他の目的に使用できません。
またノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 6 ワード (6 ワード=12 バイト) で構成されます。

- ポート番号で制御するエリアはビット単位の ON/OFF 信号で制御します。
- 現在位置は 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータ (単位 : 0.01mm) です。
- カフィードバックデータは 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータ (単位 : 0.01N) です。

PLC 出力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

n+0, n+1	1 ワード=2 バイト=16 ビット															
	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 入力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

PLC 入力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

n+0、n+1	1 ワード=2 バイト=16 ビット															
	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 出力ポート番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
使用できません																

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバックデータ (下位ワード)																

n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバックデータ (上位ワード)																

カフィードバックデータが負数の場合は、2 の補数で表されます。

(3) 入出力信号割付

各 PIO パターンの信号割付は、3.6.2 (3) リモート I/O モード入出力信号割付けをご参照してください。

指令電流、現在位置の読取り機能の信号割付を次に示します。

信号種別		ビット	信号名	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示 となります。	—
	カフィードバック データ	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01N です。 ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示 となります。	—

3.6.10 ハーフ直値モード 3 (占有バイト数：16)

本モードは、ハーフ直値モードのジョグ機能の代わりに制振制御パラメータセットの変更を可能とした運転方式です。入出力エリアに各値を設定してください。ゾーン機能を使用する場合にはパラメータ No.1,2,23,24 に設定してください。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	○	
ピッチ送り(インチング)	○	
押付け動作	○	
移動中の速度変更	○	
異なった加速度、減速度での動作	×	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	パラメータに設定が必要です。
PIO パターン選択	×	

(1) PLC アドレス構成 (※n は各軸のノードアドレスです。)

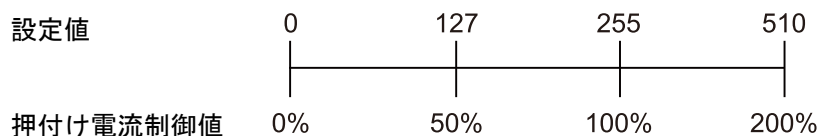
パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力レジスタ	PLC 側 出力アドレス (バイト)	SCON-CA 側 出力レジスタ	PLC 側 入力アドレス (バイト)
8	目標位置	n+0, n+1	現在位置	n+0, n+1
		n+2, n+3		n+2, n+3
	位置決め幅	n+4, n+5	指令電流	n+4, n+5
		n+6, n+7		n+6, n+7
	速度	n+8, n+9	現在速度	n+8, n+9
	加減速度	n+10, n+11		n+10, n+11
	押付け電流制限値	n+12, n+13	アラームコード	n+12, n+13
	制御記号	n+14, n+15	状態信号	n+14, n+15

(注) ノードアドレスの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 8 ワード(8 ワード=16 バイト)で構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位の ON/OFF 信号です。
- 目標位置および現在位置は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では-999999~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内(0~有効ストローク長)で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~+999999(単位: 0.01mm)の数値が扱えます。
- 指定速度は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0~+65535(単位: 1.0mm/sec)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加減速度は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 1~300(単位: 0.01G)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータで、PLC では 0(0%)~510(200%)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内(アクチュエータのカタログまたは取扱説明書参照)で設定してください。



- 指令電流は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 1mA)です。
- 現在速度は 2 ワード(32 ビット)のバイナリデータ(単位: 0.01mm/sec)です。
- アラームコードは 1 ワード(16 ビット)のバイナリデータです。

PLC 出力

アドレス(※n は各軸のノードアドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット																
n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																
n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																

目標位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加減速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+11、n+12	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け電流 制限値								256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+13、n+14	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD	DIR	PUSH	GSL1	GSL0	NTC1	NTC0	MOD1	MOD0	—	SON	RES	STP	HOME	DSTR

PLC 入力

アドレス (※n は各軸のノードアドレスです。)

1 ワード=2 バイト=16 ビット																
n+0、n+1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																
n+2、n+3	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+4、n+5	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
n+6、n+7	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536
n+8、n+9	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																
n+10、n+11	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																

現在速度が負数の場合は、2 の補数で表されます。

n+11、n+12	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラーム コード																
n+13、n+14	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1				RMDS	BALM		PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	目標位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は 0.01mm で指定可能範囲は、－999999～999999 となります。 (例) +25.41mm なら 2541 と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側 (0.2mm) を 超えた値を入力するとソフトリミットの内側 (0.2mm) までの移動に制限されます。 ※16 進数で入力する場合、負数は 2 の補数で入力 してください。	3.8 (2)
	位置決め幅	32 ビット データ	—	32 ビット整数 単位は 0.01mm で指定可能範囲は 1～999999 で す。 (例) 25.40mm なら 2540 と指定します。本レジス タは動作種別により 2 種類の意味があります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程度の 範囲で位置決め完了とみなすかの許容範囲とな ります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。通常 動作か押付け動作かの指定は、制御信号の PUSH で設定してください。	3.8 (2)
	速度	16 ビット データ	—	16 ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位は 1.0mm/sec で指定可能範囲は、0～65535 となります。 (例) 254.0mm/sec なら 254 と指定します。最大 速度以上の値で移動指令を行うとアラームとな ります。	3.8 (2)
	加減速度	16 ビット データ	—	16 ビット整数 移動時の加減速度を指定してください。(加速度と 減速度は同じ値となります。) 単位は 0.01G で指定可能範囲は 1～300 です。 (例) 0.30G なら 30 と指定します。 0 または最大加速度、最大減速度を超えた値で移 動指令を行うとアラームとなります。	3.8 (2)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細							
P L C 出力	押付け連流 制限値	16 ビット データ	—	16 ビット整数 押付け動作時電流制限を指定してください。 指定可能範囲は 0 (0%) ~510 (200%) です。 各アクチュエータにより実際の指定可能範囲は異 なります。(各アクチュエータのカタログまたは取 扱説明書をご参照ください。) 最大押付け電流値以上の値で移動指令を行うとア ラームとなります。	3.8 (2)							
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除	3.6.11 (18)							
		b14	RMOD	運転モード：OFF で AUTO モード、ON で MANU モード	3.6.11 (19)							
		b13	DIR	押付け方向指定： OFF で目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ON で目標位置に位置決め幅を加算した位置方向	3.6.11 (22)							
		b12	PUSH	押付け指定：OFF で位置決め動作、ON で押付け動作	3.6.11 (21)							
		b11	GSL1	サーボゲイン パラメータ セット選択 1	使用するサーボゲイン パラメータセット選択			3.6.11 (33)				
					GSL1	GSL0	機能					
					OFF	OFF	パラメータセット 0 選択					
					OFF	ON	パラメータセット 1 選択					
		b10	GSL0	サーボゲイン パラメータ セット選択 0	ON	OFF	パラメータセット 2 選択					
					ON	ON	パラメータセット 3 選択					
					b9	NTC1	制振制御 モード選択 1		使用する制振制御 パラメータセット選択			3.6.11 (29)
									NTC1	NTC0	機能	
		OFF	OFF	制振制御未使用								
		OFF	ON	パラメータセット 1 選択								
		b8	NTC0	制振制御 モード選択 0	ON	OFF	パラメータセット 2 選択					
					ON	ON	パラメータセット 3 選択					
					b7	MOD1	加減速モード： MOD1、MOD0 が両方 OFF=台形パターン	3.6.11 (30)				
					b6	MOD0	MOD1 が OFF、MOD0 が ON=S 字モーション MOD1 が ON、MOD0 が OFF=一次遅れフィルタ					
		b5	—	使用できません	—							
		b4	SON	サーボ ON 指令：ON でサーボ ON	3.6.11 (5)							
	b3	RES	リセット：ON でリセット実行	3.6.11 (4)								
	b2	STP	一時停止：ON で一時停止指令	3.6.11 (11)								
	b1	HOME	原点復帰：ON で原点復帰指令	3.6.11 (6)								
	b0	DSTR	位置決め指令：ON で移動指令	3.6.11 (8)								

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
PLC 入力	現在位置	32 ビットデータ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります	3.8 (2)
	指令電流	32 ビットデータ	—	32 ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位は mA です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =1023mA	3.8 (2)
	現在速度	32 ビットデータ	—	32 ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数 : 反原点方向へ移動中 負数 : 原点方向へ移動中 単位は 0.01mm/sec です。 (例) 読取り値 : 000003FF _H =1023 (10 進数) =10.23mm/sec ※16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	3.8 (2)
	アラームコード	16 ビットデータ	—	16 ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコードが出力されます。 アラームが発生していない場合は 0 _H です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説明書をご参照してください。	3.8 (2)
	状態信号	b15	EMGS	非常停止 : ON で非常停止状態	3.6.11 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了 : 準備完了で ON	3.6.11 (1)
		b13	ZONE2	ゾーン 2: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b12	ZONE1	ゾーン 1: 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	3.6.11 (12)
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9			
		b8	RMDS	運転モード状態 : 現在の状態が AUTO モードで OFF 、MANU モードで ON	3.6.11 (19)
		b7	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告 : 電圧低下で ON	3.6.11 (28)
		b6	—	使用できません	—
		b5	PSFL	押付け空振り : 押付け動作空振りで ON	3.6.11 (23)
		b4	SV	運転準備完了 : サーボ ON で ON	3.6.11 (5)
		b3	ALM	アラーム : アラーム発生で ON	3.6.11 (3)
		b2	MOVE	移動中信号 : アクチュエータ移動中で ON	3.6.11 (9)
		b1	HEND	原点復帰完了 : 原点復帰完了で ON	3.6.11 (6)
		b0	PEND	位置決め完了信号 : 位置決め完了で ON	3.6.11 (10)

3.6.11 入出力信号の制御と機能

※ON の表記はビット信号の“1”を表し、OFF は“0”を表します。

ポジション／簡易直値モード 1, 2、ハーフ直値モード 1～3 およびフル直値モードに使用される入出力信号の制御と機能を以下に示します。リモート I/O モード 1～3 の入出力信号については、コントローラ本体の取扱説明書をご参照ください。

(1) コントローラ準備完了 (PWR) PLC 入力信号

電源投入後、コントローラが制御可能になると ON になります。

■機能

アラームの状態やサーボの状態等にかかわらず、電源投入後、コントローラの初期化が正常に終了し、制御が可能になると ON になります。

アラーム状態にあっても、コントローラが制御可能状態であれば ON になります。

(2) 非常停止 (EMGS) PLC 入力信号

コントローラが非常停止状態になると ON になります。

■機能

非常停止状態（モータ駆動電源が遮断状態）になると ON になります。非常停止状態が解除されれば OFF になります。

(3) アラーム (ALM) PLC 入力信号

コントローラの保護回路（機能）が異常を検出すると ON になります。

■機能

異常を検出して保護回路（機能）が動作した時に ON になる信号です。

アラームの原因が解除され、リセット (RES) 信号を ON にすると動作解除レベルのアラームの場合は OFF になります。（コールドスタートレベルのアラームの場合は電源の再投入が必要です）

アラームを検出すると、コントローラ前面の状態表示 LED (3.3 EtherNet/IP インタフェース参照) が赤色点灯します。

(4) リセット (RES) PLC 出力信号

この信号は 2 つの機能を持っており、コントローラのアラームのリセットおよび一時停止中の残移動量をキャンセルすることができます。

■機能

- ① アラームが発生中に、アラームの原因を取り除いた後、この信号を OFF から ON にするとアラーム (ALM) 信号をリセットすることができます。（コールドスタートレベルのアラームの場合は電源の再投入が必要です）
- ② 一時停止中にこの信号を OFF から ON にすると、残りの移動量をキャンセルすることができます。

- (5) サーボ ON 指令 (SON) PLC 出力信号
 運転準備完了 (SV) PLC 入力信号

SON 信号を ON にするとサーボ ON となります。

サーボ ON するとコントローラ前面の状態表示 LED (3.3 EtherNet/IP インタフェース参照) が緑色点灯します。

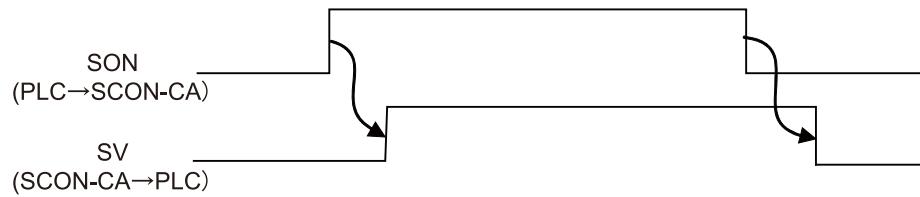
SV 信号は、この LED と同期しています。

■機能

SON 信号によりコントローラのサーボ ON/OFF が可能です。

SV 信号が ON の間、コントローラはサーボ ON 状態となり運転が可能となります。

SON 信号と SV 信号の関係は次のとおりです。



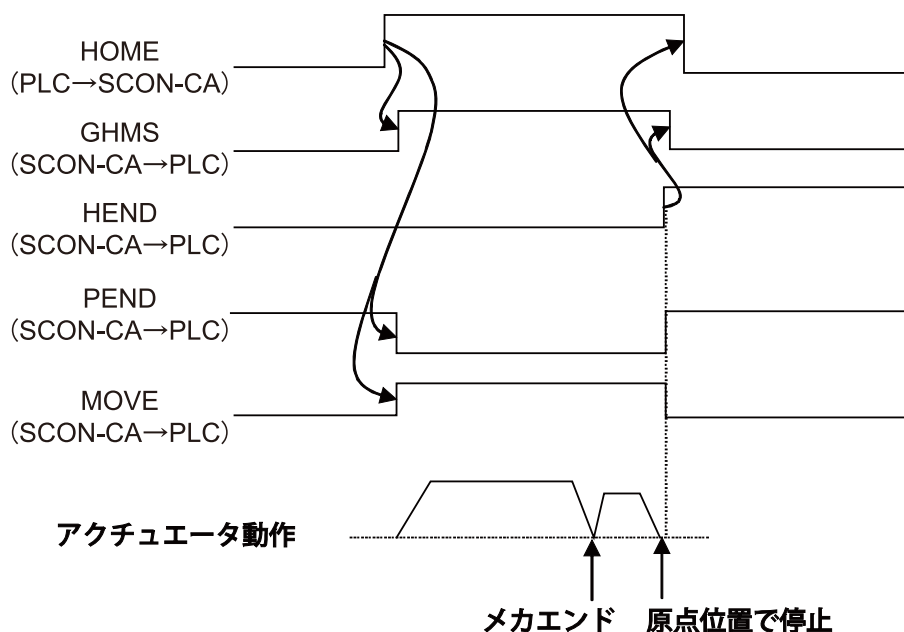
(6) 原点復帰 (HOME)	PLC 出力信号
原点復帰完了 (HEND)	PLC 入力信号
原点復帰中 (GHMS)	PLC 入力信号

HOME 信号を ON すると、この指令は立上り (ON エッジ) で処理され、自動で原点復帰動作が行われます。原点復帰中は GHMS 信号が ON となります。

原点復帰を完了すると HEND 信号が ON となり、GHMS 信号が OFF となります。

HEND 信号が ON になったら HOME 信号を OFF にしてください。HEND 信号は一旦 ON になると電源が OFF されるか、再度の HOME 信号が入力されるまで OFF なりません。

原点復帰完了後も HOME 信号を ON すると原点復帰を行うことができます。



⚠ 注意：リモート I/O モード 1~3、およびポジション／簡易直値モード 1, 2 では、電源投入時に原点復帰を行わずにポジションへの位置決め指令をした場合、電源投入後の最初の 1 回に限り自動的に原点復帰を行った後、位置決めを実行します。
 ハーフ直値モード 1~3 およびフル直値モードでは、電源投入時に原点復帰を行わずにポジションへの位置決め指令をした場合、「エラーコード 83 ALARM HOME ABS (原点復帰未完了状態での絶対位置移動指令)」のアラーム (動作解除レベル) となりますので、ご注意ください。

(7) 位置決めスタート (CSTR) : ポジション／簡易直値モード 1, 2 で使用 PLC 出力信号

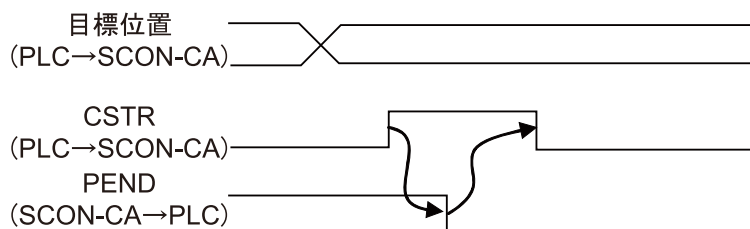
この指令は立上り (ON エッジ) で処理され、指定されたポジション No. の目標位置または PLC の目標位置レジスタで設定した位置に位置決めします。

指定されたポジション No. の目標位置を使用するか、PLC の目標位置レジスタの設定を使用するかは制御信号の b11 : ポジション／簡易直値切替 (PMOD) 信号によります。

- PMOD=OFF : 指定したポジション No. 内の目標位置データを使用
- PMOD=ON : PLC の目標位置レジスタの設定値を使用

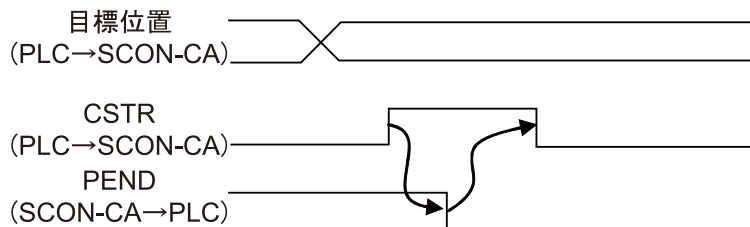
電源投入後、一度も原点復帰動作を行っていない状態 (HEND 信号が OFF の状態) でこの指令を行った場合は、自動的に原点復帰動作を実行した後に目標位置に位置決めします。

本信号は位置決め完了信号 (PEND) 信号が OFF になったことを確認して OFF にしてください。

(8) 位置決め指令 (DSTR) : ハーフ直値モード 1~3 およびフル直値モードで使用 PLC 出力信号

この指令は立上り (ON エッジ) で処理され、PLC の目標位置レジスタに入力されている目標位置に位置決めします。電源投入後、一度も原点復帰動作を行っていない状態 (HEND 信号が OFF の状態) でこの指令を行うとアラーム (動作解除レベル) となります。

本信号は位置決め完了 (PEND) 信号が OFF になったことを確認して OFF にしてください。

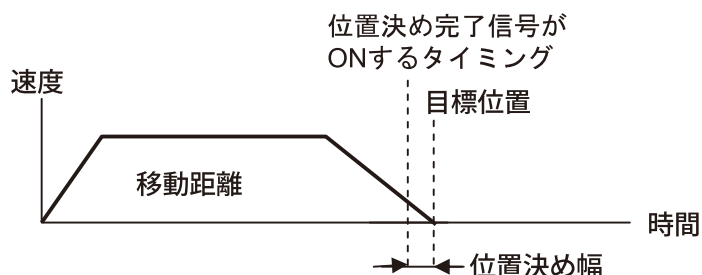
(9) 移動中信号 (MOVE) PLC 入力信号

本信号はアクチュエータのスライダまたはロッドが移動中に ON になります。(原点復帰動作、押付け動作およびジョグ動作も含みます)

位置決め完了後、原点復帰完了後、押付け動作完了後または一時停止中に OFF となります。

(10) 位置決め完了信号 (PEND) PLC 入力信号

本信号は目標位置まで移動して、位置決め幅内に到達した場合および押付けが完了した場合に ON になります。



サーボ OFF からサーボ ON となった時、その場を目標位置として位置決めが行われます。従って本信号は ON となり、その後原点復帰 (HOME) 信号、位置決めスタート (CSTR) 信号または位置決め指令 (DSTR) 信号による位置決め動作の開始で OFF となります。

⚠ 注意： 目標位置に停止している時にサーボ OFF 状態や非常停止状態になると、PEND 信号は一旦 OFF になります。
次に再度サーボ ON 状態に復帰した時、位置決め幅以内であれば ON に戻ります。
また CSTR 信号または DSTR 信号が ON のままでは位置決め完了しても PEND 信号は、ON になりません。

(11) 一時停止 (STP) PLC 出力信号

本信号を ON にすると軸移動が減速停止します。OFF にすると軸移動が再開されます。動作再開時の加速度および停止時の減速度は、ポジション／簡易直値モード 1, 2 では指定ポジション番号レジスタで設定しているポジション No. の加減速度の値となり、ハーフ直値モード 1~3 では加減速度レジスタの値となります。フル直値モードでは加速度レジスタおよび減速度レジスタの値となります。

(12) ゾーン 1 (ZONE1)	PLC 入力信号
ゾーン 2 (ZONE2)	PLC 入力信号
ポジションゾーン (PZONE)	PLC 入力信号

アクチュエータの現在位置が設定した領域の範囲内にある場合は ON になり、範囲外にある場合は OFF になります。

① ゾーン 1、ゾーン 2

ゾーンの設定はユーザパラメータで設定します。

ZONE1 信号はパラメータ No.1 “ゾーン境界 1+側” および 2 “ゾーン境界 1-側” で設定します。

ZONE2 信号はパラメータ No.23 “ゾーン境界 2+側” および 24 “ゾーン境界 2-側” で設定します。

ZONE1 信号および ZONE2 信号は原点復帰完了後に有効となり、その後はサーボ OFF 中でも有効です。

② ポジションゾーン

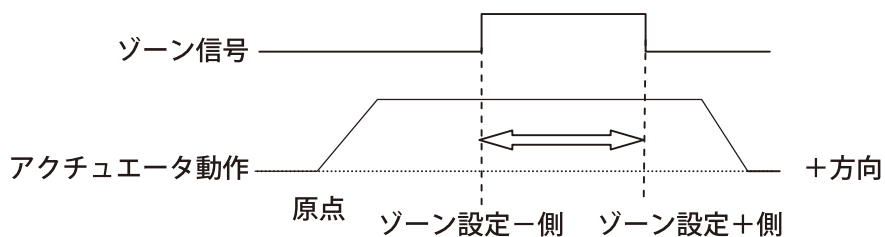
ゾーンの設定はポジションテーブル、ゾーン境界値レジスタで設定します。

ポジション／簡易直値モード 1,2 の場合は PZONE 信号をポジションテーブルで設定します。

フル直値モードの場合は PZONE 信号をゾーン境界値レジスタで設定します。

(※) ハーフ直値モード 1~3 は PZONE 信号はありません。

PZONE 信号は原点復帰完了後の移動指令で有効となり、その後はサーボ OFF 中でも有効です。



- (13) +ジョグ (JOG+) PLC 出力信号
-ジョグ (JOG-) PLC 出力信号

ジョグ動作またはイン칭ング動作での起動指令です。

+指令の時は反原点方向への動作で、-指令の時は原点方向への動作です。

① ジョグ動作

ジョグ動作は、ジョグ／イン칭ング切替え (JISL) 信号が OFF の時に動作可能です。

JOG+が ON の間は反原点方向へ動作を行い、OFF になると減速停止します。

JOG-が ON の間は原点方向への動作を行い、OFF になると減速停止します。

動作は次のパラメータの設定値で行います。

- 速度は、ジョグ速度／イン칭ング距離切替え (JVEL) 信号で指定されたパラメータの値で動作します。
JVEL 信号=OFF の場合は、パラメータ No.26 “PIO ジョグ速度” の値で動作します。
JVEL 信号=ON の場合は、パラメータ No.47 “PIO ジョグ速度 2” の値で動作します。
- 加減速度は、定格加減速度 (アクチュエータ依存) で動作します。
- JOG+と JOG-信号が両方共に ON になると減速停止します。

② イン칭ング動作

イン칭ング動作は、JISL 信号が ON の時に動作可能です。

1 回の ON 入力により、イン칭ング距離分の移動を行います。

JOG+が ON で反原点方向へ動作を行い、JOG-が ON で原点方向への動作を行います。

動作は次のパラメータの設定値で行います。

- 速度は、JVEL 信号で指定されたパラメータの値で動作します。
JVEL 信号=OFF の場合は、パラメータ No.26 “PIO ジョグ速度” の値で動作します。
JVEL 信号=ON の場合は、パラメータ No.47 “PIO ジョグ速度 2” の値で動作します。
- 移動距離は、JVEL 信号で指定されたパラメータの値で動作します。
JVEL 信号=OFF の場合は、パラメータ No.48 “PIO イン칭ング距離” の値で動作します。
JVEL 信号=ON の場合は、パラメータ No.49 “PIO イン칭ング距離 2” の値で動作します。
- 加減速度は、定格加減速度 (アクチュエータ依存) で動作します。

通常動作中は、+ジョグ信号、-ジョグ信号を ON しても通常動作を続けます。(ジョグ信号は無視されます)

一時停止中は、+ジョグ信号、-ジョグ信号を ON しても動作しません。

(注) 原点復帰完了前はソフトウェアストロークリミットが無効のため、メカエンドに衝突する危険がありますのでご注意ください。

(14) ジョグ速度／イン칭ング距離切換え (JVEL) PLC 出力信号

ジョグ動作が選択されている時のジョグ速度またはイン칭ング動作が選択されている時のイン칭ング距離を指定するパラメータの切換え信号です。

次のような関係になります。

JVEL 信号	ジョグ動作 : JISL=OFF	イン칭ング動作 : JISL=ON
OFF	パラメータ No.26 “ジョグ速度”	パラメータ No.26 “ジョグ速度” パラメータ No.48 “イン칭ング距離”
ON	パラメータ No.47 “ジョグ速度 2”	パラメータ No.47 “ジョグ速度 2” パラメータ No.49 “イン칭ング距離 2”

(15) ジョグ／イン칭ング切替え (JISL) PLC 出力信号

ジョグ動作とイン칭ング動作の切替信号です。

JISL=OFF : ジョグ動作

JISL=ON : イン칭ング動作

JISL 信号が、ジョグ移動中に ON (イン칭ング) に切り替わった場合、減速停止しイン칭ング機能となります。

JISL 信号が、イン칭ング移動中に OFF (ジョグ) に切り替わった場合、移動完了後にジョグ機能となります。

JISL 信号とジョグ速度／イン칭ング距離切替え (JVEL) 信号の ON/OFF の関係は以下の表の様になります。

		ジョグ動作	イン칭ング動作
JISL		OFF	ON
JVEL=OFF	速度	パラメータ No.26 “ジョグ速度”	パラメータ No.26 “ジョグ速度”
	移動距離	—	パラメータ No.48 “イン칭ング距離”
	加減速度	定格値 (アクチュエータ依存)	定格値 (アクチュエータ依存)
JVEL=ON	速度	パラメータ No.47 “ジョグ速度 2”	パラメータ No.47 “ジョグ速度 2”
	移動距離	—	パラメータ No.49 “イン칭ング距離 2”
	加減速度	定格値 (アクチュエータ依存)	定格値 (アクチュエータ依存)
動作		JOG+ / JOG- が ON の時	JOG+ / JOG- の立上り (ON エッジ) を検出した時

(16) 教示モード指令 (MODE) PLC 出力信号

教示モード信号 (MODES) PLC 入力信号

MODE 信号を ON にすると、通常運転モードから教示モードに切替わります。

各軸のコントローラは教示モードに切替わると MODES 信号が ON となります。

PLC 側では、MODES 信号が ON になったことを確認してから教示操作を行ってください。

(注) 通常運転モードから教示モードに切替えるためには、以下の状態となっていることが必要です。

- アクチュエータの動作 (モータ) が停止中
- +ジョグ (JOG+) 信号および-ジョグ (JOG-) 信号が OFF
- ポジションデータ取込み指令 (PWRT) 信号および位置決めスタート (CSTR) 信号が OFF

(注) PWRT 信号が OFF になっていないと通常運転モードに戻りません。

(17) ポジションデータ取込み指令 (PWRT) PLC 出力信号

ポジションデータ取込み完了 (WEND) PLC 入力信号

PWRT 信号は教示モード信号 (MODES) が ON の時に有効です。

PWRT 信号を ON にしてください (※1)、この時点の現在位置データが、PLC の指定ポジション No. レジスタに設定しているポジション No. の位置欄に書き込まれます。 (※2)

書き込みが完了すると WEND 信号が ON になります。

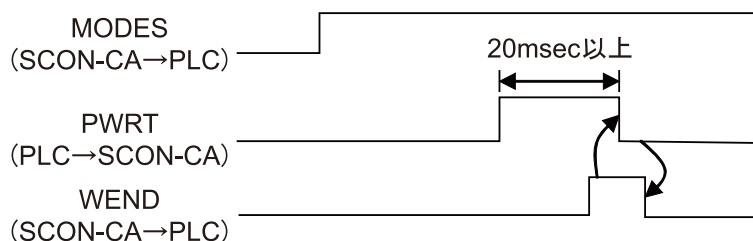
上位側 PLC では WEND 信号が ON になった後に PWRT 信号を OFF にしてください。

WEND 信号が ON する前に PWRT 信号を OFF すると WEND 信号は ON になりません。

PWRT 信号を OFF にすると WEND 信号が OFF になります。

(※1) 20msec 以上連続で ON にしてください。20msec 以下の場合は書き込みが行われなかった場合があります。

(※2) 位置以外のデータが未定義であればパラメータ初期値が書き込まれます。(コントローラ本体の取扱説明書参照)



(18) ブレーキ強制解除 (BKRL) PLC 出力信号

本信号を ON にすることでブレーキを強制的に解除させることができます。

(19) 運転モード (RMOD) PLC 出力信号運転モード状態 (RMDS) PLC 入力信号

RMOD 信号とコントローラ前面の MODE スイッチにより次の様に運転モードが選択されます。
また現在 AUTO/MANU のどちらに設定されているか RMDS 信号で確認することができます。
次に RMOD 信号と MODE スイッチの組合せによる運転モードを示します。

	コントローラ MODE スイッチが AUTO 側	コントローラ MODE スイッチが MANU 側
RMOD 信号が OFF (AUTO モード指定)	AUTO モード (RMDS=OFF)	MANU モード (RMDS=ON)
RMOD 信号が ON (MANU モード指定)	MANU モード (RMDS=ON)	MANU モード (RMDS=ON)

(注) MANU モードでは PLC から運転を行うことはできません。

(20) ポジション/簡易直値切替 (PMOD) PLC 出力信号

移動時の目標位置をコントローラのポジションテーブルに登録されている値を使用するか、
PLC の目標位置レジスタで指定されている値を使用するかを切替えます。

PMOD=OFF : ポジションテーブル使用

PMOD=ON : 目標位置レジスタの値使用

(21) 押付け指定 (PUSH) PLC 出力信号

本信号を ON にしてから移動指令を行うと押付け動作となります。

本信号を OFF に設定すると通常位置決め動作となります。

(本信号の設定タイミングは、3.8 運転の (2) ハーフ直値モード 1~3 での運転参照)

(22) 押付け方向指定 (DIR) PLC 出力信号

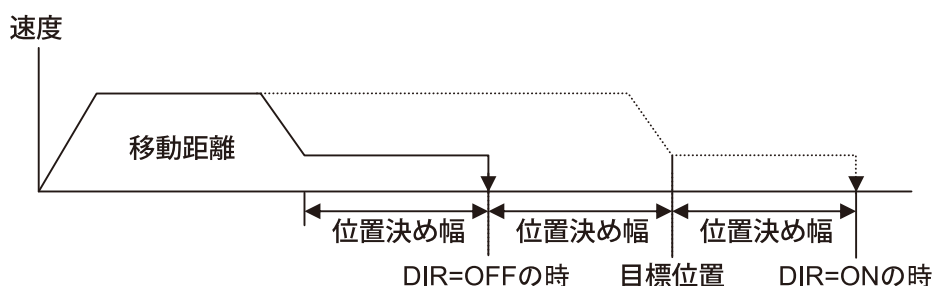
押付けを行う方向を指定します。

本信号を OFF にすると目標位置から位置決め幅を減算した値に向かって、押付けを行います。

本信号を ON にすると目標位置に位置決め幅を加算した値に向かって、押付けを行います。

通常位置決め動作の場合は、本信号は無効になります。

(本信号の設定タイミングは、3.8 運転の (2) ハーフ直値モード 1~3 での運転参照)



(23) 押付け空振り (PSFL) PLC 入力信号

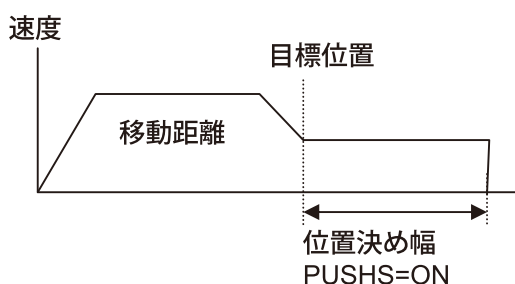
押付け動作を行ったが、コントローラのポジションテーブルの位置決め幅または PLC の位置決め幅レジスタで設定した距離を移動してもワークに押し当たらなかった時に ON となります。
(本信号の設定タイミングは、3.8 運転の(2) ハーフ直値モード 1~3 での運転参照)

(24) インクリメンタル指定 (INC) PLC 出力信号

本信号が ON の場合に移動指令を行うと現在の位置を基準とし、PLC の目標位置レジスタに入力された値の移動を行います。(インクリメンタル移動)
本信号が OFF の場合には PLC の目標位置レジスタの値の位置に移動します。

(25) 押付け動作中 (PUSHS) PLC 入力信号

本信号は押付け動作中に ON となります。



本信号は、押付け空振りまたは一時停止または次の移動指令またはサーボ OFF になると OFF となります。
(本信号の設定タイミングは、3.8 運転の(2) ハーフ直値モード 1~3 での運転参照)

(26) 負荷出力判定 (LOAD) PLC 入力信号

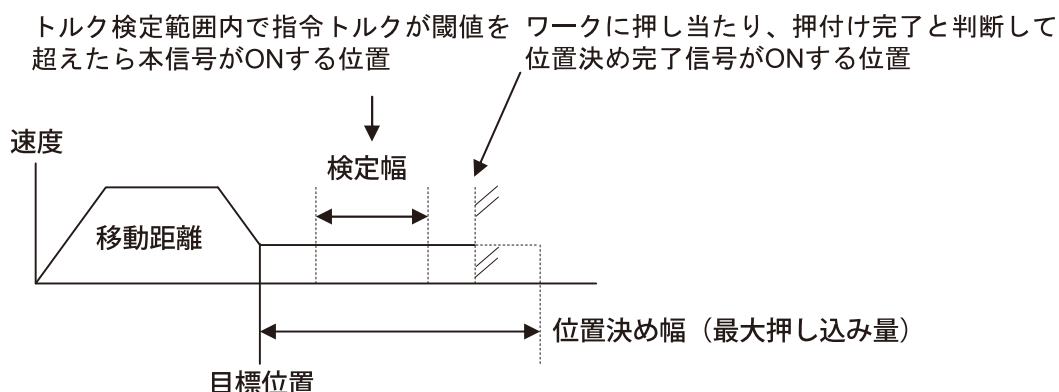
本信号は押付け動作の場合だけ有効です。

圧入用途で使用するには、押付け動作中に設定した負荷閾値に達したかを知る必要があります。負荷閾値と検定幅範囲は PLC で設定し、検定幅範囲内で指令トルク（モータ電流）が閾値を超えた時、本信号は ON します。

本信号は、指令トルクが合計された一定時間、閾値を超えたかで判断を行います。

この処理手順は押し付け判定と同じです。負荷出力の判定時間はパラメータ No.50 “負荷出力判定時間” で任意に変更することが可能です。

本信号は次の移動指令を受けるまで保持されます。



- 押付け速度はパラメータ No.34 “押付け速度” で設定します。
出荷時はアクチュエータ特性により個別設定されています。
ワークの材質、形状などを考慮して適切な速度を指定してください。
- パラメータ No.50 “負荷出力判定時間” を設定します。
- 閾値検定幅は PLC のゾーン境界値+レジスタ、ゾーン境界値-レジスタで設定します。
- 閾値は PLC の負荷電流閾値レジスタで設定します。
- 位置決め幅は、PLC の位置決め幅レジスタで設定します。
ワークの機械的バラつきを考慮して最後方の位置より少し長めに設定してください。
詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

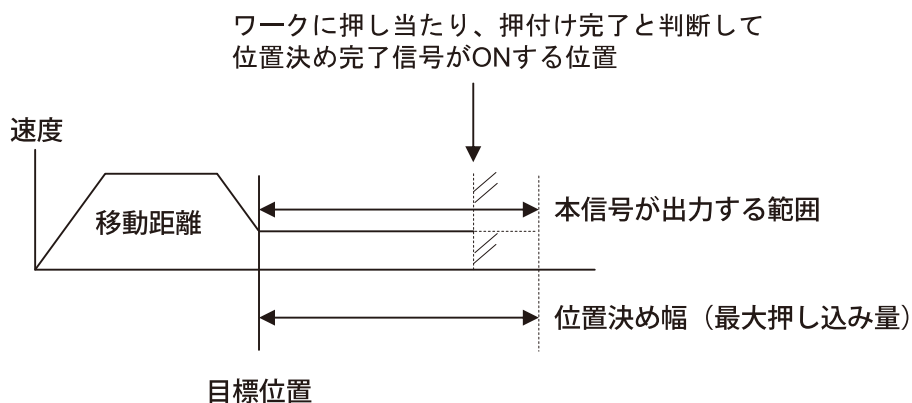


注意：アクチュエータは、電流制限値で決定される停止時押付け電流でワークを押し続けています。
停止している状態ではありませんので、この時の取扱いには充分気をつけてください。

(27) トルクレベル (TRQS) PLC 入力信号

本信号は押付け動作の場合だけ有効です。

押付け動作中(位置決め幅移動中)にモータ電流が負荷閾値に達した場合、本信号がONします。電流をレベルで監視しているので、電流が変化すれば本信号のON、OFFの状態も変化します。押付けに使える速度はモータとリードによって異なるため、パラメータを調整する必要があります。



- 押付け速度はパラメータ No.34 “押付け速度” で設定します。
出荷時はアクチュエータ特性により個別設定されています。
ワークの材質、形状などを考慮して適切な速度を指定してください。
- パラメータ No.50 “負荷出力判定時間” を設定します。
- 閾値は PLC の負荷電流閾値レジスタで設定します。
- 位置決め幅は、PLC の位置決め幅レジスタで設定します。
ワークの機械的バラつきを考慮して最後方の位置より少し長めに設定してください。
詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。



注意：アクチュエータは、電流制限値で決定される停止時押付け電流でワークを押し続けています。
停止している状態ではありませんので、この時の取扱いには充分気をつけてください。

(28) アブソリュートバッテリー電圧低下警告 (BALM) PLC 入力信号

アブソリュート仕様で、アブソリュートバッテリー電圧正常時、またはインクリメンタル仕様の場合には OFF になります。

アブソリュートバッテリー電圧が 3.1V まで低下すると、本信号は ON します。そのまま使用を続け、電圧が 2.5V まで低下すると、コントローラは位置情報を保持できなくなります。(アブソリュート仕様で、本信号が ON したら速やかにバッテリーを交換してください。)

(29) 制振制御モード選択 0,1 (NTC0、NTC1) PLC 出力信号

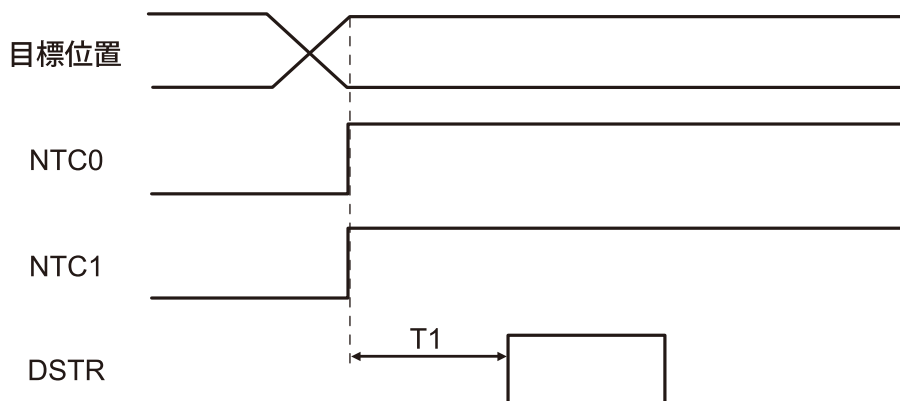
制振制御機能は、当社アクチュエータによって引き起こされる負荷の振動を抑制します。振動数を測定し、パラメータセットに設定します(最大3種)。登録されたパラメータセットの中から、本信号の組合せで1種類を選択して使用します。

詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

NTC1	NTC0	機能	備考
OFF	OFF	制振制御を使用しない	出荷時設定
OFF	ON	パラメータセット 1 選択	
ON	OFF	パラメータセット 2 選択	
ON	ON	パラメータセット 3 選択	

入カタイミング

下図に NTC0・NTC1 信号入カタイミングを示します。



※T1:0ms以上にする

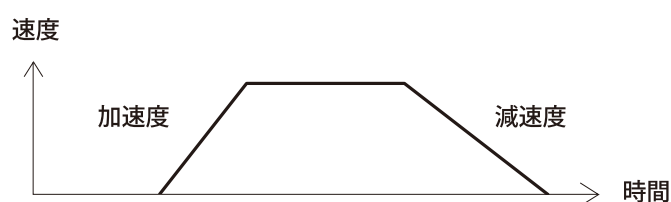
⚠注意：移動指令 (DSTR) 認識時に NTC0・NTC1 信号状態を取込むため、移動中に NTC0・NTC1 信号を ON・OFF 行っても無視されます。

(30) 加減速モード (MOD1、MOD0) PLC 出力信号

加減速パターン特性を選択するための信号です。いずれかをアクチュエータの移動指令前に選択してください。

MOD1	MOD0	パターン名	備考
OFF	OFF	台形パターン	出荷時設定
OFF	ON	S 字モーション	
ON	OFF	一次遅れフィルタ	
ON	ON	使用できません。	

台形パターン



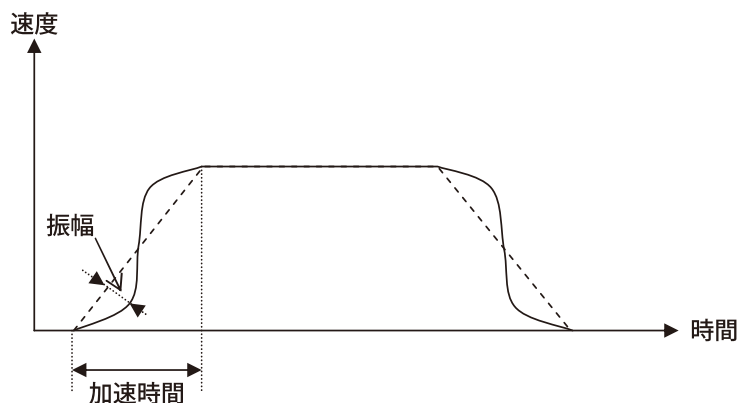
※加速度、減速度はポジションデータの「加速度」「減速度」欄で設定します。

S 字モーション

ポジションテーブルの「加減速モード」欄の値を 1 (S 字モーション) に設定した場合に、S 字モーションの度合いをパラメータ No.56 で定義しています。

設定単位は%で、設定範囲は 0~100 です。

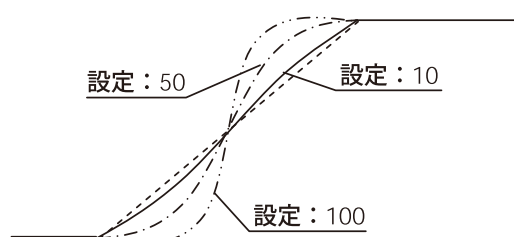
出荷時は、0%を設定 (S 字モーション無効) しています。



S 字は、加速時間を 1 周期とする正弦波形となります。

パラメータ No.56 で振幅の度合いを指定します。

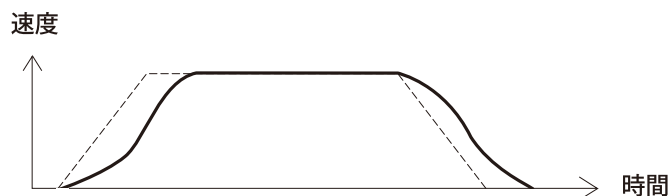
パラメータ No.56 の設定 [%]	振幅の度合い
0 [出荷時設定]	S 字モーション無し (下図の点線)
100	正弦波の振幅 × 1 (下図の 2 点鎖線)
50	正弦波の振幅 × 0.5 (下図の 1 点鎖線)
10	正弦波の振幅 × 0.1 (下図の実線)



- ⚠ 注意：① アクチュエータが動作中に、S 字モーションを設定したポジション指令、および直値指令を行っても S 字モーション制御とはなりません。アクチュエータが停止した状態で指令してください。
- ② ロータリアクチュエータでインデックスモードを設定している場合、S 字モーション制御は行われず、台形制御となります。
- ③ 加速時間、または減速時間が 2 秒以内になるように加減速度の設定を行ってください。
- ④ 加速中、または減速中に一時停止を入力することは禁止します。過度な速度変化を伴う場合があります。
- ⑤ 大きな値を設定すると、加減速期間の中間付近で大きな加減速度となります。アクチュエータの定格加減速度を超えないようにしてください。

一次遅れフィルタ

直線加減速(台形パターン)より緩やかな加減速カーブを描きます。
加減速時にワークに微振動を与えたくない用途にご使用ください。

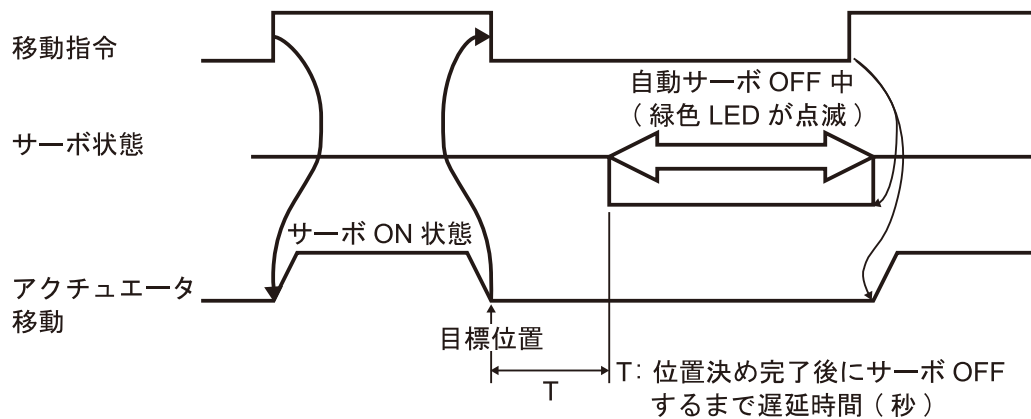


※一次遅れの度合いはパラメータ No.55 “位置指令一次フィルタ時定数”で設定します。最小入力単位は 0.1msec で、設定範囲は 0.0～100.0 です。
0 を設定すると一次遅れフィルタは無効となります。
但し、パソコンなどのティーチングツール操作でのジョグ、インチング動作には反映されません。

(31) 停止モード選択 (ASC0、ASC1) PLC 出力信号

位置決め完了し、次のポジションへ移動するまでの待機時の停止モードを選択します。
停止時間が長い場合、自動的にサーボ OFF して電力消費量を低減します。
詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

ASO1	ASO0	機能	備考
OFF	OFF	無効	出荷時設定
OFF	ON	自動サーボ OFF 方式 下図の T は、パラメータ No.36 が有効	
ON	OFF	自動サーボ OFF 方式 下図の T は、パラメータ No.37 が有効	
ON	ON	自動サーボ OFF 方式 下図の T は、パラメータ No.38 が有効	



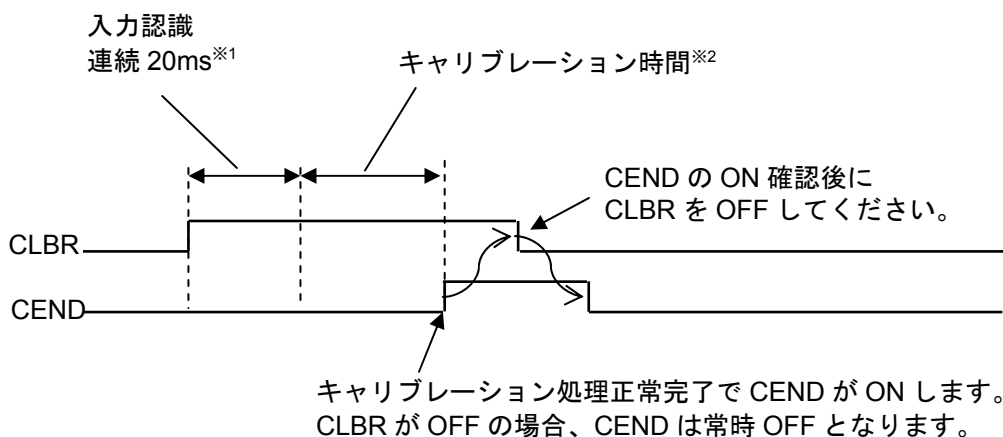
(32) ロードセルキャリブレーション指令 (CLBR) PLC 出力信号ロードセルキャリブレーション完了 (CEND) PLC 入力信号

ロードセルは工場出荷時、無負荷の状態を ON とするよう設定していますが、負荷を取付けた状態を基準 (ON) としたい場合などには、キャリブレーションを行ってください。

その他にも必要な場合 (再調整、点検等)、状況に応じて実施してください。

- ① 運転を停止してください (軸動作中、押付け中、一時停止中はキャリブレーションできずに 0E1 : ロードセルキャリブレーション異常アラームとなります)。
- ② ロードセルキャリブレーション信号 (CLBR) を 20ms 以上連続 ON してください。
- ③ キャリブレーションが完了するとキャリブレーション完了信号 (CEND) が ON しますので、その後 CLBR 信号を OFF してください。
キャリブレーションが正常に終了しなかった場合、0E1 : ロードセルキャリブレーション異常アラームとなります。

⚠ 注意 : CLBR 信号が ON 状態では、通常運転指令は受け付けられません。



※1 この間に CLBR を OFF した場合は、入力認識前のためキャリブレーション処理を行いません。

※2 この間に CLBR を OFF した場合、アラームとなります。

(33) サーボゲインパラメータセット選択 (GSL0、GSL1) PLC 出力信号

あらかじめ、サーボゲインパラメータ (6 種類) を 4 セット登録しておくことで、ポジション移動ごとに選択したセットで運転可能です。

詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

GSL1	GSL0	機能	備考
OFF	OFF	パラメータセット 0 選択	出荷時設定
OFF	ON	パラメータセット 1 選択	
ON	OFF	パラメータセット 2 選択	
ON	ON	パラメータセット 3 選択	

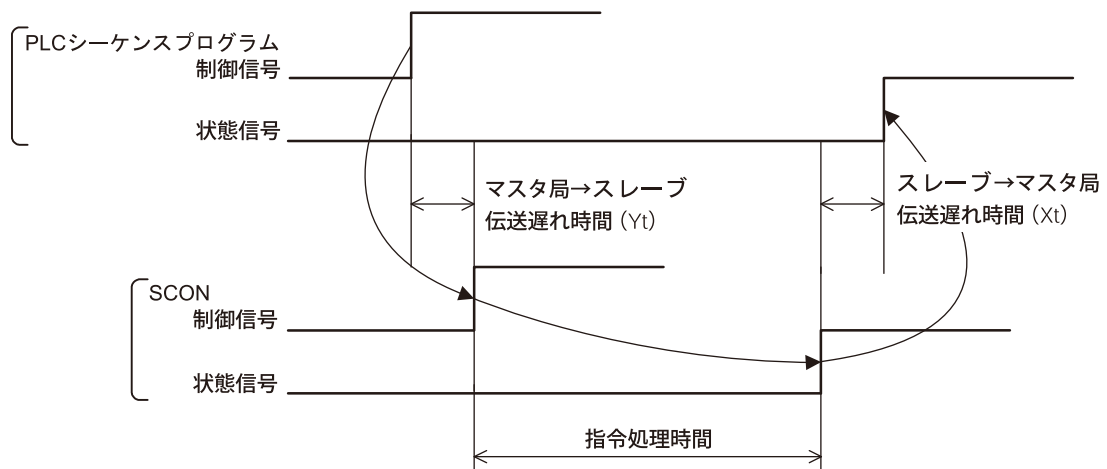
3.7 入出力信号のタイミング

PLCのシーケンスプログラムでアクチュエータの運転を行うためにいずれかの制御信号をONし、その応答(状態)信号がPLCに帰ってくるまでの最大応答時間は次の式で表されます。

最大応答時間(msec) = $Y_t + X_t + 3 \times \text{指令処理時間}$ (動作時間等)

Y_t : マスタ局→スレーブ伝送遅れ時間
 X_t : スレーブ→マスタ局伝送遅れ時間
 } フィールドネットワーク伝送遅れ時間

マスタ局→スレーブ伝送遅れ時間(Y_t)、スレーブ→マスタ局伝送遅れ時間(X_t)については、EtherCAT(R) マスタユニットおよび搭載されるPLCの取扱説明書をご参照ください。



3.8 運転

次にポジション／簡易直値モード 1, 2、ハーフ直値モード 1～3 およびフル直値モードの基本動作例のタイミングを示します。

リモート I/O モード 1～3 についてはコントローラの取扱説明書をご参照ください。

(リモート I/O モード 2, 3 の現在位置、指令電流またはカフィードバックデータの読取りは適宜 PLC の各バイトから読取ってください。)

(1) ポジション／簡易直値モード 1, 2 での運転

PLC の目標位置レジスタに位置データを書込み、速度、加減速度、位置決め幅、押付け電流制限値等はポジションテーブルで指定して運転します。

● 動作例 (通常位置決め動作)

(準備) 目標位置以外のポジションデータ (速度、加減速度、位置決め幅等) をポジションテーブルに設定します。

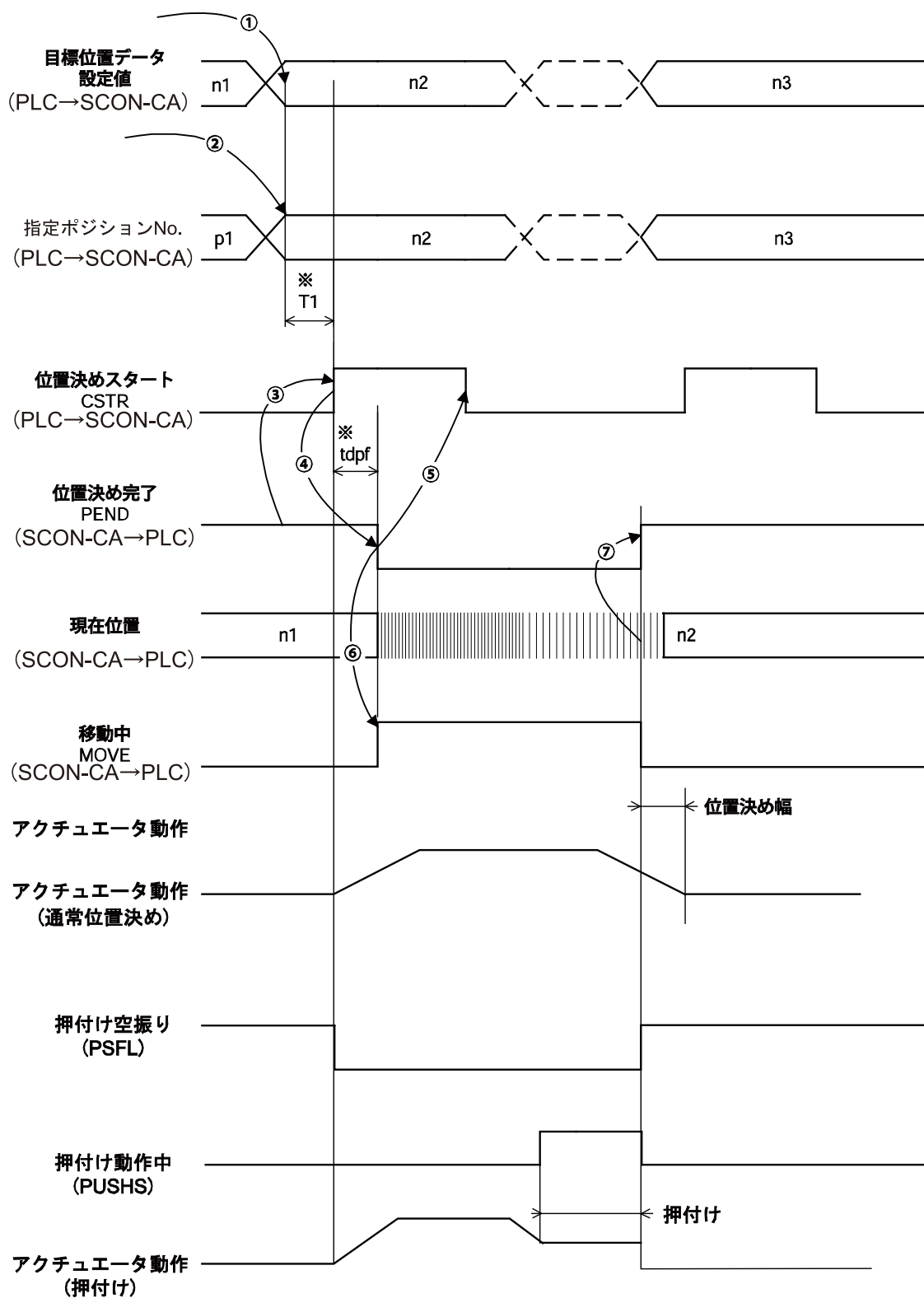
ポジション／簡易直値切替 (PMOD) 信号を ON します。

- ① 目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ② 速度、加減速度等を設定したポジション No. を指定ポジション No. レジスタに設定します。
- ③ 位置決め完了 (PEND) 信号が ON になっているまたは、移動中信号 (MOVE) が OFF の状態で、位置決めスタート (CSTR) 信号を ON にします。
①、② で設定したデータは CSTR 信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
- ④ CSTR 信号が ON になった後、tdpf 後に PEND が OFF します。
- ⑤ PEND 信号が OFF または MOVE 信号が ON になったことを確認してから CSTR 信号を OFF にします。目標位置レジスタの値は CSTR 信号を OFF にするまで変更しないでください。
- ⑥ PEND 信号が OFF になるのと同時に MOVE 信号が ON になります。
- ⑦ 現在位置データは常時更新されています。残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、CSTR 信号が OFF の場合に PEND 信号が ON になり、完了ポジション No. が完了ポジション No. レジスタに出力されます。
従って、位置決め完了時の完了ポジション No. レジスタの読取りは、PEND 信号が ON になり適当な時間 (残移動量移動時間) をおいてから確認してください。
また現在位置データは停止中でも振動等により多少変化することがあります。
- ⑧ 移動中に目標位置データを変更することが可能です。
目標位置を変更するには、目標位置データの変更を行って PLC のスキャンタイム以上経過してから CSTR 信号を ON にします。
CSTR 信号は PLC のスキャンタイム以上経過してから値を変更してください。

● 動作例 (押付け動作)

押付け動作は (準備) の段階でポジションデータの押付け欄に電流制限値を設定します。

押付け欄に値を設定したポジション No. に位置決めを行うと押付け動作となります。



※T1：上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、 $T1 \geq 0\text{ms}$ となるようにしてください。

※ $Yt + Xt \leq tdpf \leq Yt + Xt + 3 \text{ (msec)}$

(2) ハーフ直値モード 1~3 での運転

PLC の目標位置レジスタ、位置決め幅レジスタ、指定速度レジスタ、加減速度レジスタおよび押付け電流制限指定レジスタにデータを指定して運転します。

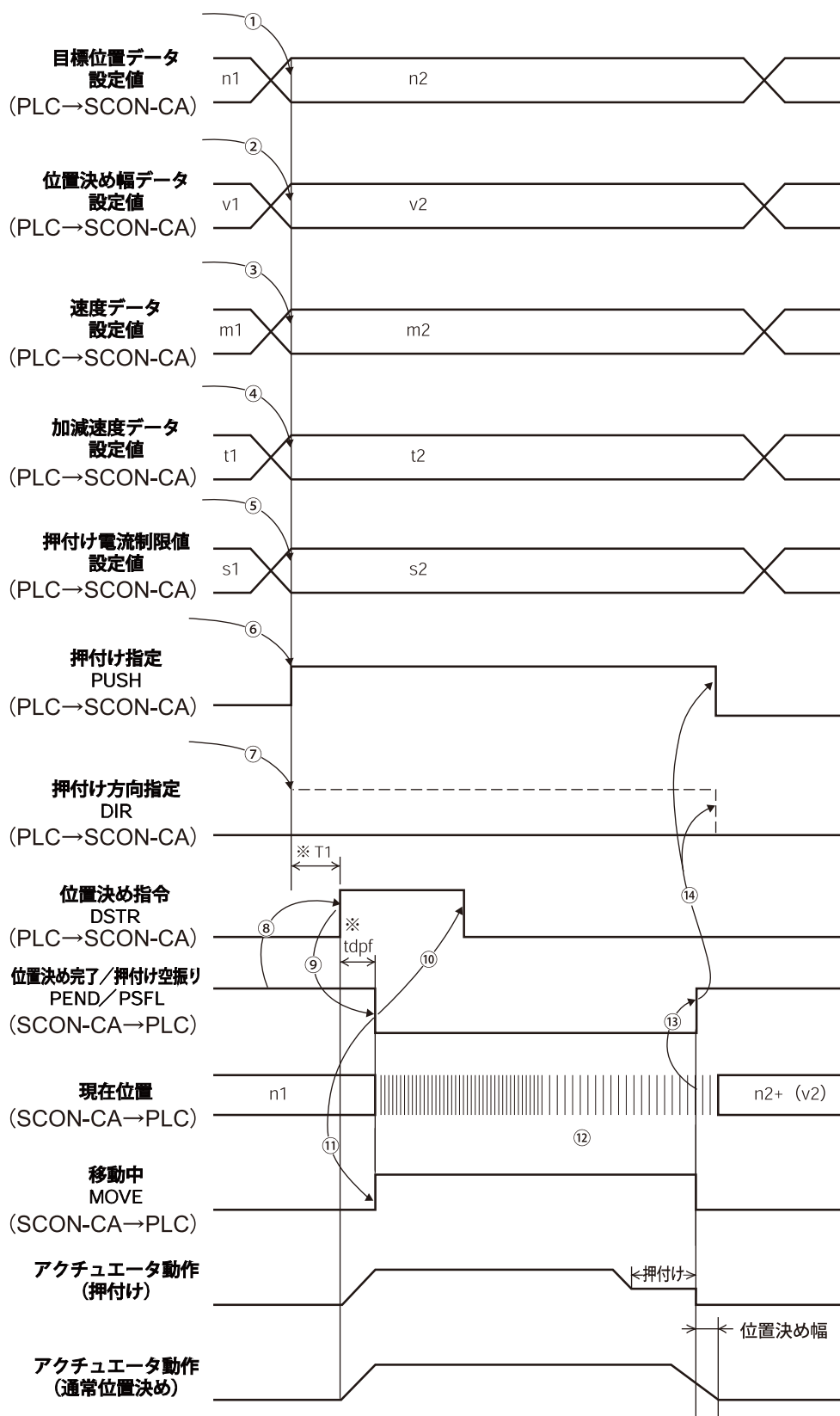
● 動作例 (押付け動作)

- ① 目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ② 位置決め幅データを位置決め幅レジスタに設定します。
- ③ 速度データを速度レジスタに設定します。
- ④ 加減速度データを加減速度レジスタに設定します。
- ⑤ 押付け電流制限データを押付け電流制限値レジスタに設定します。
- ⑥ 押付け指定 (PUSH) 信号を ON にします。
- ⑦ 押付け方向指定 (DIR) 信号で押付け方向を指定します。(3.6.11 (22) 参照)
- ⑧ 位置決め完了 (PEND) 信号が ON になっているまたは、移動中信号 (MOVE) が OFF の状態で、位置決め指令 (DSTR) 信号を ON にします。
①~⑤で設定したデータは DSTR 信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
- ⑨ DSTR 信号が ON になった後、tdpf 後に PEND が OFF します。
- ⑩ PEND 信号が OFF または MOVE 信号が ON になったことを確認してから DSTR 信号を OFF にします。各レジスタの値は DSTR 信号を OFF にするまで変更しないでください。
- ⑪ PEND 信号が OFF になるのと同時に MOVE 信号が ON になります。
- ⑫ 現在位置データは常時更新されています。
- ⑬ PEND 信号は DSTR 信号が OFF で、モータの電流が⑤で設定した電流制限値に達すると ON になります。(押付け完了)
②で設定した位置決め幅に達しても、モータの電流が⑤で設定した電流制限値に到達しない場合は、押付け空振り (PSFL) 信号が ON になります。この場合、PEND 信号は ON になりません。(押付け空振り)
- ⑭ PEND 信号または PSFL 信号が ON となった後、PUSH 信号を OFF にします。

● 動作例 (通常位置決め動作)

通常位置決め動作は、⑥の信号を OFF に設定します。

残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、DSTR 信号が OFF の場合に PEND 信号が ON になります。



※T1：上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、
T1≥0ms となるようにしてください。

※Yt+Xt≤tdpf≤Yt+Xt+3 (msec)

(3) フル直値モードでの運転

PLC の目標位置レジスタ、位置決め幅レジスタ等位置決めに必要な条件を全て指定して運転します。

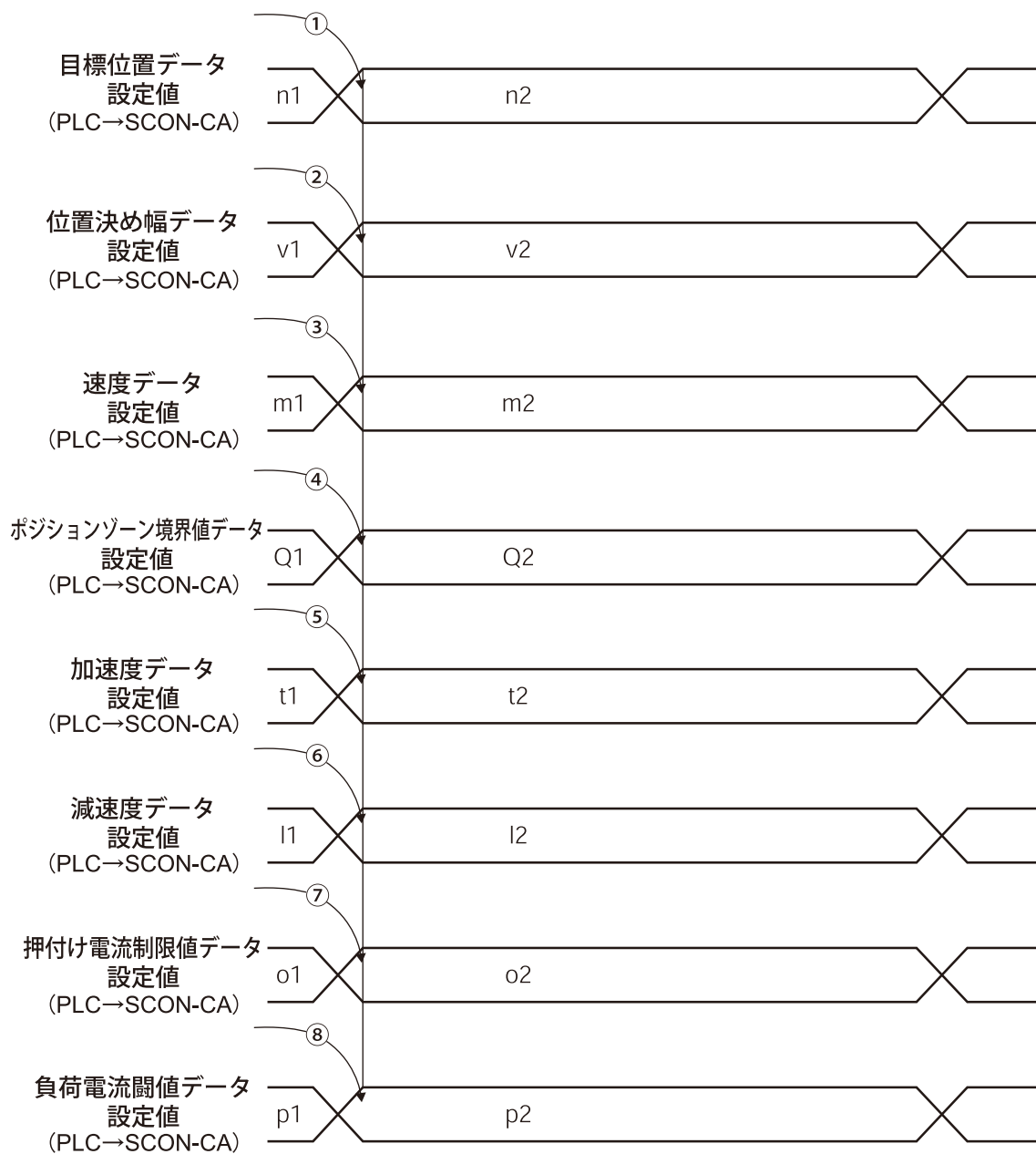
● 動作例 (押付け動作)

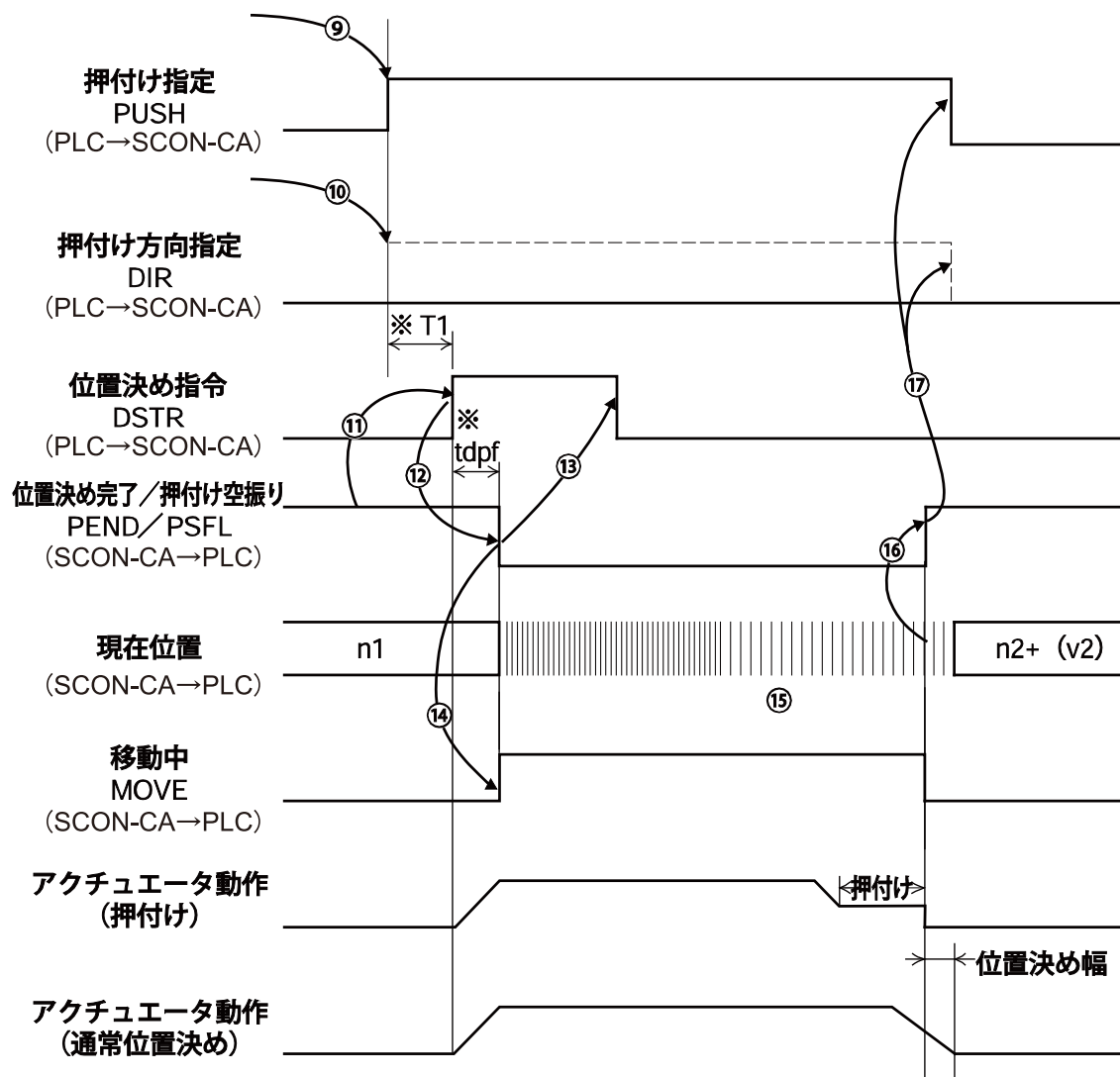
- ① 目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ② 位置決め幅データを位置決め幅レジスタに設定します。
- ③ 速度データを速度レジスタに設定します。
- ④ ポジションゾーン出力の境界値データをゾーン境界値+レジスタ、ゾーン境界値-レジスタに設定します。
- ⑤ 加速度データを加速度レジスタに設定します。
- ⑥ 減速度データを減速度レジスタに設定します。
- ⑦ 押付け電流制限値データを押付け電流制限値レジスタに設定します。
- ⑧ 負荷電流閾値データを負荷電流閾値指定レジスタに設定します。
- ⑨ 押付け指定 (PUSH) 信号を ON にします。
- ⑩ 押付け方向指定 (DIR) 信号で押付け方向を指定します。(3.6.11 (22) 参照)
- ⑪ 位置決め完了 (PEND) 信号が ON になっているまたは、移動中信号 (MOVE) が OFF の状態で、位置決め指令 (DSTR) 信号を ON にします。
①～⑧で設定したデータは DSTR 信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
- ⑫ DSTR 信号が ON になった後、tpdf 後に PEND が OFF します。
- ⑬ PEND 信号が OFF または MOVE 信号が ON になったことを確認してから DSTR 信号を OFF にします。各レジスタの値は DSTR 信号を OFF にするまで変更しないでください。
- ⑭ PEND 信号が OFF になると同時に MOVE 信号が ON になります。
- ⑮ 現在位置データは常時更新されています。
- ⑯ PEND 信号は DSTR 信号が OFF で、モータの電流が⑦で設定した電流制限値に達すると ON になります。(押付け完了)
②で設定した位置決め幅に達しても、モータの電流が⑦で設定した電流制限値に到達しない場合は、押付け空振り (PSFL) 信号が ON になります。この場合、PEND 信号は ON になりません。(押付け空振り)
- ⑰ PEND 信号または PSFL 信号が ON となった後、PUSH 信号を OFF にします。

● 動作例 (通常位置決め動作)

通常位置決め動作は、⑨の信号を OFF に設定します。

残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、DSTR 信号が OFF の場合に PEND 信号が ON になります。





※T1：上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、
 $T1 \geq 0\text{ms}$ となるようにしてください。
 ※ $Yt + Xt \leq tdpf \leq Yt + Xt + 3 (\text{msec})$

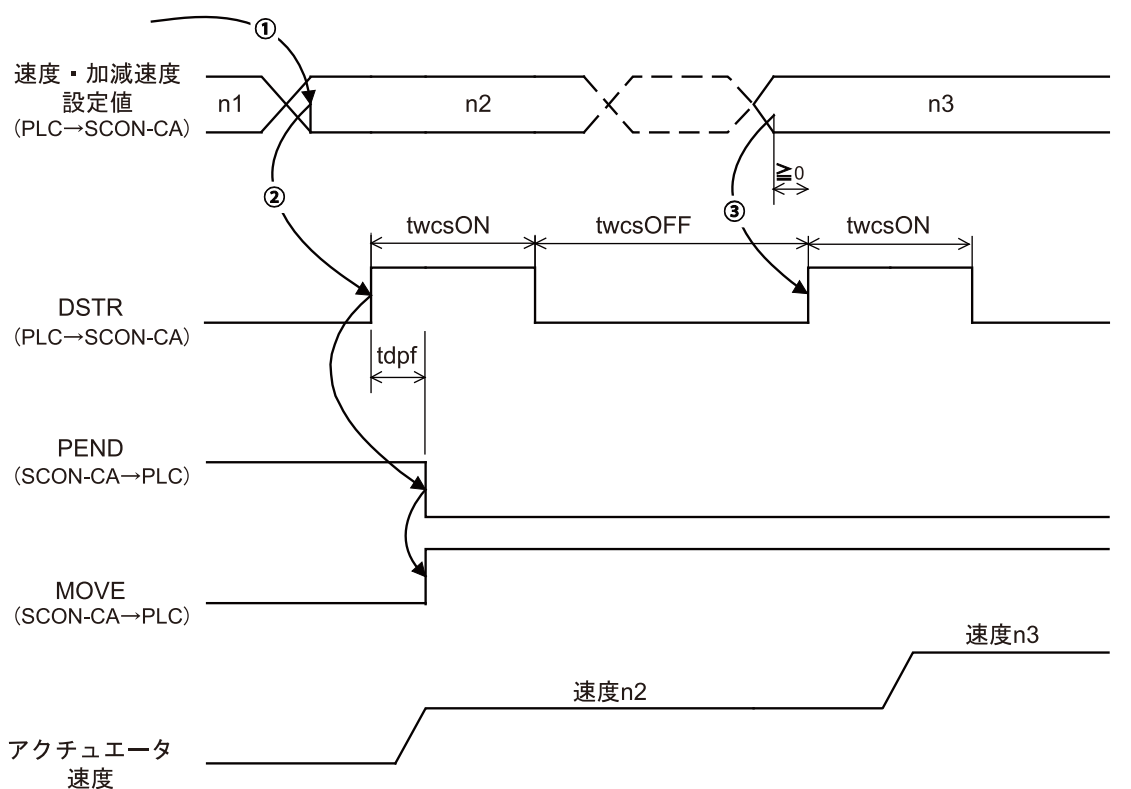
(4) 移動中のデータ変更

ハーフ直値モード1～3、フル直値モードは移動中に目標位置データ、加減速データ、速度データ、位置決め幅、押付時電流制限値の中で各レジスタで設定している値を変更することが可能です。

データ変更を行った後、位置決め指令(DSTR)をtdpf以上“ON”にします。

また、DSTRを“OFF”にした後、次のDSTRを“ON”にするまでの時間はtwcsON+twcsOFF以上開けてください。

下図に速度・加減速度を変更した例を示します。



$$\begin{aligned} twcsON &\geq Yt + Xt + 3 \text{ (msec)} \\ twcsOFF &\geq Yt + Xt + 3 \text{ (msec)} \\ ※ Yt + Xt &\leq tpdf \leq Yt + Xt + 3 \text{ (msec)} \end{aligned}$$

⚠ 注意：

1. 速度の設定がされていない場合、または設定が0の場合は停止したままとなり、アラームにはなりません。
2. 移動中に、速度設定を0に変更した場合は減速停止し、アラームにはなりません。
3. 移動中に、加減速度／速度データだけを変更する場合でも目標位置データの設定が必要です。
4. 移動中に、目標位置だけを変更する場合でも、加減速度・速度データの設定が必要です。

3.9 Ethernet/IP 関連パラメータ

Ethernet/IP に関連するパラメータは No.84～No.87 および No.90 です。

区分：C：外部インタフェースの関連

No.	区分	シンボル	名称	工場出荷時の初期値
1			パラメータ No.1～No.83 まではコントローラの取扱説明書をご参照してください。	
}				
83				
84	C	FMOD	フィールドバス動作モード	0
86	C	FBRs	フィールドバス通信速度	0
87	C	NTYP	ネットワークタイプ	7
90	C	FMIO	フィールドバス入出力フォーマット	3
140	C	IPAD	IP アドレス	192.168.0.1
141	C	SNMK	サブネットマスク	255.255.255.0
141	C	DFGW	デフォルトゲートウェイ	192.168.0.0

● フィールドバス動作モード (No.84 FMOD)

パラメータ No.84 に動作モードを 0～8 で指定します。

パラメータ No.84 設定値	モード名	占有バイト数	内容
0 (出荷時設定)	リモート I/O モード	2	PIO (24V 入出力) による運転を Ethernet/IP によって行います。
1	ポジション／ 簡易直値モード	8	目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータの値で運転できます。その他の運転に必要な値はポジションデータに設定します。
2	ハーフ直値モード	16	目標位置以外に速度、加減速度、押付け電流値を直接数値で指定して運転を行います。
3	フル直値モード	32	位置制御に関する全ての値を直接数値で指定して運転を行います。
4	リモート I/O モード 2	12	リモート I/O モードの機能に現在位置と現在速度読取り機能を追加したものです。
5	ポジション／ 簡易直値モード 2	8	ポジション/簡易直値モードで力制御を行う場合に設定します。
6	ハーフ直値モード 2	16	ハーフ直値モードで力制御を行う場合に設定します。
7	リモート I/O モード 3	12	リモート I/O モードで力制御を行う場合に設定します。
8	ハーフ直値モード 3	16	ハーフ直値モードで、サーボゲイン切替や、制振制御パラメータ切替を行う場合に設定します。

● フィールドバス通信速度 (No.86 FBRS)

パラメータ No.86 に通信速度を指定します。

設定値	通信速度
0 (出荷時設定)	自動ネゴシエーション (推奨)
1	10Mbps 半二重
2	10Mbps 全二重
3	100Mbps 半二重
4	100Mbps 全二重
上記以外	ボーレート設定エラー

● ネットワークタイプ (No.87 NTYP)

パラメータ No.87 にネットワークモジュールの種別を指定します。初期値から変更しないでください。

● フィールドバス入出力フォーマット (No.90 FMIO)

PLC 内のアドレスは、コントローラに設定したノードアドレスと各動作モードの占有バイトで 16 点 (2 バイト) 単位で割付けられます。

パラメータ No.90 の設定を変更することによって、PLC の入出力エリアとの通信域で 2 ワード内のデータをバイト単位で入替えて送受信することができます。

パラメータ No.90 設定値	内容
0	入替えは行いません。PLC にはそのまま送信されます。(例 i 参照)
1	上位ワードの上位バイトと下位バイトを入替え、また下位ワードの上位バイトと下位バイトを入替えます。(例 ii 参照)
2	ワードレジスタの場合、上位ワードと下位ワードを入替えます。(例 iii 参照)
3(出荷時設定)	上位ワードの上位バイトと下位バイトを入替え、また下位ワードの上位バイトと下位バイトを入替えます。ワードレジスタの場合、さらに上位ワードと下位ワードを入替えます。(例 iv 参照)

(例 i) 設定値= “0” にした場合

●をON、○をOFFとします。

SCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

↑

PLC : 出力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			



SCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			



↓

PLC : 入力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

(例ii) 設定値= “1”にした場合

●をON、○をOFFとします。

SCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0															
ON/OFF	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○															
16進 データ	3				4				1				2				C				D				A				B																		
																																															
PLC : 出力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0															
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○															
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D																		

SCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0																															
	ON/OFF	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	●	●																															
	16進 データ	3				4				1				2				C				D				A				B																																	
																																																															
PLC : 入力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0																															
	ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																															
	16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D																																	

(例iii) 設定値= “2” にした場合

●をON、○をOFFとします。

SCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	A				B				C				D				1				2				3				4			

PLC : 出力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

SCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○
	A				B				C				D				1				2				3				4			

</

(例iv) 設定値= “3” にした場合

●をON、○をOFFとします。

SCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
ON/OFF	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
16進 データ	C				D				A				B				3				4				1				2				

PLC : 出力CH	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

SCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
ON/OFF	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
16進 データ	C				D				A				B				3				4				1				2				

- IP アドレス (No.140 NADR)

パラメータ No.140 に IP アドレスを指定します。

設定範囲 : 0.0.0.0～255.255.255.255 (出荷時設定 : 192.168.0.1)

- サブネットマスク (No.141 SNMK)

パラメータ No.141 にサブネットマスクを指定します。

設定可能範囲 : 0.0.0.0～255.255.255.255 (出荷時設定 : 255.255.255.0)

- デフォルトゲートウェイ (No.142 DFGW)

パラメータ No.142 にデフォルトゲートウェイを指定します。

設定可能範囲 : 0.0.0.0～255.255.255.255 (出荷時設定 : 192.168.0.0)

3.10 トラブルシューティング

● アラーム内容と原因・対策

アラーム発生時、リモート I/O モード 1～3 では完了ポジション番号 (PM1～PM8 の 4 ビット) が簡易アラームコードを示します。

ポジション／簡易直値モード 1,2 では (n+4、n+5) バイトに簡易アラームコードが出力されます。

ハーフ直値モード 1～3、フル直値モードでは (n+12、n+13) バイトにアラームコードが出力されます。

- ① PLC のモニタ機能等でアラームコードを確認するか、RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールを接続してステータスマニタで確認してください。
- ② 読み取ったアラームコードからコントローラの取扱説明書のアラーム内容一覧を検索します。
- ③ 該当のアラームコードの記述に従い対処してください。
次のアラームコードについては下表に従い対処してください。

コード	エラー名称	ID (※1)	RES (※2)	原因／対策
0F2	フィールドバス モジュール異常	05	×	原因：フィールドバスモジュールの異常が検出された 対策：パラメータを確認してください。
0F3	フィールドバスモジュール 未検出エラー	04	×	原因：モジュールが検出できなかった場合 対策：電源を再投入してください。解消されない場合は当社までご連絡ください。

(※1) ID→簡易アラームコード

(※2) RES→アラームリセット可／不可 ○：アラームリセット可／×：アラームリセット不可

4. 付録

オムロン社製マスタ、およびキーエンス社製マスタとの接続設定例を示します。

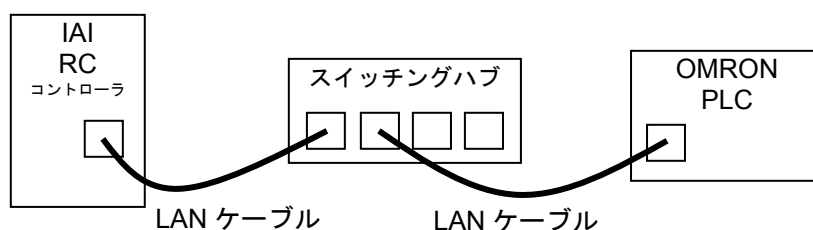
4.1 オムロン社製マスタとの接続設定例

オムロン社製マスタとの接続には、以下の機器およびソフトウェアが必要となります。

- ① PLC CPU ユニット : (例) CJ2M-CPU31 (EtherNet/IP 内蔵)
- ② 電源ユニット : (例) PA202
- ③ 設定ソフト : CX-One V4.0 以降 CX-Programmer V9.12 以降
- ④ 設定ソフト : CX-One V4.0 以降 Network Configurator V3.20 以降
- ⑤ 市販のスイッチングハブ(100BASE-TX 対応)
- ⑥ EtherNet/IP 仕様の IAI コントローラ
- ⑦ ストレート LAN ケーブル(カテゴリ 5、5e 以上) × 2 本

4.1.1 接続例

下図の構成で接続した場合の設定例を示します。



(注) 電源やアクチュエータ等は省略しています。

以降、次の設定で接続確立する方法を示します。

項目	コントローラ	PLC	備考
IP アドレス	192.168.0.1	192.168.0.10	
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	0.0.0.0	デフォルトゲートウェイ無効
通信速度	自動設定	自動設定	リンク確立時は 100Mbps/全二重 (スイッチングハブの仕様による)

4.1.2 コントローラ設定

コントローラを非常停止状態にし、MODE スイッチを MANU にして起動してください。

(PLC からの出力信号によるモータ駆動防止のため)

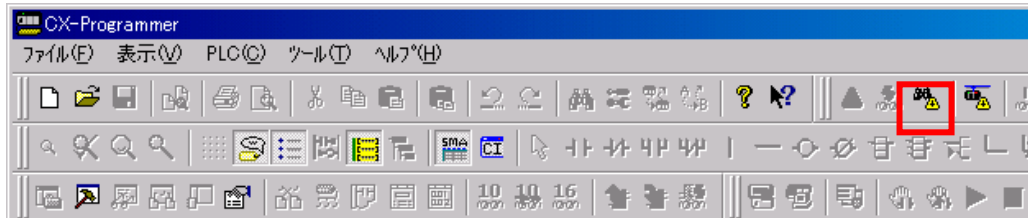
RC 用パソコン対応ソフトを起動してコントローラのユーザパラメータを設定してください。

(全て出荷時設定値)

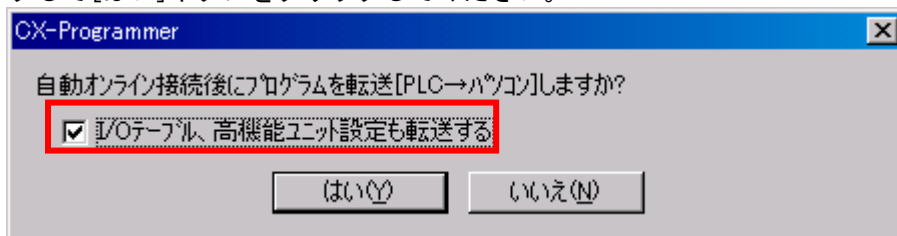
No.	名称	設定値	備考
25	PIO パターン選択	0	標準モード
84	フィールドバス動作モード	0	リモート I/O モード (入出力サイズ:2byte/2byte)
86	フィールドバス通信速度	0	自動ネゴシエーション
87	ネットワークタイプ	7	EtherNet/IP
90	フィールドバス入出力フォーマット	3	バイトスワップ・ワードスワップ
140	IP アドレス	192.168.0.1	
141	サブネットマスク	255.255.255.0	
142	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	デフォルトゲートウェイ無効

4.1.3 PLC 設定 (1) [CX-Programmer]

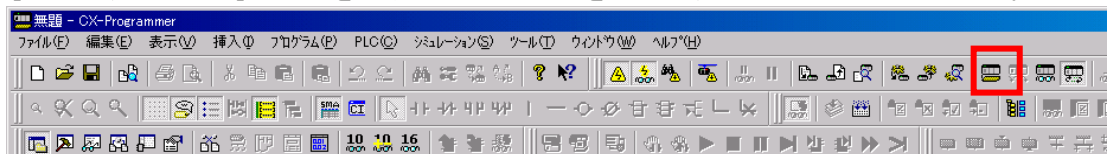
- ① CJ2M-CPU31 ユニット前面の“NODE No.”ロータリ SW の“×16¹”を『0』、“×16⁰”を『A』に設定して PLC を起動してください。
- ② CX-Programmer を起動しツールバーの[直接接続]ボタンをクリックして PLC と接続してください。



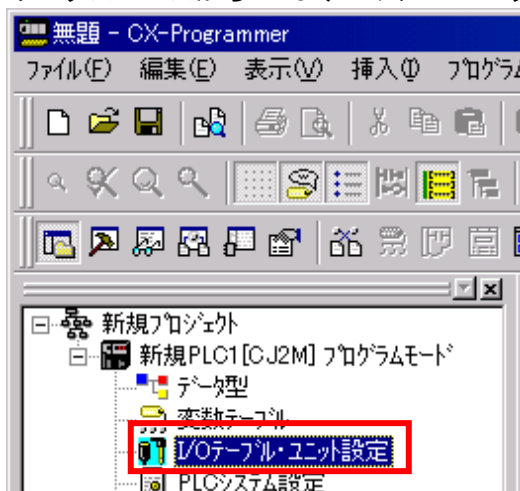
- ③ 次のメッセージが表示されたら、[I/O テーブル、高機能ユニット設定も転送する]をチェックして[はい]ボタンをクリックしてください。



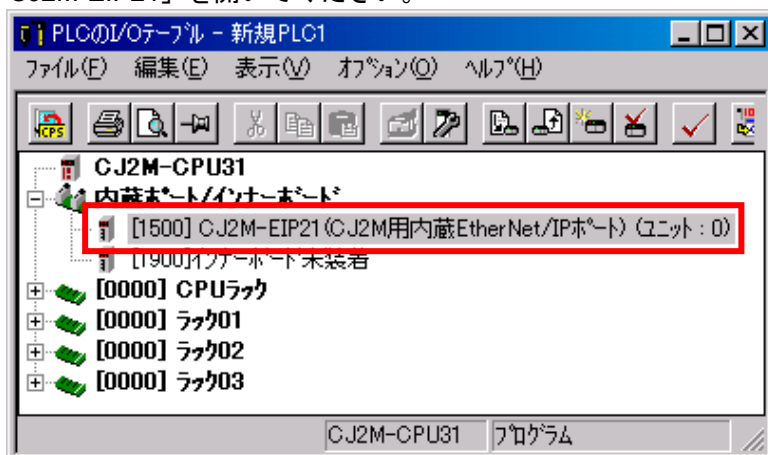
- ④ [プログラムモード]ボタンをクリックして PLC をプログラムモードにしてください。



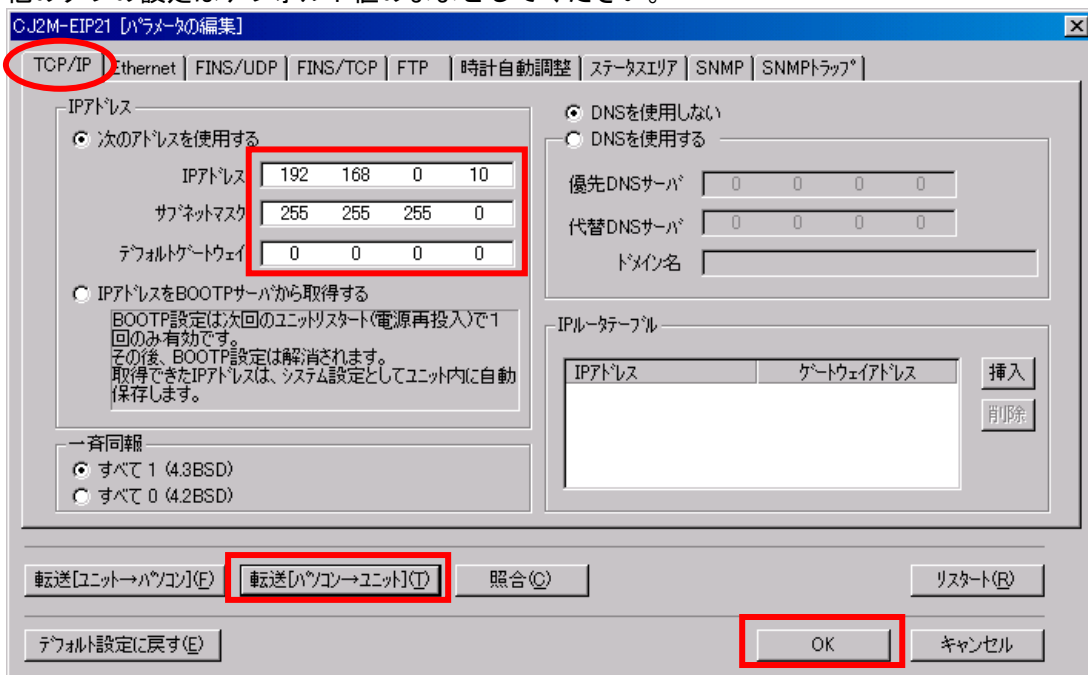
- ⑤ ワークスペースから「I/O テーブル・ユニット設定」を開いてください。



- ⑥ 「PLC の I/O テーブル」ウィンドウから「内蔵ポート/インナーボード」→「[1500] CJ2M-EIP21」を開いてください。



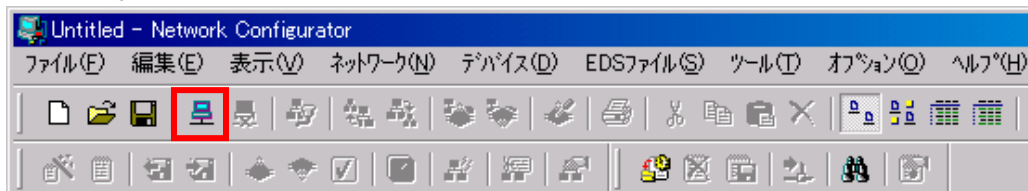
- ⑦ 「CJ2M-EIP21 [パラメータの編集]」ダイアログで「TCP/IP」タブを以下のように設定し、[転送[パソコン→ユニット]]ボタンをクリックし、PLC にパラメータを転送してください。他のタブの設定はデフォルト値のままとしてください。



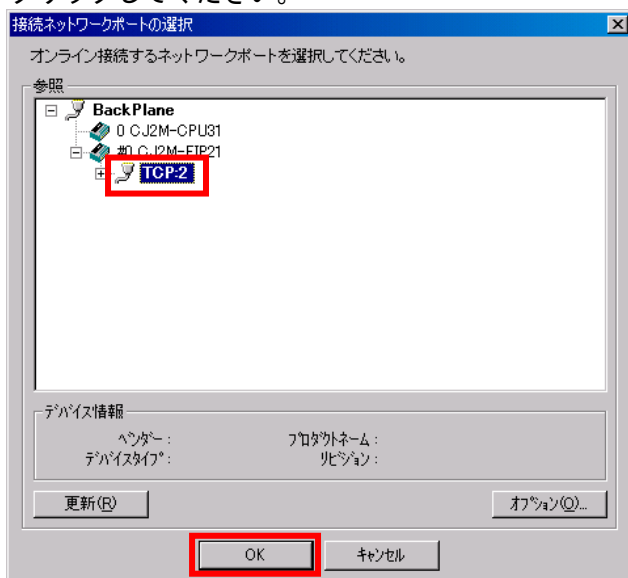
パラメータ転送後、画面の指示に従い PLC のリスタートまで完了したら、[OK]ボタンをクリックしてください。

4.1.4 PLC 設定 (2) [Network Configurator]

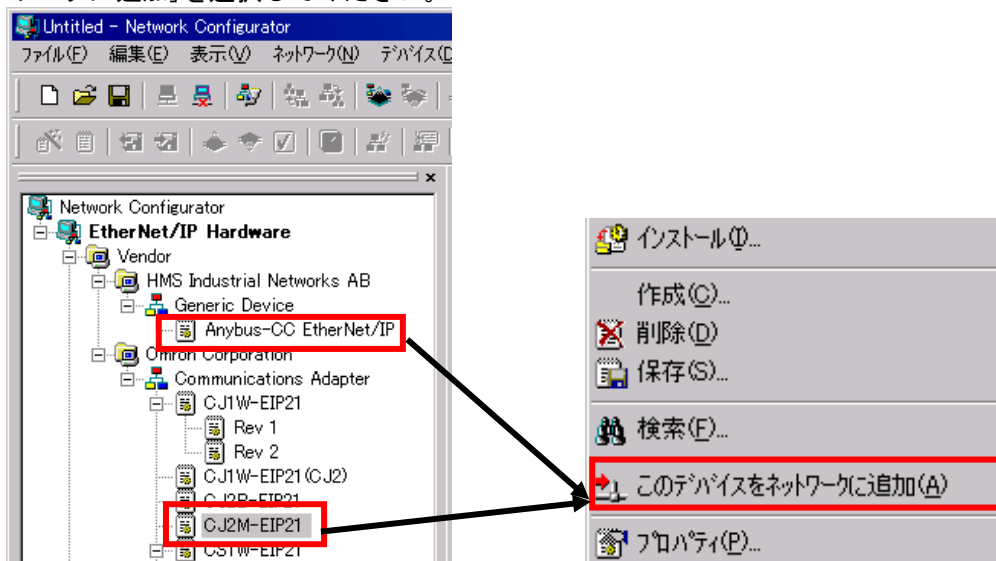
- ① Network Configurator を起動しツールバーの[接続]ボタンをクリックし、PLC と接続してください。



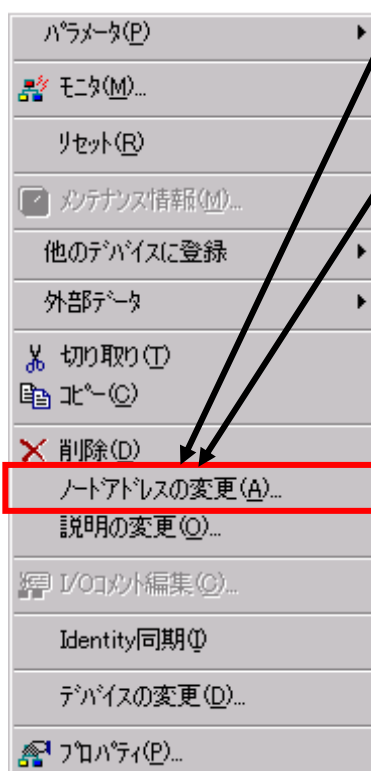
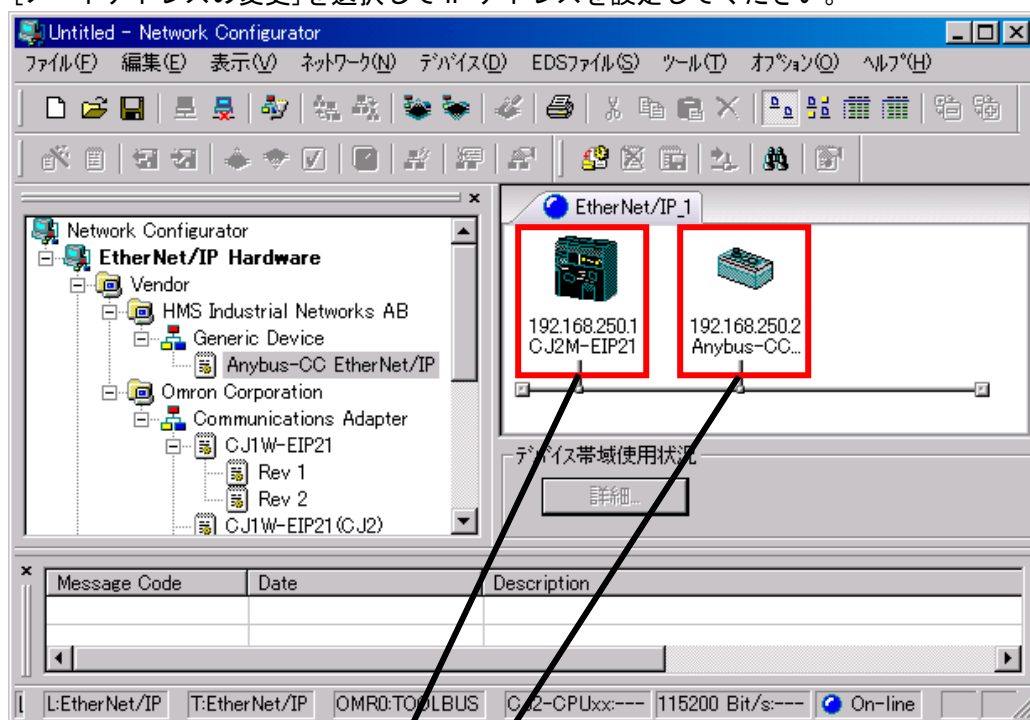
- ② 「接続ネットワークポートの選択」ダイアログでは、“TCP:2”を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

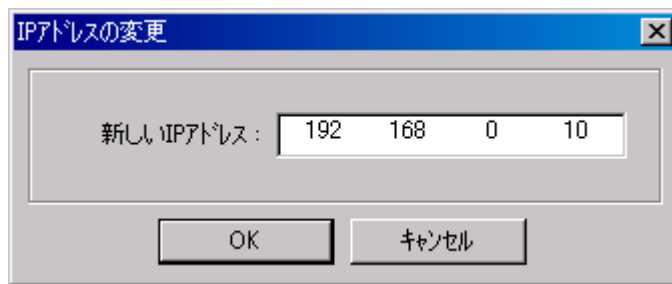


- ③ ハードウェアリストから“CJ2M-EIP21” (OMRON PLC)、“Anybus-CC EtherNet/IP” (コントローラ)をそれぞれ右クリックし、ポップアップメニューから[このデバイスをネットワークに追加]を選択してください。



- ④ メインウィンドウ内のそれぞれのデバイスを右クリックし、ポップアップメニューから[ノードアドレスの変更]を選択してIPアドレスを設定してください。



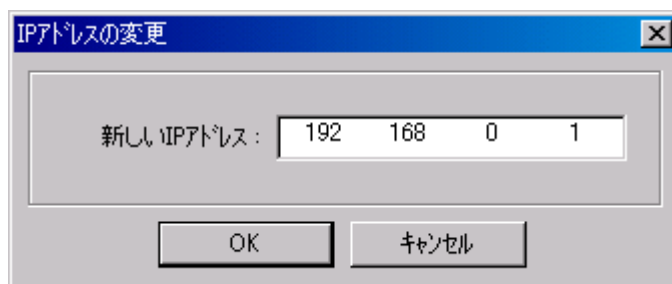


IPアドレスの変更

新しいIPアドレス : 192 168 0 10

OK キャンセル

PLC の IP アドレス



IPアドレスの変更

新しいIPアドレス : 192 168 0 1

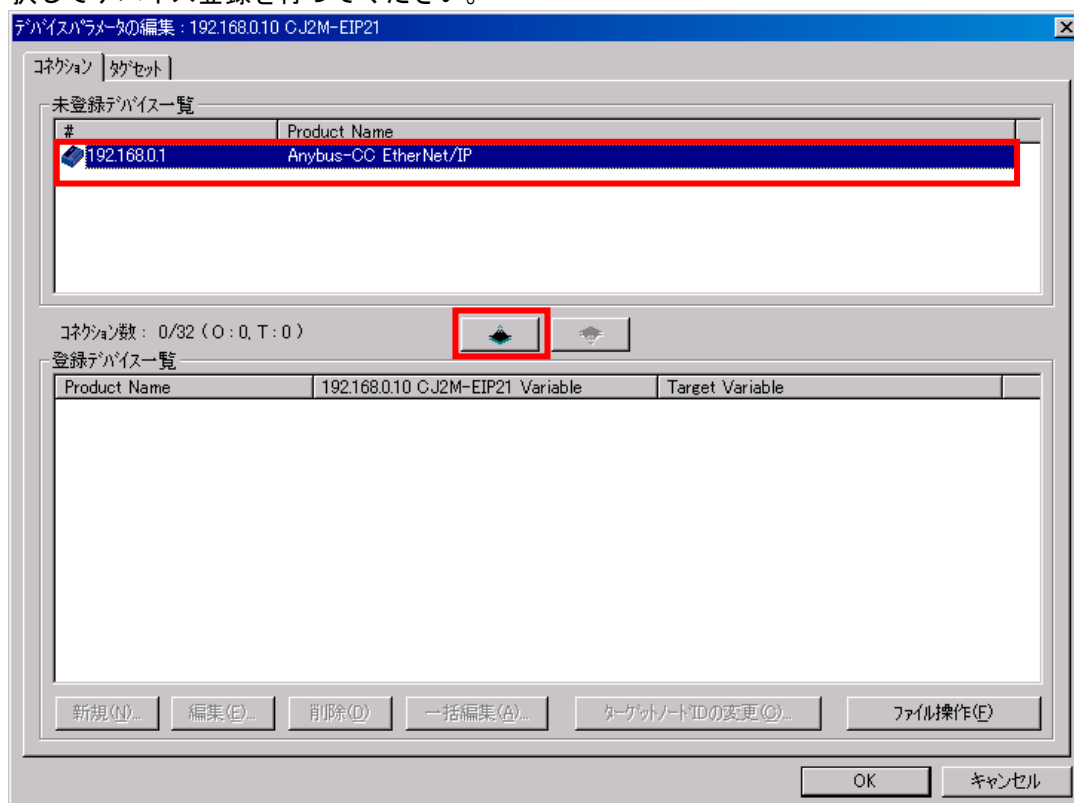
OK キャンセル

コントローラの IP アドレス

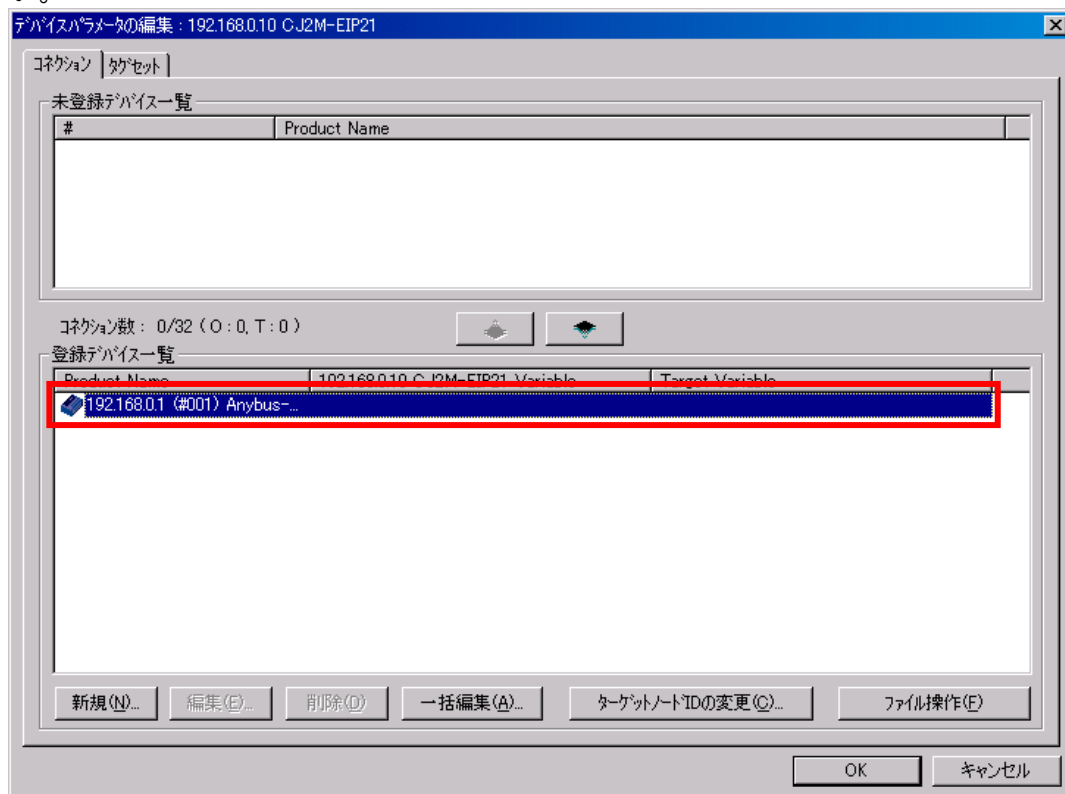
- ⑤ メインウィンドウの“Anybus-CC EtherNet/IP”をダブルクリックし、コントローラのデバイスパラメータを以下のように設定してください。

項目名	設定値
0001 Output Size	2
0002 Input Size	2
0003 RPI Range	10000 (初期値)

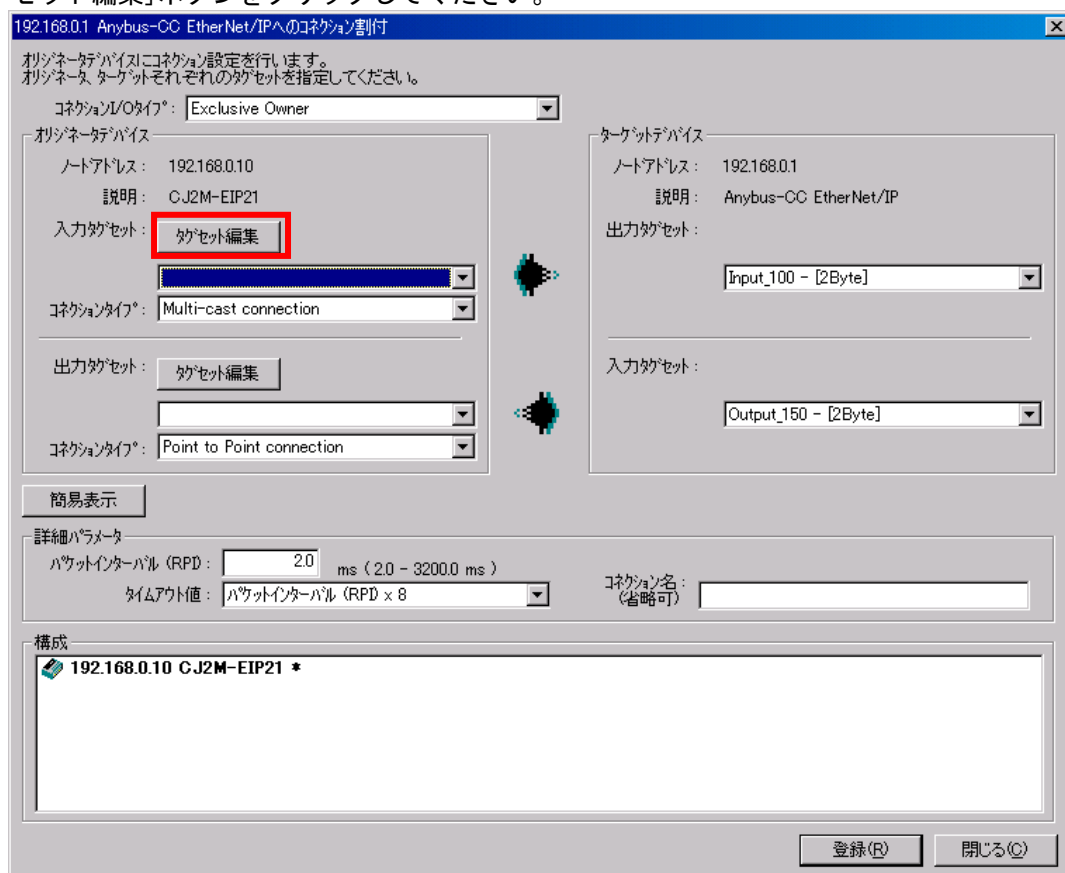
- ⑥ メインウィンドウの“CJ2M EIP21”をダブルクリックして PLC の「デバイスパラメータの編集」ダイアログを開き、「未登録デバイス一覧」から“Anybus-CC EtherNet/IP”を選択してデバイス登録を行ってください。



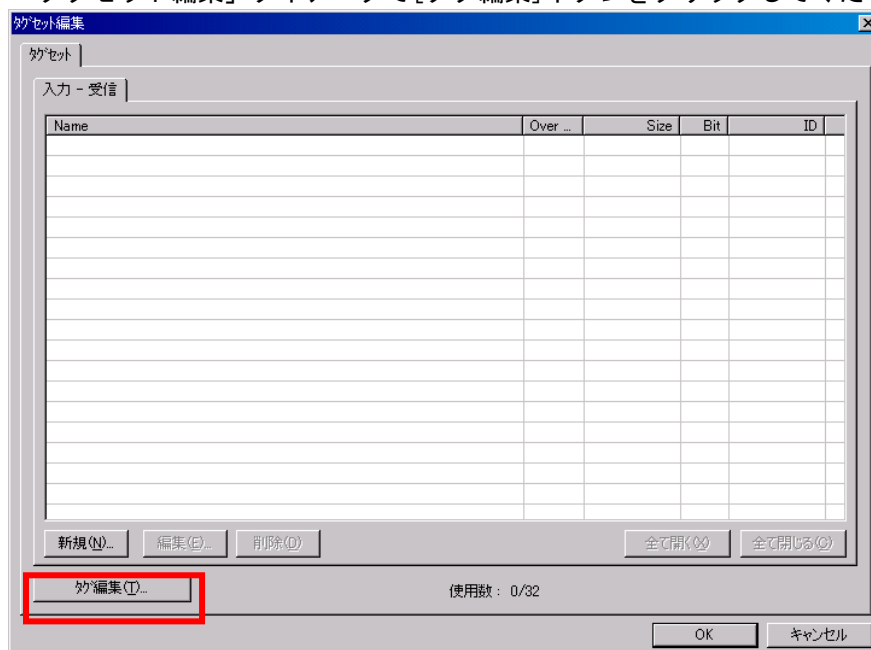
- ⑦ デバイス登録を行うと下図のように“Anybus-CC EtherNet/IP”が「登録デバイス一覧」の方に移動するので登録された“Anybus-CC EtherNet/IP”をダブルクリックしてください。



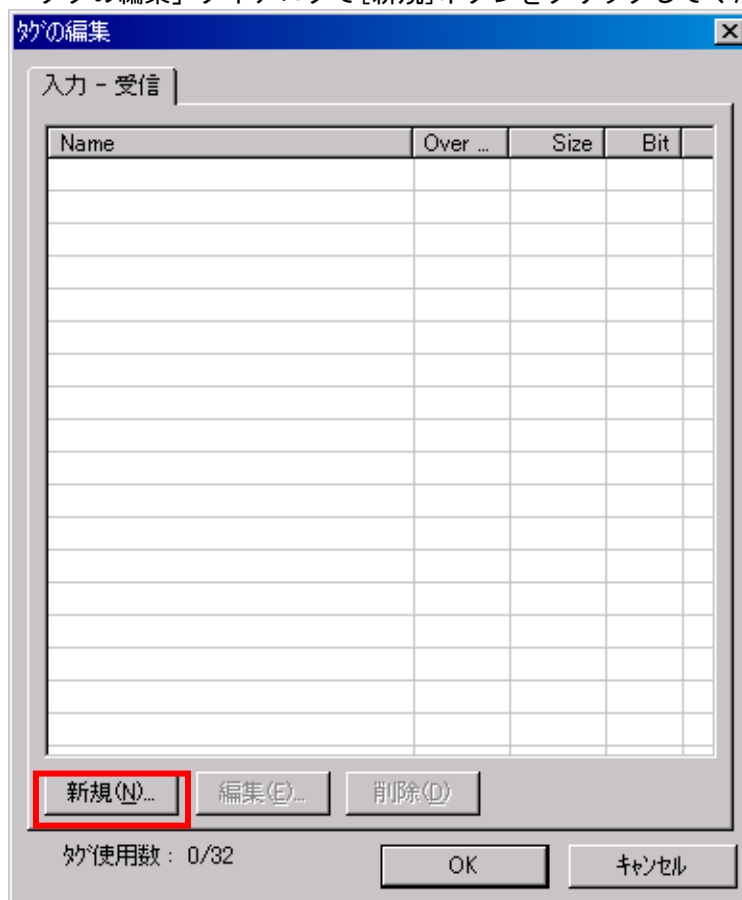
- ⑧ 「コネクション割付」ダイアログでオリジネータデバイスの「入力タグセット」の[タグセット編集]ボタンをクリックしてください。



- ⑨ 「タグセット編集」ダイアログで[タグ編集]ボタンをクリックしてください。



- ⑩ 「タグの編集」ダイアログで[新規]ボタンをクリックしてください。



- ⑪ 「タグ設定」ダイアログで以下のように設定し、[登録]ボタンをクリックしてください。

タグ設定

タグ名: W0

サイズ: 2 Byte

☐ Bitデータ

Bitサイズ: 0 Bit

負荷遮断

☐ 無効 ☒ 有効

登録(R) 閉じる(C)

- ⑫ 「タグ設定」ダイアログで“W0”のタグ登録が完了したら「タグ設定」ダイアログを閉じてください。(続けて他のタグの登録は行いません)
- 「タグの編集」、「タグセット編集」ダイアログで[OK]ボタンをクリックしてそれぞれのダイアログを閉じてください。

- ⑬ 入力タグセットの登録と同様にオリジネータデバイスの「出力タグセット」の登録を行います。
- 出力タグセットの場合、「タグ設定」ダイアログでは以下の通り設定してください。

タグ設定

タグ名: W1

サイズ: 2 Byte

☐ Bitデータ

Bitサイズ: 0 Bit

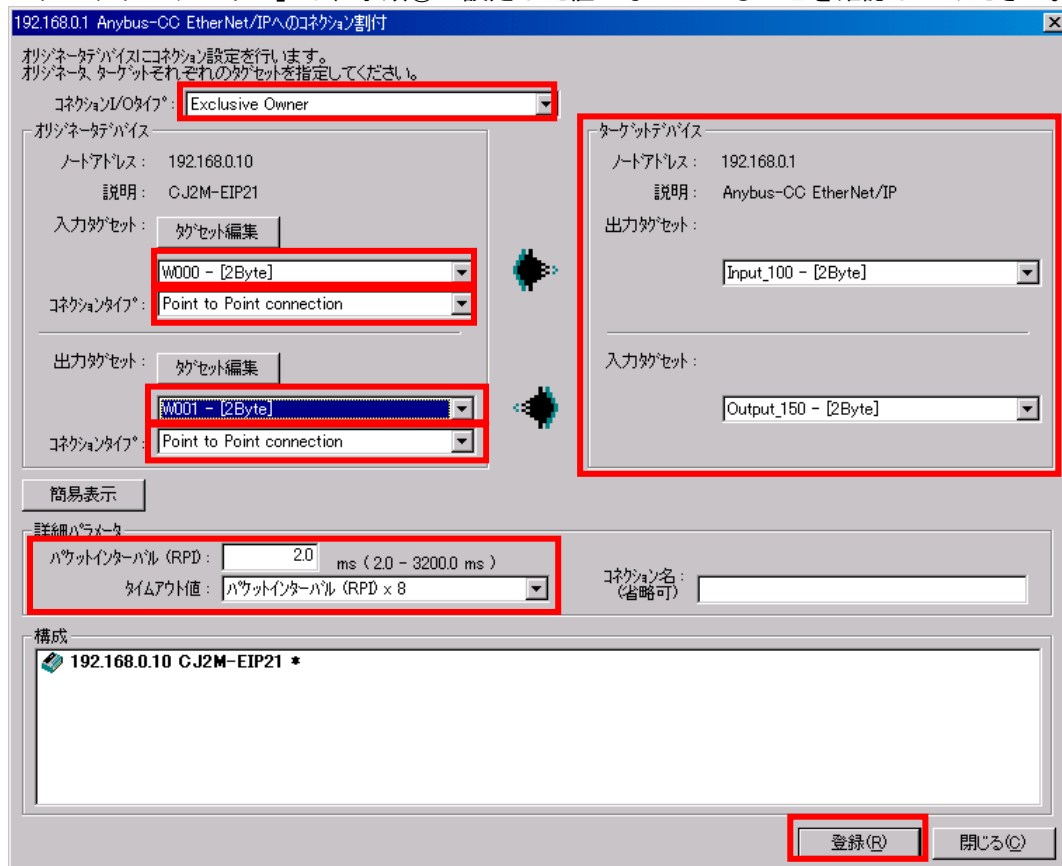
負荷遮断

☐ 無効 ☒ 有効

登録(R) 閉じる(C)

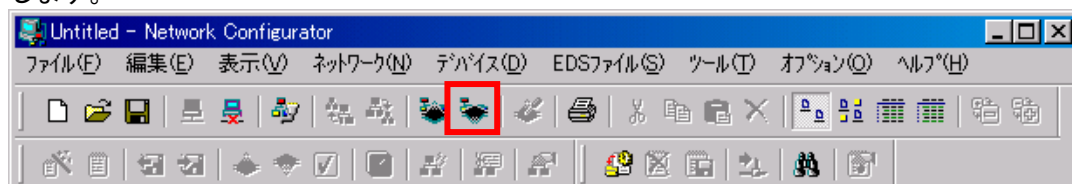
- ⑭ 「コネクション割付」ダイアログで以下のように設定し、[登録]ボタンをクリックしてください。

「ターゲットデバイス」は、手順⑤で設定した値になっていることを確認してください。



- ⑮ コネクション割付」の登録が完了すると、再度「コネクション割付」ダイアログが表示されますが、[閉じる]ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

- ⑯ 「デバイスパラメータの編集」ダイアログで[OK]ボタンをクリックしてください。ツールバーの[ネットワークヘダダウンロード]ボタンをクリックすると、PLC へのパラメータ書き込み、PLC のリスタートが行われ、数秒後に PLC とコントローラのリンクが確立します。



- ⑰ リンクが確立すると、PLC およびコントローラの LED が以下の状態になります。

PLC の LED 状態

LED	状態
MS	緑点灯
NS	緑点灯
COMM	橙点灯
100M	橙点灯
10M	消灯

コントローラの LED 状態

LED	状態
MS	緑点灯
NS	緑点灯
Link/Activity	緑点滅

4.

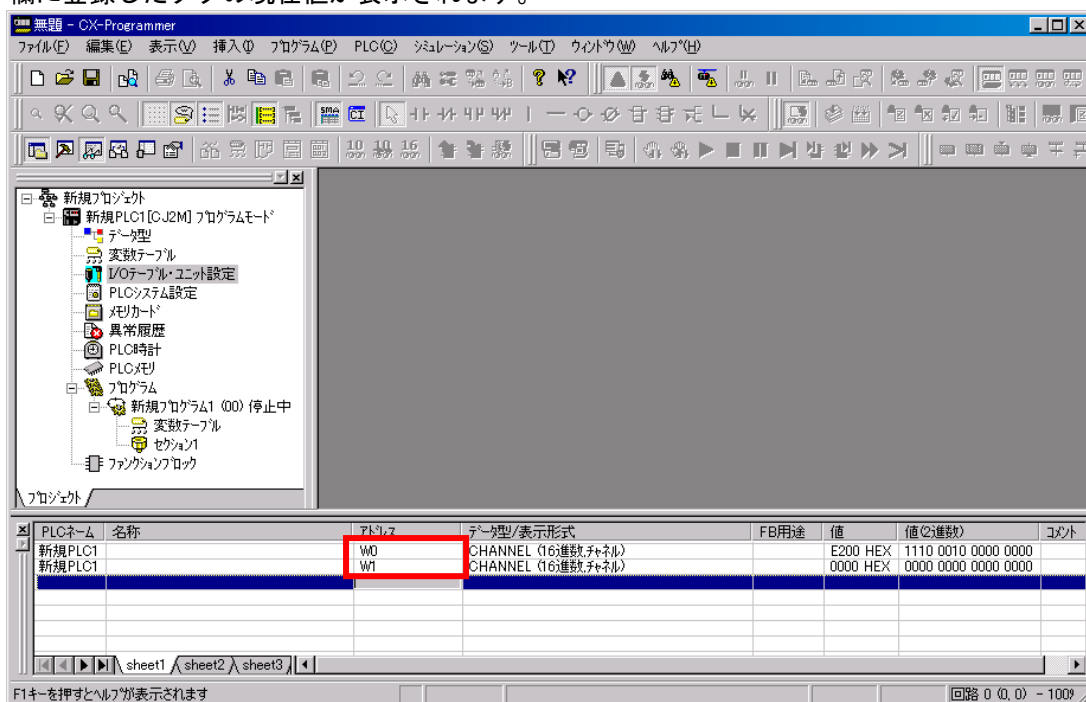
付録

4.1.5 PLC での I/O データの確認

- ① CX-Programmer を起動してください。
- ② ツールバーから「ウォッチウィンドウ切替」ボタンをクリックしてください。



- ③ 「ウォッチウィンドウ」で「アドレス」欄に“W0”、“W1”のタグ名を登録すると「値」欄に登録したタグの現在値が表示されます。



各デバイスの内容は以下の通りです。

タグ名	内容
W0	コントローラ⇒PLC 出力
W1	PLC⇒コントローラ 出力

- ④ 「ウォッチウィンドウ」での“W1”の値の変更、およびコントローラの出力データの変更を行い、コントローラの入出力ポートデータと PLC の“W0”、“W1”のタグの値が一致しているか確認してください。

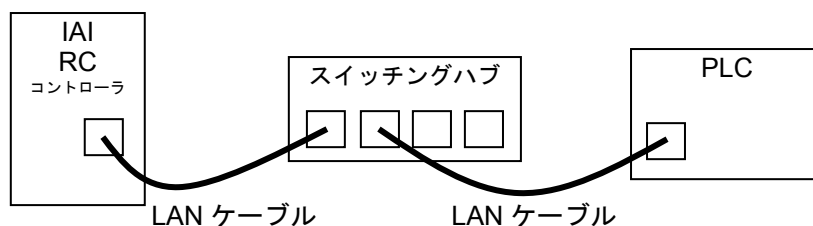
4.2 キーエンス社製マスタとの接続設定例

キーエンス社製マスタとの接続には、以下の機器およびソフトウェアが必要となります。

- ① PLC CPU ユニット : (例) KV-5500 (EtherNet/IP 内蔵)
- ② 設定ソフト : (例) KV-STUDIO Ver6.10 以降
- ③ 市販のスイッチングハブ (100BASE-TX 対応)
- ④ EtherNet/IP 仕様の IAI コントローラ
- ⑤ ストレート LAN ケーブル (カテゴリ 5、5e 以上) × 2 本

4.2.1 接続例

下図の構成で接続した場合の設定例を示します。



(注) 電源やアクチュエータ等は省略しています。

以降、次の設定でリンク確立する方法を示します。

項目	コントローラ	PLC	備考
IP アドレス	192.168.0.1	192.168.0.10	
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	0.0.0.0	デフォルトゲートウェイ無効
通信速度	自動設定	自動設定	リンク確立時は 100Mbps/全二重 (スイッチングハブの仕様による)

4.2.2 コントローラ設定

コントローラを非常停止状態にし、MODE スイッチを MANU にして起動してください。

(PLC からの出力信号によるモータ駆動防止のため)

RC 用パソコン対応ソフトを起動してコントローラのユーザパラメータを設定してください。

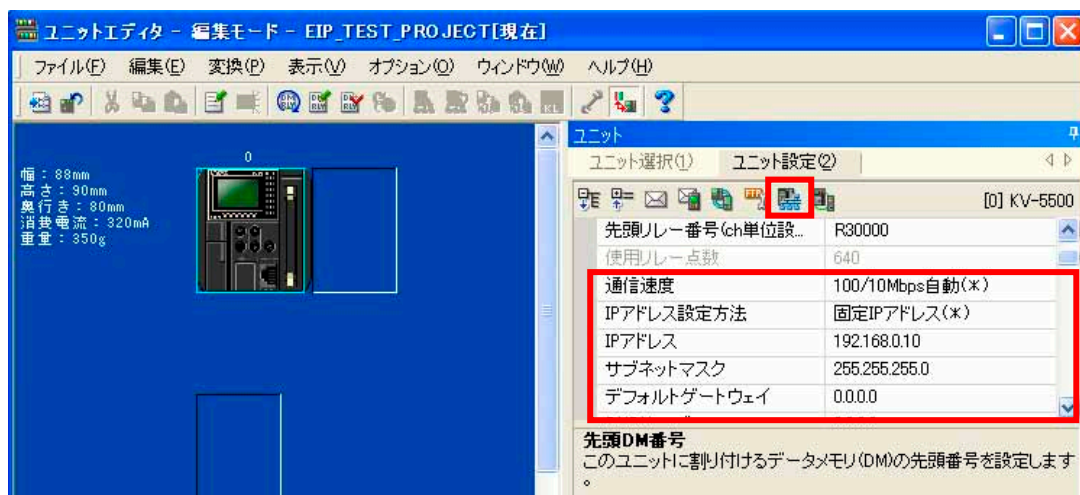
(全て出荷時初期値)

No.	名称	設定値	備考
25	PIO パターン選択	0	標準モード
84	フィールドバス動作モード	0	リモート I/O モード (入出力サイズ:2byte/2byte)
86	フィールドバス通信速度	0	自動ネゴシエーション
87	ネットワークタイプ	7	EtherNet/IP
90	フィールドバス入出力フォーマット	3	バイトスワップ・ワードスワップ
140	IP アドレス	192.168.0.1	
141	サブネットマスク	255.255.255.0	
142	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	デフォルトゲートウェイ無効

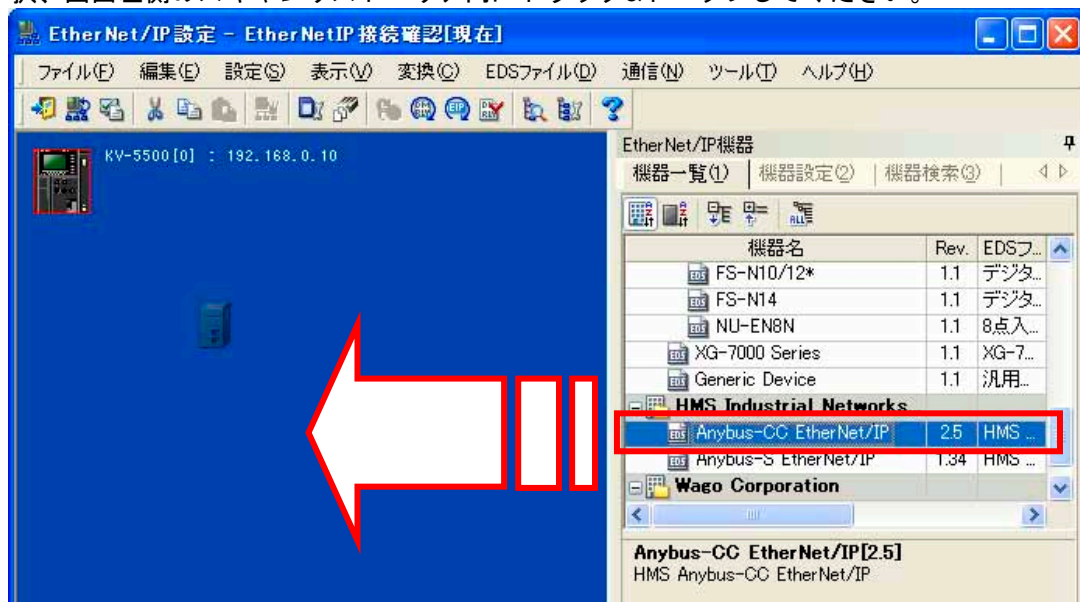
4.2.3 PLC 設定

- ① キーエンス社製ラダーサポートソフト「KV-STUDIO」を起動してください。
- ② ユニットエディタを起動し、「CPU ユニット設定 (2)」タブ内で通信速度、IP アドレス設定方法、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。

設定後、
 ボタンをクリックして「EtherNet/IP 設定」を起動します。

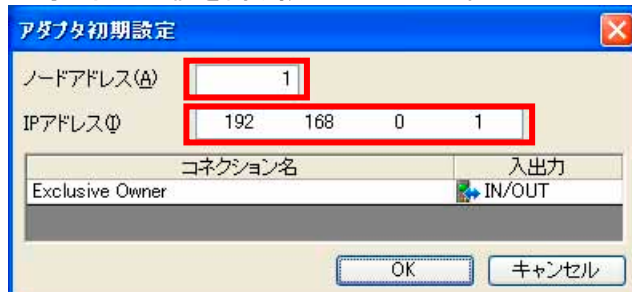


- ③ 「EtherNet/IP 設定」起動後、「機器一覧 (1)」タブ内より「Anybus-CC EtherNet/IP」を選択、画面左側のスキャンリストエリア内にドラッグ&ドロップしてください。

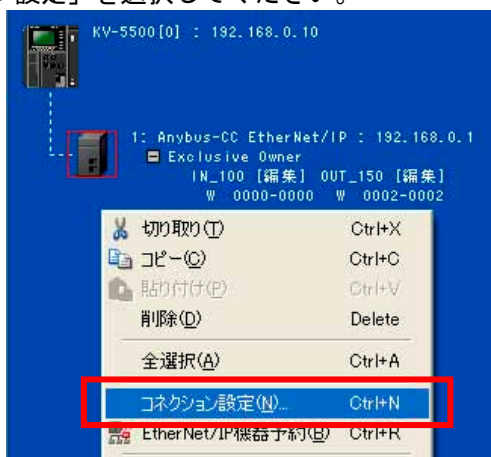


- ④ PLC 以下のツリーに登録時に「アダプタ初期設定」ダイアログボックスが表示されます。ここで IP アドレス、ノードアドレスを設定します。

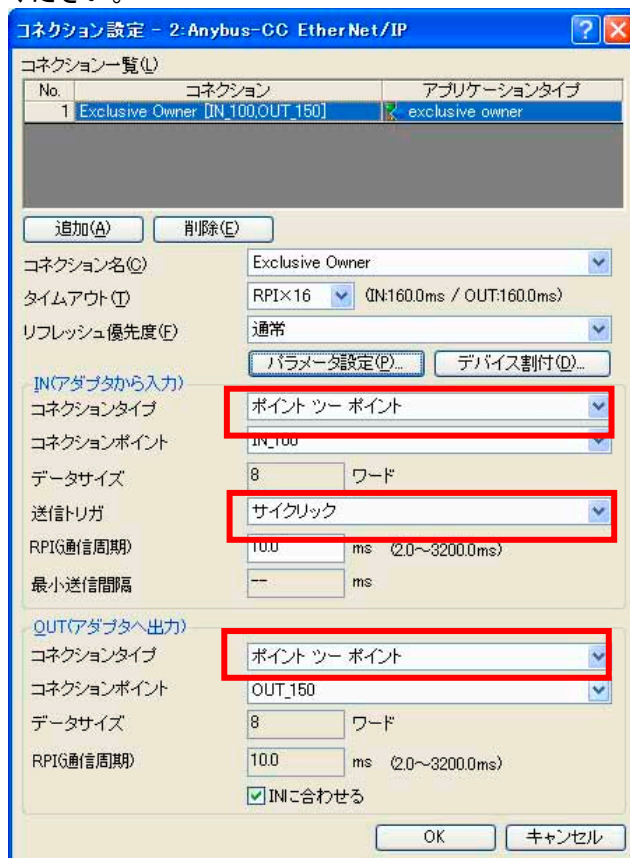
※ノードアドレスは PLC 内部で使用するアドレスです。IP アドレスとの関連性はありません。PLC 毎に独自の値を割り振ってください。



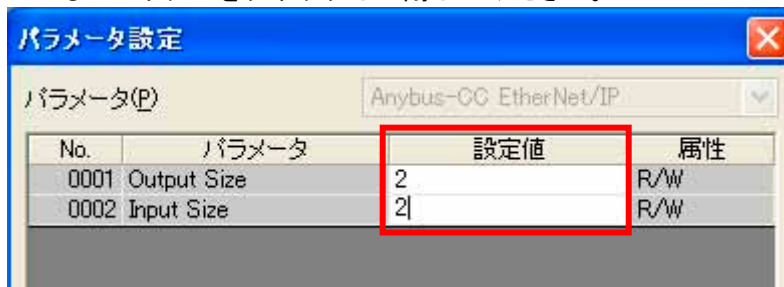
- ⑤ スキャンリストエリア内に登録した「Anybus-CC EtherNet/IP」を選択、右クリックメニューから「コネクション設定」を選択してください。



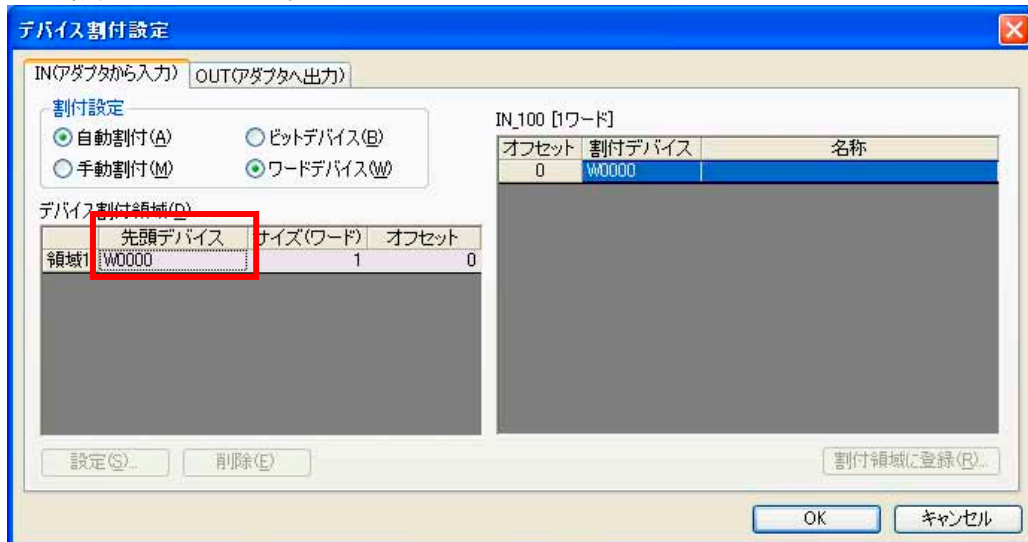
- ⑥ 「コネクション設定」ダイアログでコネクションタイプ、送信トリガを設定してください。コネクションタイプは IN/OUT 共に「ポイントツーポイント」、送信トリガは「サイクリック」を選択してください。



- ⑦ 「コネクション設定」ダイアログ内の「パラメータ設定」ボタンをクリックし、入出力バイト数を設定してください。本例では、フィールドバス動作モードが「リモート I/O モード 1」のため、入出力バイト数は各 2byte となります。設定後 OK ボタンをクリックし、「パラメータ設定」ダイアログを閉じてください。続いて「コネクション設定」ダイアログについても OK ボタンをクリックして閉じてください。



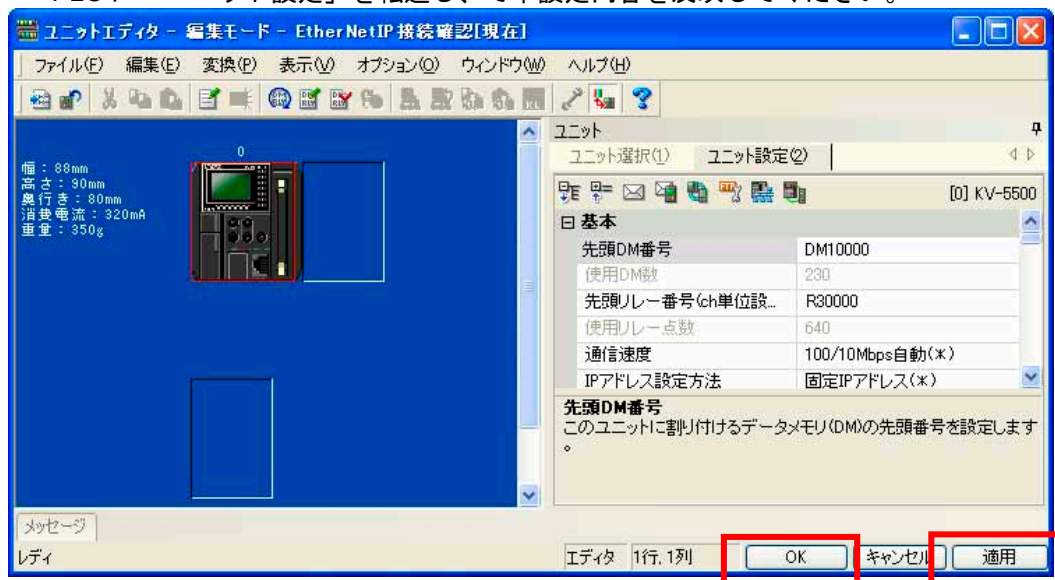
- ⑧ 「コネクション設定」ダイアログ内の「デバイス割付」ボタンをクリックし、「デバイス設定」ダイアログを表示させてください。ここで入出力データを割り付けるデバイスを設定します。本例では、「自動設定」を使用して IN データを W0000、OUT データを W0002 に設定してください。



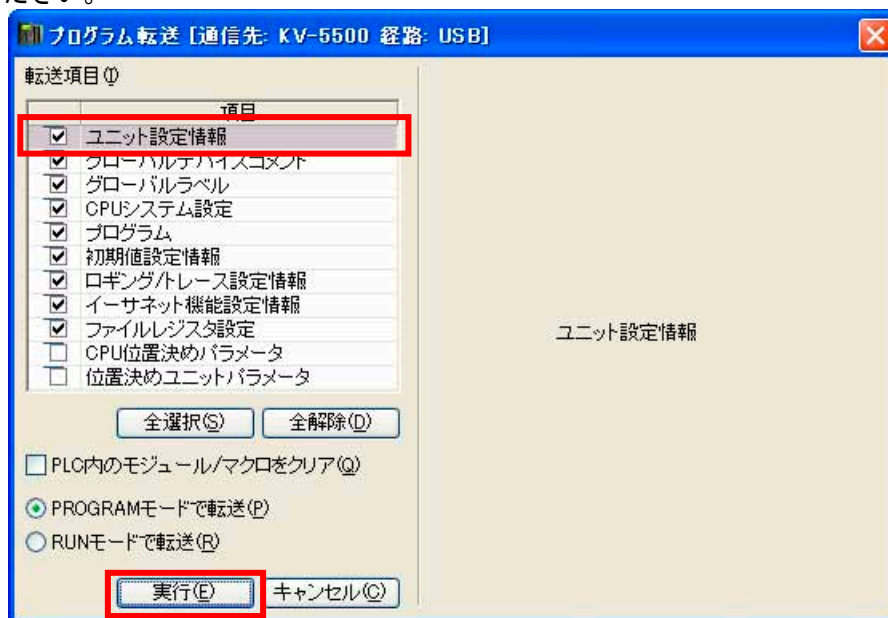
- ⑨ 「EtherNet/IP 設定」ダイアログ内の「ファイル」メニューより「適用」を選択してください。選択後「EtherNet/IP 設定」ダイアログを閉じてください。



- ⑩ 「ユニットエディタ」右下の「適用」ボタンをクリックし、EtherNet/IP 設定情報を更新してください。その後 OK ボタンをクリックして「ユニットエディタ」を閉じてください。PLC に「ユニット設定」を転送し、で本設定内容を反映してください。

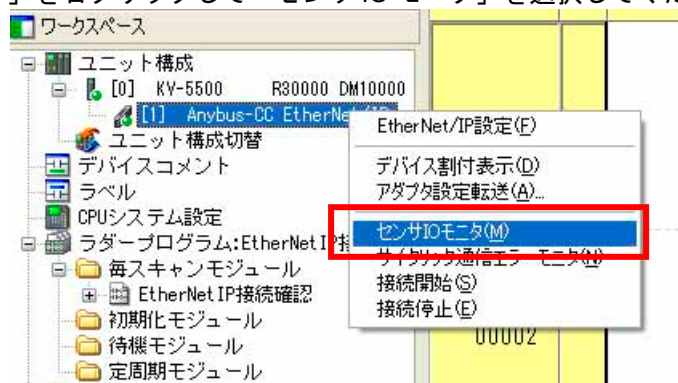


- ⑪ KV-STUDIO メニューから「モニタ/シミュレータ」→「PLC 転送」を選択してください。転送項目の「ユニット設定情報」にチェックが入っていることを確認し、PLC へ転送してください。



4.2.4 PLC で I/O データの確認

- ① KV-STUDIO を「モニタモード」で起動してください。
- ② 「ワークスペース」ウィンドウ内 KV-5500 のツリー下に登録されている「Anybus-CC EtherNet/IP」を右クリックして「センサ IO モニタ」を選択してください。



- ③ 選択後に表示される「センサ IO モニタ」ダイアログで、入出力データが割り付けられたデバイスのモニタが可能です。



各デバイスの内容は以下の通りです。

タグ名	内容
W00	PLC ← コントローラ
W02	PLC → コントローラ

変更履歴

改定日	改定内容
2011.02	初 版
2011.11	第 2 版 安全ガイドの内容を変更。2 人以上での作業時の注意事項を追加 SCON-CA 追加



株式会社 **アイエイアイ**

本社・工場	〒424-0103 静岡県静岡市清水区尾羽 577-1	TEL 054-364-5105	FAX 054-364-2589
東京営業所	〒105-0014 東京都港区芝 3-24-7 芝エクセージビルディング 4F	TEL 03-5419-1601	FAX 03-3455-5707
大阪営業所	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地 2-5-3 堂島TSSビル 4F	TEL 06-6457-1171	FAX 06-6457-1185
名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄 5-28-12 名古屋若宮ビル 8F	TEL 052-269-2931	FAX 052-269-2933
盛岡営業所	〒020-0062 岩手県盛岡市長田町 6-7 クリエ 21 ビル 7F	TEL 019-623-9700	FAX 019-623-9701
仙台営業所	〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町 14-15 アミ・グランデ二日町 4F	TEL 022-723-2031	FAX 022-723-2032
新潟営業所	〒940-0082 新潟県長岡市千歳 3-5-17 センザビル 2F	TEL 0258-31-8320	FAX 0258-31-8321
宇都宮営業所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷 5-1-16 ルーセントビル 3F	TEL 028-614-3651	FAX 028-614-3653
熊谷営業所	〒360-0847 埼玉県熊谷市龍原南 1 丁目 312 番地あかりビル 5F	TEL 048-530-6555	FAX 048-530-6556
茨城営業所	〒300-1207 茨城県牛久市ひたち野東 5-3-2 ひたち野うしく池田ビル 2F	TEL 029-830-8312	FAX 029-830-8313
多摩営業所	〒190-0023 東京都立川市柴崎町 3-14-2B05ENビル 2F	TEL 042-522-9881	FAX 042-522-9882
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町 1-10-6 シャンロック石井ビル 3F	TEL 046-226-7131	FAX 046-226-7133
長野営業所	〒390-0877 長野県松本市沢村 2-15-23 昭和開発ビル 2 F	TEL 0263-37-5160	FAX 0263-37-5161
甲府営業所	〒400-0031 山梨県甲府市丸の内 2-12-1 ミサトビル 3 F	TEL 055-230-2626	FAX 055-230-2636
静岡営業所	〒424-0103 静岡県静岡市清水区尾羽 577-1	TEL 054-364-6293	FAX 054-364-2589
浜松営業所	〒430-0936 静岡県浜松市中区大工町 125 大発地所ビルディング 7F	TEL 053-459-1780	FAX 053-458-1318
豊田営業所	〒446-0056 愛知県安城市三河安城町 1-9-2 第二東祥ビル 3F	TEL 0566-71-1888	FAX 0566-71-1877
金沢営業所	〒920-0024 石川県金沢市西念 3-1-32 西清ビル A 棟 2F	TEL 076-234-3116	FAX 076-234-3107
京都営業所	〒612-8401 京都市伏見区深草下川原町 22-11 市川ビル 3 F	TEL 075-646-0757	FAX 075-646-0758
兵庫営業所	〒673-0898 兵庫県明石市櫛屋町 8 番 34 号大同生命明石ビル 8F	TEL 078-913-6333	FAX 078-913-6339
岡山営業所	〒700-0973 岡山市北区下中野 311-114 OMOTO-ROOT BLD. 101	TEL 086-805-2611	FAX 086-244-6767
広島営業所	〒730-0802 広島市中区本川町 2-1-9 日宝本川町ビル 5F	TEL 082-532-1750	FAX 082-532-1751
松山営業所	〒790-0905 愛媛県松山市榊味 4-9-22 フォーレスト 21 1F	TEL 089-986-8562	FAX 089-986-8563
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-13-21 エフビル WING 7F	TEL 092-415-4466	FAX 092-415-4467
大分出張所	〒870-0823 大分県大分市東大道 1-11-1 タンネンバウム Ⅲ 2F	TEL 097-543-7745	FAX 097-543-7746
熊本営業所	〒862-0954 熊本県熊本市神水 1-38-33 幸山ビル 1F	TEL 096-386-5210	FAX 096-386-5112

お問い合わせ先

アイエイアイお客様センター エイト

（受付時間）月～金 24 時間（月 7：00AM～金 翌朝 7：00AM）
土、日、祝日 9：00AM～5：00PM
（年末年始を除く）

フリー
コール **0800-888-0088**

FAX: 0800-888-0099 （通話料無料）

ホームページアドレス <http://www.iai-robot.co.jp>

IAI America Inc.

Head Office: 2690 W, 237th Street Torrance, CA 90505
TEL (310) 891-6015 FAX (310) 891-0815
Chicago Office: 1261 Hamilton Parkway Itasca, IL 60143
TEL (630) 467-9900 FAX (630) 467-9912
Atlanta Office: 1220 Kennestone Circle Suite 108 Marietta, GA 30066
TEL (678) 354-9470 FAX (678) 354-9471
website: www.intelligentactuator.com

IAI Industrieroboter GmbH

Ober der Röth 4, D-65824 Schwalbach am Taunus, Germany
TEL 06196-88950 FAX 06196-889524

IAI (Shanghai) Co., Ltd.

SHANGHAI JIAHUA BUSINESS CENTER A8-303, 808, Hongqiao Rd. Shanghai 200030, China
TEL 021-6448-4753 FAX 021-6448-3992
website: www.iai-robot.com

製品改良のため、記載内容の一部を予告なしに変更することがあります。
Copyright © 2011. Nov. IAI Corporation. All rights reserved.